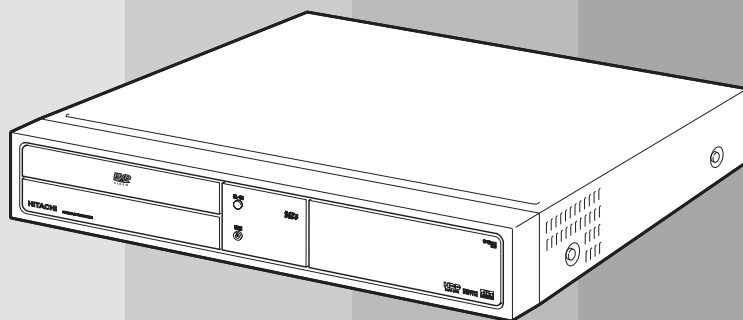
形 名

MSP1000
ハイブリッドデジタルレコーダー
取扱説明書

最初に

「安全にお使いいただくために」をお読みください。
ハイブリッドデジタルレコーダーの取り扱いは、本書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。なお、お読みになったあとは、いつでも参照できるように手近なところに保管してください。

本書は再生紙を使用しています。

はじめにお読みください

はじめに

このたびはハイブリッドデジタルレコーダー（MSP1000）をお使いいただき、まことにありがとうございます。
本書の内容をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。

■重要なお知らせ

- **本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。**
- **本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。**
- **本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お問い合わせ先へご一報くださいますようお願いいたします。**
- **本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

■規制、対策などについて

高調波ガイドライン適合について

本装置は、経済産業省通知の家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、安心コールセンタにお問い合わせください。
なお、この装置に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。

私的録画補償金についてのお知らせ

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。
私的録画補償金の問い合わせ先
　東京都港区赤坂5-4-6 赤坂三辻ビル 2F
　社会法人 私的録画補償金管理協会
　TEL 03-3560-3107(代)
　FAX 03-5570-2550
なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

著作権について

著作権保護のための信号が記録されている映像は録画できません。あなたが本製品で録画・録音したものを個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
本製品はマクロビジョン社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されている、著作権保護技術を採用しております。この著作権技術の使用はマクロビジョン社の許可のない限り、家庭内の使用に制限されております。分解したり、解析したり、改造したりすることも禁じられています。

版権についてのお知らせ

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。
Copyright © Hitachi,Ltd.2003.All rights reserved.

■ MSP1000 の特長

電子番組ガイド (EPG) で、録画予約

電子番組ガイド (EPG) を取り込んだ番組表で放送予定を確かめながら、録画予約できます。

📖 **録画予約機能→「見たい番組を録画予約する」(P.30)**

録画した番組は、リストから楽々再生

画面で番組情報を確かめながら、見たい番組を再生できます。

📖 **再生機能→「番組を選んで再生する」(P.46)**

気に入った番組は、DVD ビデオに記録して保存

作成した DVD ビデオは、本機で再生できます。

📖 **DVD ビデオ作成機能→「DVD ディスクへのダビングのしかた」(P.70)**

ネットワークを経由して、パソコンで鑑賞

パソコンと接続すると、本機に録画した番組をパソコンで鑑賞することができます。

📖 **ホームストリーミング機能→ 「録画した番組をパソコンで見るには」(P.84)**

■制限事項など

- 可変ビットレート方式 (以降、VBR 方式) の記録に対応しているため、実際の録画時間が本書で説明している録画時間と異なる場合があります。本書で説明している録画時間は、目安としてご活用ください。
- 最長 8 時間まで連続して録画できます。
- 画像圧縮技術である MPEG-2 の特性により、明暗、細かい絵柄、動きなどが激しく変化する映像の録画に、長時間録画モード (LP) は適していません。大切な番組の記録・保存には、標準モード (SP) または高画質モード (HQ) での録画をお勧めします。
- 画像サイズが 16：9 の映像は、4：3 の映像として記録されます。
- コピー制御信号が含まれている映像 (録画が一回だけ許可された映像など) は録画できません。
- ハードディスクドライブ (以降、HDD) は、大切な番組を永続的に管理する場所としてではなく、編集して DVD ディスクに記録 (ダビング) するまでの一時的な記録場所としてご利用ください。
- MSP1000 で記録した DVD ディスクは、すべての DVD プレーヤーでの再生を保証するものではありません。
- MSP1000 で作成した DVD-RAM メディアは、本機以外の DVD-RAM レコーダーなどでは再生できません。
- ご利用の DVD ディスクの状態によっては、正しく記録できない場合があります。
- DVD ディスクへの記録方式はビデオモードです。VR モードでは記録できません。
- 追記できるディスクは DVD-RAM ディスクのみです。DVD-R ディスクと DVD-RW ディスクへは追記できません。
- 映像は 0.5 秒単位 (GOP 単位) で編集します。そのため、意図した編集ポイントからずれることがあります。
- MSP1000 で再生できる静止画は、ディレクトリー構造および画像ファイルフォーマットが DCF に準拠した JPEG の静止画のみです。DCF とは、(社) 電子情報技術産業協会にて制定された統一規格「Design rules for Camera File system」のことです。
- 本製品は日本国内向けに販売しているものです。海外では動作致しません。

■このマニュアルの見かた

マニュアルの表記について

本書では、次のマーク・表記を使用しています。

重 要	重要事項や使用上の制限を示します。
ヒント	MSP1000 を活用するためのヒントやアドバイスです。
📖	マニュアルの参照先を示します。
Windows XP、Windows	Microsoft® Windows® XP Professional または、Microsoft® Windows® XP Home Edition を示しています。

画面例およびイラストについて

本書で使用している画面例およびイラストは、説明の都合で一部を省略している場合があります。製品の改良その他により随時改訂されますのでご了承ください。

ホームページについて

MSP1000 についての情報は、次のホームページから参照できます。
URL ： http://av.hitachi.co.jp/hybrid/

用途によるディスクの使いかた

MSP1000 は、さまざまなディスクに番組を記録できます。ディスクの種類ごとに特性が異なりますので、用途に応じてディスクを使い分けてください。

■録画予約するときは

MSP1000 に内蔵された HDD に録画します。DVD ディスクには録画できません。なお、修理時を除いて HDD は交換できません。

■放送中に録画するときは

MSP1000 に内蔵された HDD に録画します。

■ DVD ビデオを作るときは

HDD に録画した番組を、市販の DVD-R ディスクにダビングします。DVD-R ディスクに一度記録した番組は、削除できません。

削除したり、上書きしたい番組は、市販の DVD-RW ディスクを使います。

■録画した番組などをバックアップするときは

HDD に録画した番組を、市販の DVD-RAM ディスクにダビングします。DVD-RAM ディスクにダビングした番組は、HDD へダビングできます。

■ 使用できるディスク

● **再生**

- DVD ビデオ
- Audio CD
- DVD-R(for General) 1.4GB、4.7GB
- DVD-RW
- DVD-RAM(*4)　1.4GB/ 片面、4.7GB/ 片面
- ビデオ CD
- CD-R
- CD-RW

● **録画**

- DVD-R　1.4GB、4.7GB (Ver.2.0 for General) (*1)
- DVD-RW　4.7GB (Ver.1.1)
- DVD-RAM　1.4GB/ 片面、
4.7GB/ 片面 (Ver 1.0) (*2、*3、*4)

（※）コピーコントロール CD は再生できません。

*1　3.95GB（Ver.1.0）と 4.7GB（Ver.2.0 for Authoring）は使用できません。
*2　2.6GB/ 片面（Ver.1.0）は書き込みできません。
*3　1.4GB/ 片面、4.7GB/ 片面とは、片面の容量をあらわします。
　　1.4GB/ 片面とは、1.4GB と 2.8GB のディスクをさします。
　　4.7GB/ 片面とは、4.7GB と 9.4GB のディスクをさします。
*4　DVD-RAM は、カートリッジタイプのものは対応しておりません。カートリッジから取り出してご使用ください。
　　5.2GB（2.6GB 片面）は使用できません。

推奨ディスクについて→ 8 章「推奨ディスクについて」(P.151)

Audio CD 再生時は

Audio CD 再生時は、画面にはなにも表示されません。

DVD-RAM ディスクをフォーマット（初期化）するときは

DVD-RAM ディスクをフォーマットするときは、MSP1000 で行ってください。パソコンなどでフォーマットした DVD-RAM ディスクは使用できない場合があります。フォーマット形式は、UDF Ver1.5 になります。

DVD-RAM ディスクのフォーマットについて→ 「DVD-RAM ディスクをフォーマットする」(P.112)

市販品には、正常に動作しないディスクもあります。

推奨ディスク以外では、本製品で正常に動作しないものもあります。

大切な番組を録画したときは

MSP1000 に内蔵された HDD が故障すると、HDD に録画した番組が消えてしまうことがあります。大切な番組を録画したときは、DVD-RAM ディスクにバックアップするか、DVD ビデオを作って保管してください。何らかの不具合で損なわれた録画内容の補償はいたしかねます。

ビデオレコーディング方式 (VR 方式) では録画できません

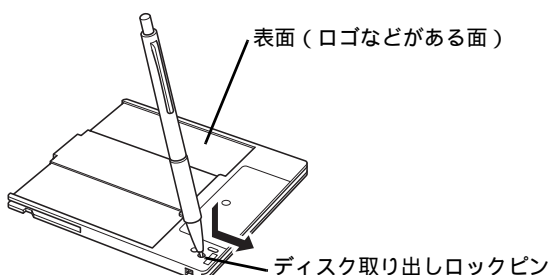
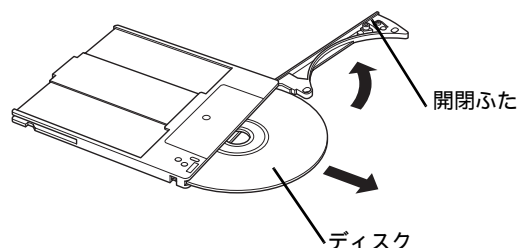
MSP1000 は、番組をビデオモードで録画します。ビデオレコーディング方式での録画には対応していません。

記録できないディスク

MSP1000 は上記の 3 種類 (DVD-R、DVD-RW、DVD-RAM) のディスクおよび HDD に記録できます。音楽 CD やパソコン用 CD-ROM、市販の DVD ビデオなど、読み取り専用ディスクには記録できません。また、書き込み可能なディスクであっても、CD-R や CD-RW、DVD+R、DVD+RW には記録できません。

カートリッジタイプのディスクの取り外し方

DVD-RAM のカートリッジタイプのものは、カートリッジから取り外して使用します。次の手順でカートリッジから取り外してください。

1 カートリッジの表面を上にし、ディスクの取り出しロックピンを、ボールペンなどの先がとがったもので押し下げ、開閉ふたを外す

2 開閉ふたを開け、円盤状のディスクを取り出す

記録面を直接触らない

ディスクを取り出すときは、記録面 (データを書き込む面) を直接触らないようにしてください。

目次

安全にお使いいただくために

■安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
・ 操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
・ 装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

■シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。

	これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。
⚠警告	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。
⚠注意	これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
注意	これは、装置の重大な損害、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

	【表記例１】感電注意 △の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。
	【表記例２】分解禁止 ⃠の図記号は行ってはいけないことを示し、⃠の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。
	【表記例３】電源プラグをコンセントから抜け ●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

■操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お問い合わせ先にご連絡ください。

■自分自身でもご注意を

装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。ご使用に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも十分注意するようにしてください。

■免責事項について

- **地震・雷および当社の責任以外の火事、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は責任を負いません。**
- **MSP1000 の使用または使用不能から生ずる付随的な損害 (事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、通信機会の消失など) に関して、当社は一切責任を負いません。**
- **当社が関与しない接続機器・ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。**
- **記憶装置に記録された内容は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねます。**

⚠警告

異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

修理・改造・分解

自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。

装置内部への異物の混入

通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

電源コードの扱い

電源コードは必ず付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したりショートや一部断線で、過熱して感電や火災の原因になります。

・ものを載せない
・引っ張らない
・押しつけない
・折り曲げない
・加工しない
・熱器具のそばで使わない
・束ねない

装置上に物を置く

花びん、植木鉢など水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、発火の原因になります。

揮発性液体の近くでの使用

マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。

電源プラグの抜き差し

・電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。

電源プラグを抜くとき、電源を切る手順について→ 「電源プラグを抜く前の操作」(P.121)

・休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
・電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

・電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから、差し込んでください。
・グラグラしないコンセントを使ってください。

落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけたりするなど過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

使用する電源

使用できる電源は交流 100V です。それ以外の電圧では使用しないでください。電圧の大きさに従って内部が破損したり過熱・劣化して感電や火災の原因になります。

日本国以外の使用

装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており本機は適合していません。

タコ足配線

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。

湿気やほこりの多い場所での使用

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、火災や感電の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

設置について

横置き専用の仕様となります。必ず水平な場所に横置きでご使用ください。縦置きなどにすると、廃熱が十分に行われず、本体内部が高温になり、火災や故障の原因となります。
電源を抜いた状態でも水平な場所に設置してください。設置場所が水平でないと、本体がゆがむなど、故障の原因になります。

警告

周辺機器の接続

周辺機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、マニュアルの説明に従い、マニュアルで使用できることが明記された周辺機器を使用してください。それ以外の周辺機器を使用すると、接続仕様の違いによる周辺機器や装置の故障から発煙、発火、火災や故障の原因になります。

通気孔

通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。

テレビアンテナ線への接続と使用

雷が鳴っているときは、装置の使用およびアンテナ線の接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

梱包用ポリ袋について

装置の梱包用ポリ袋などは、お子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると、窒息するおそれがあります。

電池の正しい使用

・電池の⊕と⊖は正しく入れてください。⊕と⊖を間違えて入れると、電池の発熱によるやけどや、液漏れによる周囲破損の原因になります。
・指定外の電池を使ったり、新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使ったりしないでください。電池の発熱によるやけどや、液漏れによる周囲破損の原因になります。
・電池の液漏れが起こったら、使わないでください。液漏れによる周囲破損の原因になります。液漏れが起こったら、お問い合わせ先にご相談ください。
・万一液が身体に付いたら、水でよく洗い流してください。

電池の交換について

万一異常が発生した時、電池が発熱している場合があります。その時はしばらく放置し熱が下がってから交換してください。

電池の廃棄

取り外した電池を廃棄するときは、お買い求め先に相談していただくか、地方自治体の条例または規則に従ってください。

電池の保管

電池を保管する場合は、端子に絶縁テープをはり、絶縁状態にしてください。絶縁状態にしないで電池を保管すると、端子間どうしが接触ショートし過熱・破裂・発火などでけがをしたり、火災の原因になります。

⚠注意

接続端子への接触

USB コネクターなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙したり接触不良などにより故障の原因になります。

不安定な場所での使用

傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

目的以外の使用

踏み台やブックエンドなど、装置本来の目的以外に使用しないでください。壊れたり、倒れたりし、けがや故障の原因になります。

信号ケーブルについて

・ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。足をひっかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。

・ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。

装置の廃棄

装置を廃棄するときは、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則に従ってください。

お手入れ

お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください。

バックアップについて

HDD や DVD ディスクに録画した番組などの重要な内容は、必ず別の DVD ディスクにダビングしてください。HDD や DVD ディスクが壊れると、番組がすべてなくなってしまいます。

本機メニュー画面などの静止画を長時間テレビ画面に表示したままにしないでください。
画面に焼き付きが生じる場合があります。

より良くお使いいただくために

■ MSP1000 の取り扱いについて

MSP1000 の取り扱いによっては、HDD に記録されているデータが損なわれることがあります。
次のような点に注意してお使いください。

- **強い磁気や電磁波を出すものに近づけない。**
- **振動や衝撃を与えない。**
- **MSP1000 背面の冷却用ファンの通風口や側面の通風口をふさぐような場所に置かない。**
- **MSP1000 の上に重い物を置かない。**
- **MSP1000 の動作中に、電源プラグをコンセントから抜かない。**

大切な録画の前には、事前に試し録画を行い、正しく録画／録音できていることをお確かめください。なお、MSP1000 を使用中に、何らかの原因により録画／録音されなかった場合の補償はいたしかねます。

汚れているときは

電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。

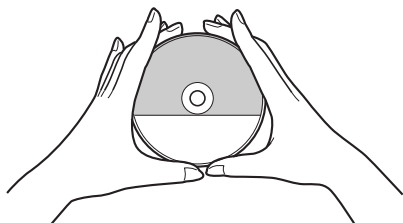
DVD のリージョン番号について

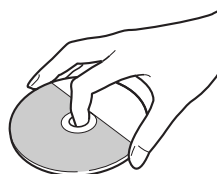
MSP1000 で再生できる DVD ビデオは、リージョン番号「 ALL 」または「２」の DVD ビデオです。お手持ちのディスクに「リージョン番号」が記載されている場合は、あらかじめお確かめください。
MSP1000 で作った DVD ビデオは、リージョン番号が「 ALL 」になります。

ディスクの持ちかた

ディスクに汚れや傷をつけないように注意してください。

両手で持つ場合

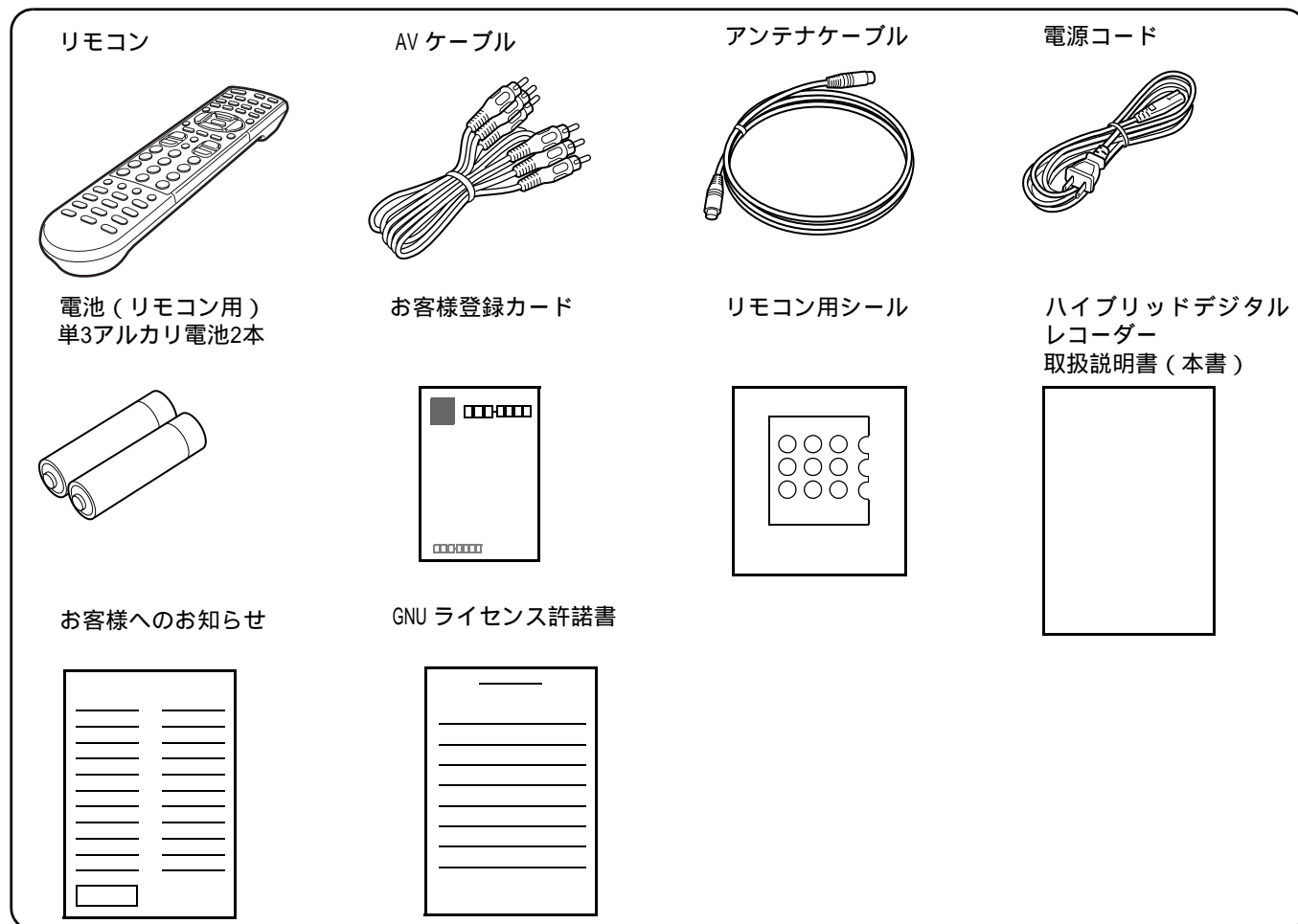
ディスクの外周部を指ではさむ

片手で持つ場合

ディスク中央の穴と外周部に指をかける

DVD ドライブのクリーニングについて

ドライブ内部のピックアップレンズに埃などがつくと、ディスクのデータが読み取りができにくくなります。
1 〜 4ヶ月に一度の割合で、ピックアップレンズのクリーニングを行ってください。
クリーニングには、次のピックアップクリーニングディスクをご使用ください。

名称	形名（メーカー）
ピックアップクリーニングディスク	LF-K123LCJ1(Panasonic 製)

同梱品を確かめる

はじめに、次の品が同梱されていることを確かめてください。

お客様登録しよう

お客様登録はぜひ行ってください。お客様登録には、ホームページから登録いただく方法と「お客様登録カード」を記入して郵送いただく方法の 2 種類があります。

■ホームページからの登録方法

次のホームページを開き、画面の指示にしたがって、お客様登録を行ってください。

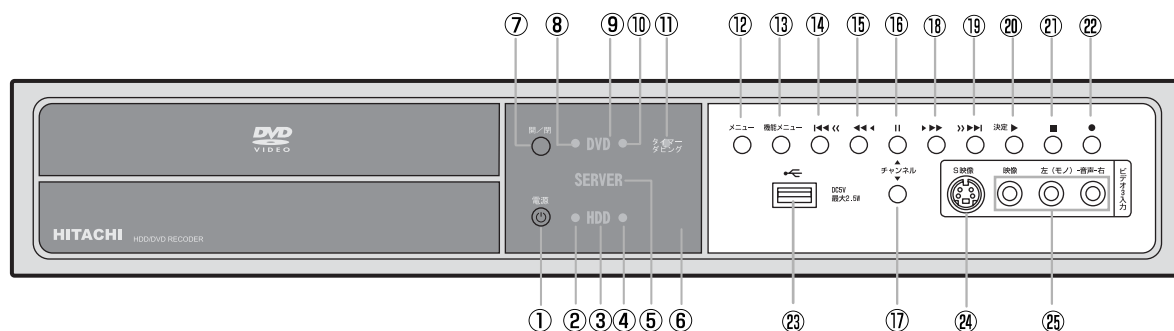
URL ： http://av.hitachi.co.jp/hybrid/entry/index.html

■「お客様登録カード」による登録方法

同梱の「お客様登録カード」をご記入いただき、お手数ですが郵送してください。

①製品形名	**保証書に記載されている形名をご記入ください。**
②製造番号	**保証書の記載されている製造番号をご記入ください。**
③ご住所	**現在お住まいの住所をご記入ください。**
④お電話番号	**ご自宅のお電話番号をご記入ください。**
⑤お名前	**お名前をご記入ください。フリガナも忘れずにお付けください。**
⑥誕生年 (西暦)	**数字でご記入ください。**
⑦性別	**該当する方に○を付けてください。**
⑧ E メールアドレス	**ご契約されているプロバイダーの E メールアドレスをご記入ください。**
⑨ご購入店名	**ご購入された店名 (支店名まで) をご記入ください。**
⑩ご購入日	**ご購入になった日付をご記入ください。**

各部の名前と主な働き

■ 前面 (ふたを開けた状態)

① [電源] ボタン

MSP1000 の電源を入／切します。
電源プラグがコンセントに差し込まれていると、赤ランプ点灯しています。電源を入れると赤ランプが消灯します。

② HDD 再生ランプ

HDD から映像などを再生しているときに点灯します。

③ HDD マーク

HDD モードを選択しているときに点灯します。

④ HDD 録画ランプ

HDD に録画しているときに点灯します。

⑤ SERVER マーク

ホームストリーミングモードを選択しているときに点灯します。

⑥ リモコン受信部

リモコンは、ここに向けて操作します。

⑦ [開 / 閉] ボタン

ディスクを出し入れするときに押します。

⑧ DVD 再生ランプ

DVD から映像などを再生しているときに点灯します。

⑨ DVD マーク

DVD モードを選択しているときに点灯します。

⑩ DVD 録画ランプ

DVD に録画しているときに点灯します。

⑪タイマーダビングランプ

録画予約中または、ダビング中に点灯します。

⑫ [メニュー] ボタン

トップメニューを表示するときに押します。

⑬ [機能メニュー] ボタン

機能メニューを表示するときに押します。

⑭ [前チャプター] ボタン

頭出し再生 (前チャプターマーク) するときや、表示を切り換えるときなどに押します。

⑮ [早戻し] ボタン

再生中に早戻しするときや、左の項目を選ぶときなどに押します。

⑯ [一時停止／▲] ボタン

再生をいったん停止するときや、上の項目を選ぶとき、チャンネルを変えるときなどに押します。

⑰ [▼] ボタン

下の項目を選ぶときや、チャンネルを変えるときなどに押します。

⑱ [早送り] ボタン

再生中に早送りするときや、右の項目を選ぶときなどに押します。

⑲ [次チャプター] ボタン

頭出し再生 (後チャプターマーク) するときや、表示を切り換えるときなどに押します。

⑳ [再生／決定] ボタン

録画した番組やディスクを再生するときや、選んだ項目を決定／実行するときなどに押します。

㉑ [停止] ボタン

再生や録画をやめるときに押します。

㉒ [録画] ボタン

録画するときに押します。

㉓ USB 端子

デジタルカメラを接続できます。

㉔ [S 映像] 入力 3 端子

㉕ [映像 / 音声] 入力 3 端子

ふたの開けかた

ふたの右上隅を軽く押すと、ふたが開きます。

ディスクの出し入れ

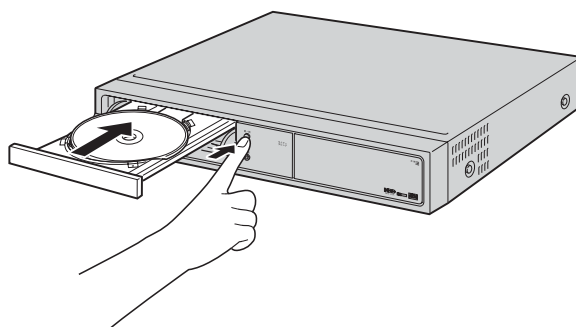
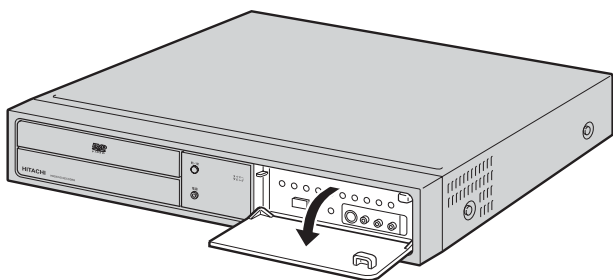
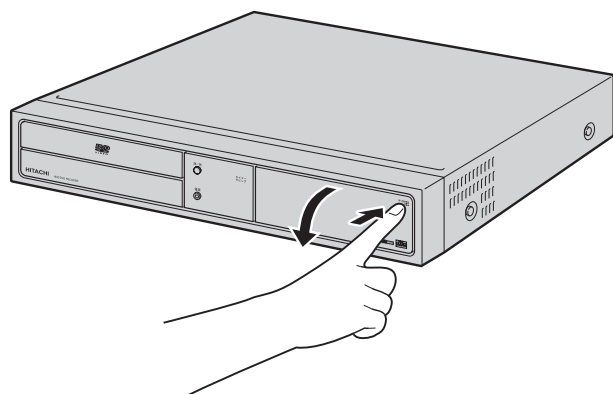
ディスクの出し入れは、次の手順で行ってください。

1 MSP1000 の [開 / 閉] ボタンを押す

- **リモコンの [開 / 閉] ボタンでも同じように操作できます。**

2 ディスクトレイにディスクをセットする

3 MSP1000 の [開 / 閉] ボタンを押す

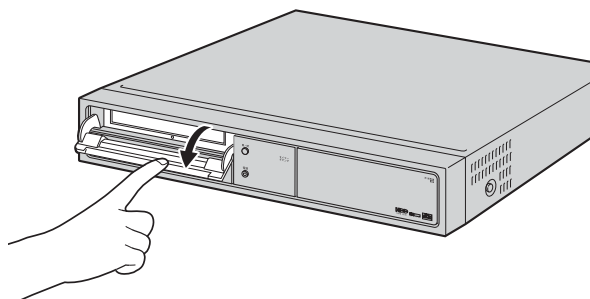
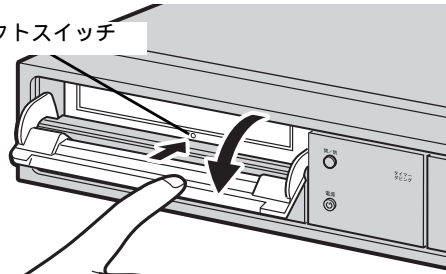
- **リモコンの [開 / 閉] ボタンでも同じように操作できます。**

ディスクの出し入れは、電源を入れてから

MSP1000 の電源が入っていないと、ディスクを出し入れできません。
ディスクの出し入れは、MSP-1000 が立ち上がり、画面に「画面表示情報」が表示されたあと行ってください。立ち上げ途中では、ディスクトレイの開閉はできません。

「画面表示情報」について→ 「再生時の画面表示情報」(P.47)

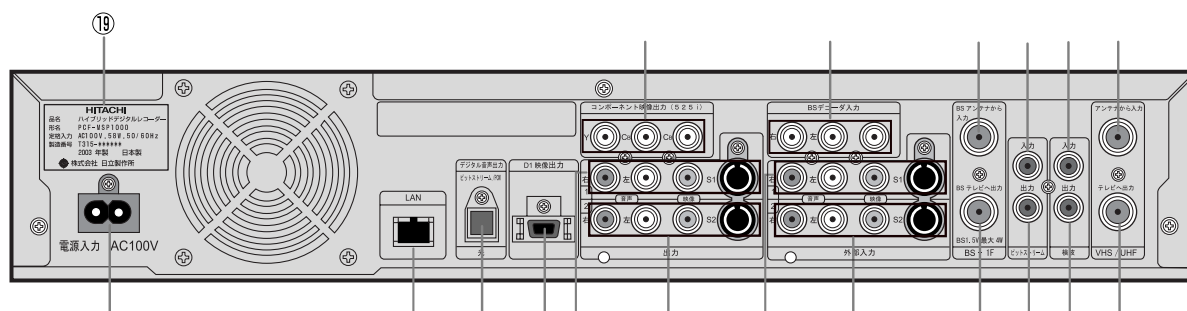
ディスクの強制イジェクトについて

ドライブが壊れ、[開 / 閉] ボタンを押しても、ディスクの取り出しができないときは、次の手順でディスクを取り出してください。

1 ドライブのふたを指で開ける

2 強制イジェクトスイッチに、細いピンなどを差込み、ディスクを取り出す

通常は強制イジェクトはやらない

ドライブが壊れ、ディスクが取り出せない場合のみ、強制イジェクトを行ってください。通常の操作として、強制イジェクトは行わないでください。

■ 背面

① 電源入力

電源コードを接続します。

② LAN 端子

LAN 接続するとき、LAN ケーブルを接続します。

③ コンポーネント映像出力端子 (525i)

④ BS デコーダー入力端子

⑤ BS-IF 入力端子

⑥ ビットストリーム入力端子

⑦ 検波入力端子

⑧ VHF/UHF 入力端子

⑨ デジタル音声出力端子 (光)

デジタル音声入力端子 (光) がある機器と接続できます。

⑩ D1 映像出力端子

⑪ 映像／音声出力 1 端子

⑫ 映像／音声出力 2 端子

⑬ 映像／音声入力 1 端子

⑭ 映像／音声入力 2 端子

⑮ BS-IF 出力端子

⑯ ビットストリーム出力端子

⑰ 検波出力端子

⑱ VHF/UHF 出力端子

⑲ 製品銘板

形名や製造番号が記載されています。

製品銘板

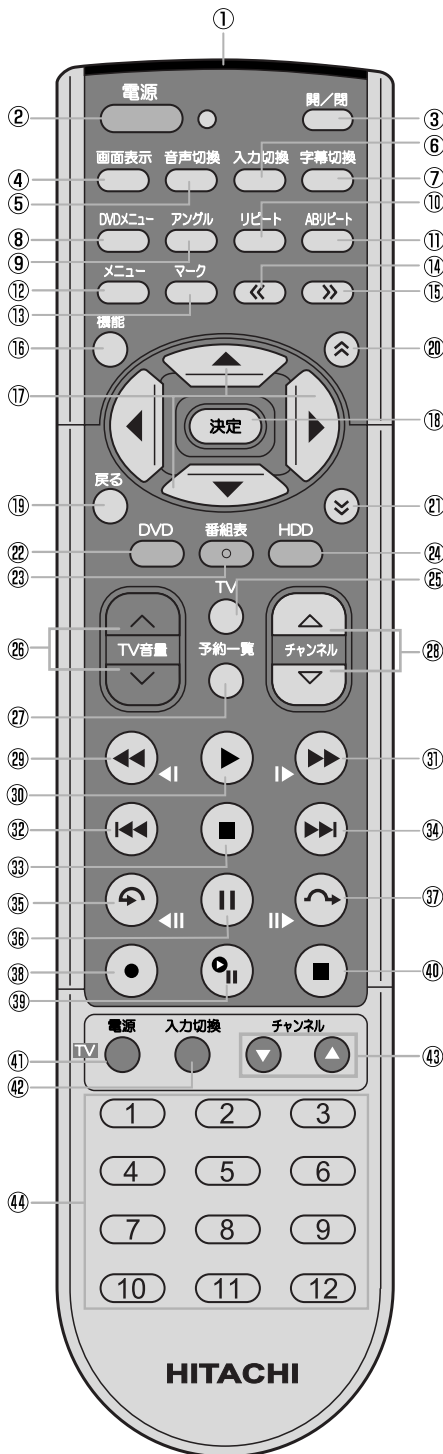
HITACHI

品名　ハイブリッドデジタルレコーダー
形名　PCF-MSP1000
定格入力　AC100V,58W,50/60Hz
製造番号　T315-******
2003 年製　日本製
株式会社 日立製作所

ほかの機器との接続について

アンテナ、テレビ、BS デコーダーとの接続については、7 章をご覧ください。

テレビなどとの接続方法→ 7 章「接続する」(P.123)

■ リモコン

● **リモコンには、同梱されているリモコン用シールをはり付けてください。**

① リモコン送信部

ここを MSP1000 のリモコン受信部へ向けて操作します。

② [電源] ボタン

MSP1000 の電源を入／切します。

③ [開 / 閉] ボタン

ディスクを出し入れするときに押します。

④ [画面表示] ボタン

いろいろな情報を確かめたいときに押します。

⑤ [音声切換] ボタン

二重音声放送やステレオ放送の場合、音声出力を切り換えるときに押します。

・ 二重音声放送の切換
  主副（主音声＋副音声）＊1→主（主音声）＊2→副（副音声）＊2→主副→…の順に切り換わります。
・ ステレオ放送の切換
  LR(ステレオ音声）＊1→L(左音声）＊2→R(右音声）＊2→LR→…の順に切り換わります。
・ DVD 音声（言語）の切換
  音声1→音声2→…→音声1→…の順に切り換わります。
  ＊1 ： モノラルのテレビなどでは、片方の音声のみになります。
  ＊2 ： ステレオのテレビなどでは、左右から同じ音声がでます。

⑥ [入力切換] ボタン

外部入力を切り換えるときに押します。

⑦ [字幕切換] ボタン

DVD ビデオを再生している場合、字幕を切り換えるときに押します。

⑧ [DVD メニュー] ボタン

DVD ビデオを再生している場合、DVD のメニュー画面を表示するときに押します。

⑨ [アングル] ボタン

DVD ビデオを再生している場合、アングルを切り換えるときに押します。

⑩ [リピート] ボタン

DVD ビデオを再生している場合、リピート機能を使うときに押します。

⑪ [AB リピート] ボタン

DVD ビデオを再生している場合、リピート機能を使うときに押します。

⑫ [メニュー] ボタン

トップメニューを表示するときに押します。

⑬ [マーク] ボタン

チャプターのマークを設定するときに押します。

⑭ [<<] ボタン

表示を切り換えるときなどに押します。

⑮ [>>] ボタン

表示を切り換えるときなどに押します。

⑯ [機能] ボタン

機能メニューを表示するときに押します。

⑰ [カーソル] ボタン

上下左右の項目を選ぶときなどに押します。
※本書では、それぞれ [↑] ボタン、[↓] ボタン、[←] ボタン、[→] ボタンと表記します。

⑱ [決定] ボタン

選んだ項目を決定／実行するときなどに押します。

⑲ [戻る] ボタン

操作の途中で一つ前の画面に戻るときなどに押します。

⑳ [上スクロール] ボタン

番組表などで、表の上側を見たいときに押します。

㉑ [下スクロール] ボタン

番組表などで、表の下側を見たいときに押します。

㉒ [DVD] ボタン

DVD ディスクに録画した番組や、DVD ビデオを再生するときに押します。

㉓ [番組表] ボタン

番組表を表示するときに押します。

㉔ [HDD] ボタン

HDD に録画したものを一覧表示するときに押します。

㉕ [TV] ボタン

放送中のテレビ番組を表示するときに押します。

㉖ [TV 音量] ボタン

テレビの音量を増減するときに押します。

㉗ [予約一覧] ボタン

録画予約した番組を一覧表示するときに押します。

㉘ [チャンネル] ボタン

チャンネルを順に変えるときに押します。

㉙ [早戻し] ボタン

再生中に早戻しするときなどに押します (一時停止中に押すとスロー戻しになります)。繰り返し押すと速度を調節できます。

㉚ [再生] ボタン

録画した番組やディスクを再生するときに押します。早送り、早戻し、スロー再生中に押すと、通常の速度に戻ります。

㉛ [早送り] ボタン

再生中に早送りするときなどに押します (一時停止中に押すとスロー再生になります)。繰り返し押すと速度を調節できます。

㉜ [前チャプター] ボタン

チャプターの先頭に戻るときなどに押します。

㉝ [停止] ボタン

再生をやめるときなどに押します。

㉞ [次チャプター] ボタン

次のチャプターに進むときなどに押します。

㉟ [バック] ボタン

再生中に約 10 秒戻すときに押します。一時停止後に押すと、コマ戻しします。

㊱ [一時停止] ボタン

再生をいったん停止するときに押します。

㊲ [ジャンプ] ボタン

再生中に約 30 秒スキップするときに押します。CM スキップなどに使えます。一時停止後に押すと、コマ送りします。

㊳ [録画] ボタン

録画するときに押します。

㊴ [ちょっと待って] ボタン

放送中の番組を一時停止するときに押します。

㊵ [録画停止] ボタン

録画をやめるときに押します。

㊶ TV[電源] ボタン

テレビの電源を入／切します。

㊷ TV[入力切換] ボタン

テレビの外部入力を切り換えるときに押します。

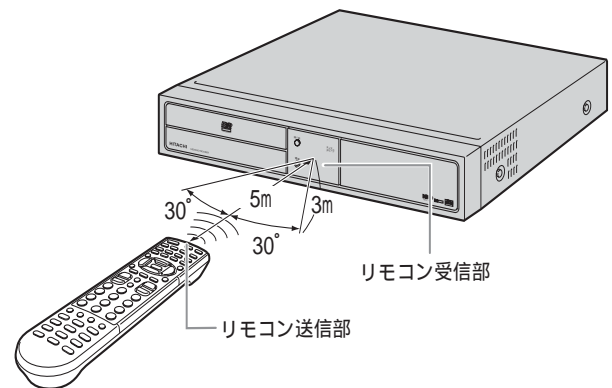
㊸ TV[チャンネル] ボタン

テレビが受信している放送のチャンネルを順に変えるときに押します。

㊹ [数字 1] 〜 [数字 12] ボタン ([数字] ボタン)

チャンネルを選ぶときや、数字を入力するときに押します。

リモコンの操作範囲

リモコンを操作するときは、リモコン送信部を MSP1000 のリモコン受信部に向け、ボタンを確実に押してください。

● リモコンの送信部と MSP1000 の受信部位置により、操作範囲が変わります。リモコンは操作範囲内でご使用ください。
正面の場合（5m）
左右 30 °にずれる場合（3m）
上下 30 °にずれる場合（3m）

番組情報を表示したくないときは

本体やリモコンのボタンを押すと、放送中または再生中の番組情報が表示されます。この番組情報を表示したくないときは、[その他設定] 画面で「画面表示」を選び、「 OFF 」に設定してください。[画面表示] ボタンを押したときだけ、番組情報を表示するようになります。

[その他設定] 画面の表示方法→ 「[その他] 画面を表示する」(P.130)

前準備

使い始める前に、MSP1000 を次のような手順で設置してください。

■ STEP1 アンテナやお手持ちの機器と接続する

ご自分でアンテナ、テレビ、BS デコーダーと接続する場合は、7 章の説明を見ながら進めてください。

テレビなどとの接続方法→ 7 章「接続する」(P.123)

■ STEP2　パソコンと接続する（ オプション ）

MSP1000 のホームストリーミング機能をお使いになる場合は、パソコンと LAN ケーブルで接続します。ホームストリーミングモード機能をお使いにならない場合は、必要ありません。

LAN ケーブルの接続方法→ 5 章「パソコンで見る」(P.83)

■ STEP3 電源コードを接続する

MSP1000 背面に電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

MSP1000 の動作中、電源を切らない

MSP1000 の動作中に、電源プラグをコンセントから抜かないでください。録画した番組が消えたり、HDD が損傷する恐れがあります。動作中に電源が切られた場合、次に電源を入れると MSP1000 が自動的に自己チェックを行います。そのため、画面が表示されるまで、普段より時間がかかります。

電源プラグを正しく取り外す→ 「電源プラグを抜く前の操作」(P.121)

■ STEP4 リモコンを準備する

リモコンに電池をセットして、MSP1000 を操作できるようにします。

リモコンの準備→ 「リモコンを準備する」(P.127)

■ STEP5 日付と時刻などを設定する

録画予約を正しく実行させるため、日付と時刻を設定します。また、お使いのテレビの種類を設定します。

日付と時刻の設定→ 「日時とテレビを設定する」(P.130)

■ STEP6 チャンネルを設定する

放送局からの電波を正しく受信するため、チャンネルを設定します。

チャンネルの設定→「チャンネルを設定する」(P.135)

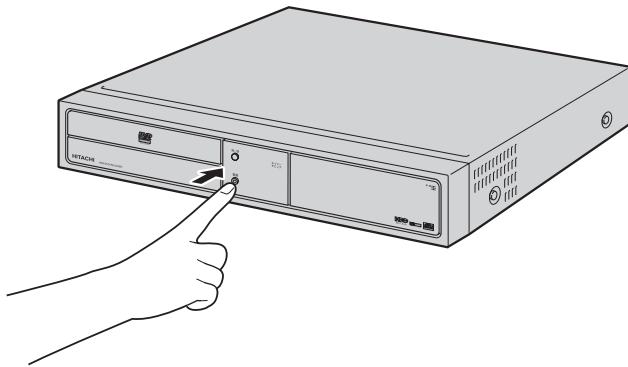
電源を入れる / 切る

前準備が終わったら、使い始める前に、電源の入れ方 / 切り方を覚えましょう。

■ 電源を入れる

1 MSP1000 前面の [電源] ボタンまたは、付属のリモコンで [電源] ボタンを押す

MSP1000 の電源が入ります。

● MSP1000 前面の［電源］ボタン

● リモコンの［電源］ボタン

MSP1000 前面の［電源］ボタンについて→ 「前面 (ふたを開けた状態)」(P.15)

リモコンの［電源］ボタンについて→ 「リモコン」(P.18)

はじめて電源を入れたときは

はじめて電源を入れたときや、一度電源コードを接続し直したあと電源を入れたときは、MSP1000 が自動的に、自己チェックを行います。そのため画面が表示されるまで、普段より時間がかかります。

番組表が表示できるようになるまで

はじめて電源を入れたときや、電源プラグを長時間抜いていたときは、番組表がすぐには表示されません。電子番組ガイド（EPG）を取り込んで、番組表が表示できるようになるまで、4 ～ 24 時間かかる場合があります。

電子番組ガイド（EPG）について→ 「電子番組ガイド (EPG) とは」(P.31)

■ 電源を切る

1 MSP1000 前面の [電源] ボタンまたは、付属のリモコンで [電源] ボタンを押す

MSP1000 の電源が切れます。

MSP1000 の動作中、電源を切らない

MSP1000 の動作中に、電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。録画した番組が消えたり、HDD が損傷する恐れがあります。動作中に電源が切ってしまった場合、次に電源を入れると MSP1000 が自動的に自己チェックを行います。そのため、画面が表示されるまで、普段より時間がかかります。

電源プラグを抜くときの手順

MSP1000 から電源プラグを抜くときは、電源を切る手順が通常と異なります。普段の電源を切る手順を行ったあと、電源プラグを抜くと録画した番組が消えたり、HDD が破損する恐れがあります。電源プラグを抜くときは、正しい手順で電源を切ってください。

電源プラグを抜くときの電源を切る手順→ 「電源プラグを抜く前の操作」(P.121)

電源を入れたときのフロントパネルランプ

MSP1000 の電源を入れた直後は、フロントパネルの［HDD マーク］が点灯します。

便利な使い方 (設定編)

ここでは、MSP1000 の設定項目についてまとめてあります。詳細については、以降のページとあわせてお読みください。

■「各種設定」の実施

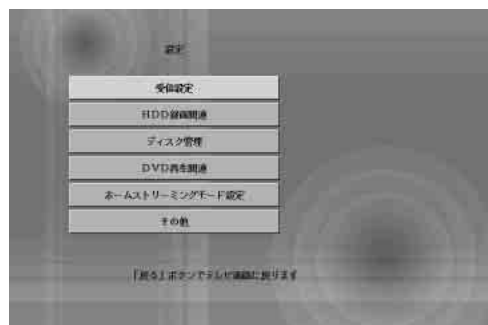
1 [メニュー] ボタンを押す

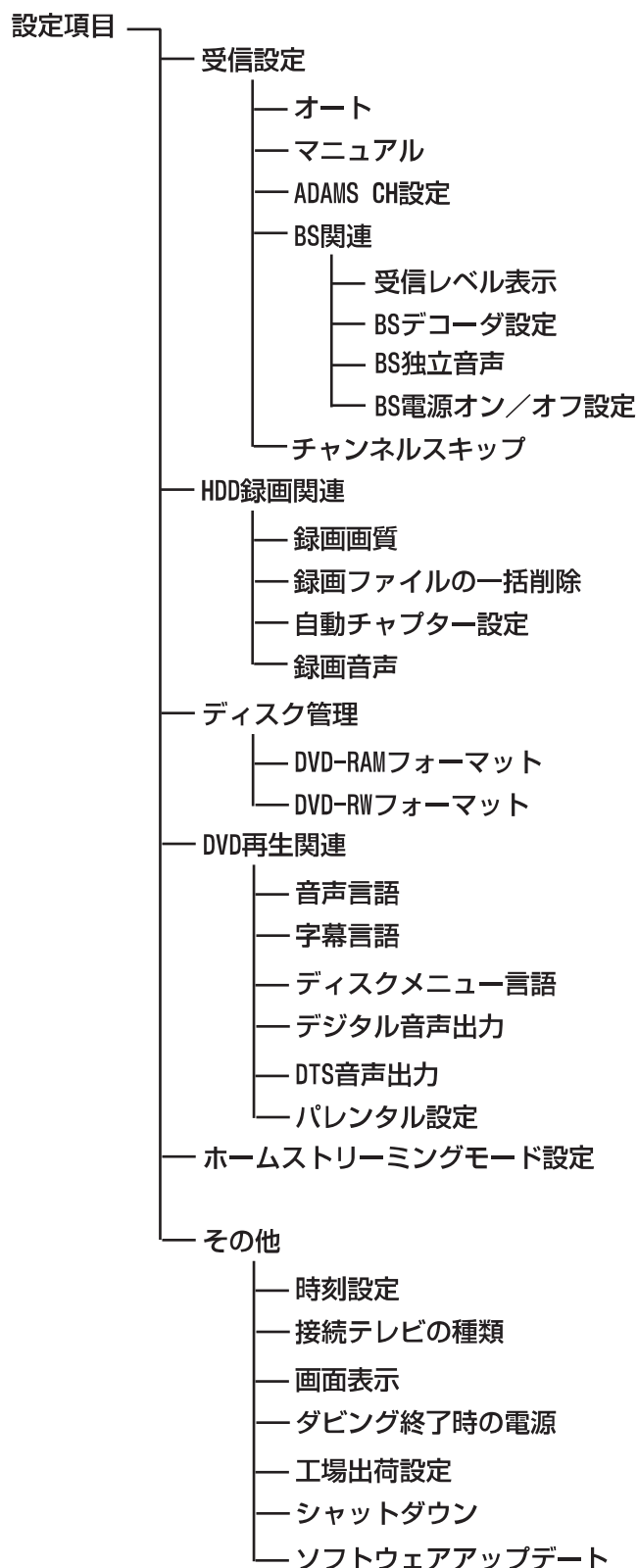
[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「各種設定」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

[設定] 画面が表示されます。

● **[戻る] ボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。**

■「各種設定」一覧

「各種設定」で、設定・操作可能な項目は、次の通りです。

■ 受信設定～オート

受信チャンネルを自動で設定します。

● **指定内容**

「都道府県」	お住まいの都道府県名
「都市名」	お住まいの都市名

■ 受信設定～マニュアル

受信チャンネルを手動で設定します。

● **指定内容**

「設定モード」	「CH」が選ばれた状態にしておく
「ボタン番号」	リモコンのチャンネル番号
「チャンネル」	放送局のチャンネル番号
「表示」	テレビ画面に表示されるチャンネル番号 通常は、「チャンネル」と同じ設定にしてください
「放送局 ID」	放送局の個別 ID
「サブ画面」	「チャンネル」で選んだ放送局の番組が表示されます

放送局 ID を正しく設定してください

放送局 ID を正しく設定しないと、番組表が正しく表示されません。

放送局 ID について→ 8 章「放送局一覧表」(P.145)

■ 受信設定～ ADAMS CH 設定

電子番組ガイド (EPG) を受信する ADAMS 放送局の受信チャンネルを設定します。

● **指定内容**

「チャンネル」	ADAMS 放送局のチャンネル
「サブ画面」	選んだ放送局の番組が表示されます

ADAMS 放送局を受信できない

地域によっては、ADAMS 放送局を受信できず、電子番組ガイド (EPG) を使えないことがあります。

■ 受信設定～ BS 関連

BS 関連の設定をします。

受信レベル表示

- **受信レベルが数値で表示されます。値が大きい程受信感度が高いことを示します。
受信レベルを見ながら、アンテナの向きを調整してください。**
- **サブ画面には、BS 7ch: 衛星第一放送が表示されます。**

BS デコーダ設定

- **BS スクランブル放送 (WOWOW) を楽しむときなど、BS 入力端子に接続された BS デコーダーを使用する場合は、次の設定を行ってください。**
- **指定内容**

「オート」	BS スクランブル放送を自動的に判別します。スクランブル放送時は、自動的に BS 入力端子に接続された BS デコーダーを選びます。通常は、「オート」を選んでください。
「BS 入力」	放送内容にかかわらず、BS 入力端子に接続された BS デコーダーを選びます。BS 独立音声放送を楽しむとき、「BS 入力」を選んでください。

BS 独立音声

- **独立音声放送を楽しむときに設定します。**
- **指定内容**

「TV」	テレビ音声
「独立」	BS 独立音声放送

BS 電源オン / オフ設定

- **BS アンテナへの電源供給を行う場合に設定します。なお、集合住宅などで BS アンテナを共用しているときは、設定不要です。**

■ 受信設定～チャンネルスキップ

空きチャンネルのスキップを設定します。

● **指定内容**

「する」	該当チャンネルをスキップする
「しない」	該当チャンネルをスキップしない
「サブ画面」	選んだ放送局の番組が表示されます

- **スキップを設定したチャンネルは、チャンネルアップ・ダウン選局の時にスキップされます。**

■ HDD 録画関連～録画画質

通常録画時 (放送中の番組録画) の画質を設定します。

● **指定内容**

「画質」	「HQ」：高画質モード (DVD 相当) 録画時間＝約 30 時間 (HDD)、 約 1 時間 (DVD) 「SP」：標準モード (S-VHS 相当) 録画時間＝約 60 時間 (HDD)、 約 2 時間 (DVD) 「LP」：長時間モード (VHS 相当) 録画時間＝約 120 時間 (HDD)、 約 4 時間 (DVD) 「VOD」：パソコン視聴モード (S-VHS 相当) 録画時間＝約 45 時間 (HDD)、 約 1.5 時間 (DVD) 初期設定→「SP」

■ HDD 録画関連～録画ファイルの一括削除

HDD の番組をすべて削除します。
番組録画や削除を繰り返すうちに、HDD の使用効率は徐々に低下していきます。「録画ファイルの一括削除」を実行すると、HDD をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
ただし、一括削除を実行すると、保護された番組も含め HDD に録画した番組はすべて削除されます。録画した番組を削除してもよいか、事前にお確かめください。

■ HDD 録画関連～自動チャプター設定

チャプターマークの自動登録を設定します。
複数の番組にまたがって録画したいときに、番組の変わり目に自動でチャプターマークを登録することができます。

● **番組の変わり目とは、[番組表] 画面の行と行の間を指します。**

■ HDD 録画関連～録画音声

音声多重放送の録画音声を設定します。
お買い上げ時の設定では、音声多重放送を録画する際に主音声 (通常は日本語) のみを録音します。
主音声と副音声を両方録音したいときや、副音声のみを録音したいときは、次の設定を行ってください。

● **指定内容**

「音声多重放送」	「主音声のみ」：主音声（通常は日本語）のみを録音する 「副音声のみ」：副音声（通常は外国語）のみを録音する 「主副両方」：主音声と副音声を両方とも録音する 初期設定→「主音声のみ」

主音声と副音声の両方とも録音したときは

「音声多重放送」の設定を「主副両方」に設定して録画したデータから DVD ビデオを作成した場合、再生時に主音声と副音声が同時に出力されます。ただし、DVD 再生中に [機能] ボタンを押し、音声の切り換えを行うことは可能です。
通常は、「主音声のみ」または「副音声のみ」のどちらか一方に設定してください。

■ ディスク管理～DVD-RAMフォーマット

DVD-RAM をフォーマット (初期化) します。
DVD-RAM ディスクをフォーマットすると、保護された番組も含め DVD-RAM ディスクに録画した番組はすべて削除されます。
録画した番組を削除してもよいか、事前にお確かめください。

■ ディスク管理～ DVD-RW フォーマット

DVD-RW をフォーマット (初期化) します。
DVD-RW ディスクをフォーマットすると、録画した番組はすべて削除されます。
録画した番組をすべて削除してもよいか、事前にお確かめください。

■ DVD 再生関連～音声言語

DVD ビデオ再生時の音声言語を設定します。
初期設定は、「日本語」です。

■ DVD 再生関連～字幕言語

DVD ビデオ再生時の字幕言語を設定します。
初期設定は、「オフ」です。

■ DVD再生関連～ディスクメニュー言語

DVD ビデオのディスクメニュー言語を設定します。
初期設定は、「日本語」です。

■ DVD 再生関連～デジタル音声出力

ドルビーデジタル音声出力を設定します。
ドルビーデジタル方式に対応したアンプをお使いの場合、「ビットストリーム」に設定することで、ドルビーデジタル音声出力を可能にします。
ドルビーデジタル非対応のアンプをお使いの場合、「PCM」に設定してご使用ください。
初期設定は、「PCM」です。

■ DVD 再生関連～ DTS 音声出力

DTS 音声出力を設定します。
DTS 方式に対応したアンプをお使いの場合、「ビットストリーム」に設定することで、DTS 音声出力を可能にします。
DTS 非対応のアンプをお使いの場合、「オフ」に設定してご使用ください。
初期設定は、「オフ」です。

■ DVD 再生関連～パレンタル設定

視聴制限 (パレンタル) を設定します。

- **暗証番号**
  4 桁の数字を入力してください。[1] ～ [9] の数字ボタンで入力します。[11] ボタンで「0」を入力できます。
  「暗証番号」がチェックされ、「レベル」が設定できるようになります。はじめて入力する場合、「暗証番号」が登録されます。
- **レベル**
  0 ～ 8 のレベルが設定できます。

■ ホームストリーミングモード設定

ホームストリーミングモードの使用設定をします。

- **IP アドレス設定**
  ルーターを導入される場合や、DHCP サーバー機能を持つ他の機械をご使用の場合には、DHCP を「使用する」に設定してください。DHCP を使用する場合、IP アドレスの設定は不要です。それ以外の場合は、DHCP を「使用しない」に設定し、IP アドレスの設定を行います。
- **「IP アドレス」には、「192 168 xxx yyy」と入力します。「xxx」には MSP1000 と同じ値を設定します。「yyy」には、0 ～ 255 の範囲で自由な値を入力します。入力した値は紙などに控えておきます。**
- **「サブネットマスク」には、「255 255 255 0」と入力します。**
- **設定の保存**
  設定を変更した場合、「設定」を選択して設定を保存してください。

■ その他～時刻設定

日付と時刻を設定します。

- **設定内容**

「年月日」	今日の日付
「時刻」	現在の時刻

設定を変更した場合、「設定」を選択して [決定] ボタンを押しください。

■ その他～接続テレビの種類

接続するテレビの種類を設定します。

- **設定内容**

「接続テレビ」	接続しているテレビのタイプ 初期設定→「4：3」
「映像種別」	外部機器への映像出力 初期設定→「L.BOX」

ただし、「接続テレビ」で「16：9」を選択した場合、「映像種別」で「L.BOX」を選択しても、「Pan Scan」を選択しても、効果は同じです。

■ その他～画面表示

画面表示情報の表示／非表示を設定します。

- **設定内容**

「ON」	番組視聴中の「画面表示情報」を表示できるようにする
「OFF」	「画面表示情報」を表示しないようにする

📖 **画面表示情報→「録画時の画面表示情報」(P.41)**

📖 **画面表示情報→「再生時の画面表示情報」(P.47)**

📖 **画面表示情報→「DVD ビデオ再生時の画面表示情報」(P.56)**

■ その他～ダビング終了時の電源

ダビング終了時に自動で電源を OFF にするかを設定します。

- **設定内容**

「ON」	初期値を「ダビング終了時は ON のまま終了」に設定する
「OFF」	初期値を「ダビング終了時は自動電源 OFF」に設定する

ここで設定された初期値は、ダビングを行うときに初期値として表示されます。
ダビング開始時に、「ON のまま終了／自動電源 OFF」を設定できます。

■ その他～工場出荷設定

MSP1000 の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
録画予約はすべて削除されます。また、EPG データも一部の地域を除き削除されます。
ただし、「工場出荷設定」を行っても、HDD に録画した内容は削除されません。

■ その他～シャットダウン

MSP1000 のシャットダウンを行います。
MSP1000 の電源プラグをコンセントから抜く場合は、その前に「シャットダウン」を行ってください。

■ その他～ソフトウェアアップデート

MSP1000 のソフトウェアをアップデートするときに行います。
アップデートの手順は、アップデート用 CD のパッケージに添付予定です。

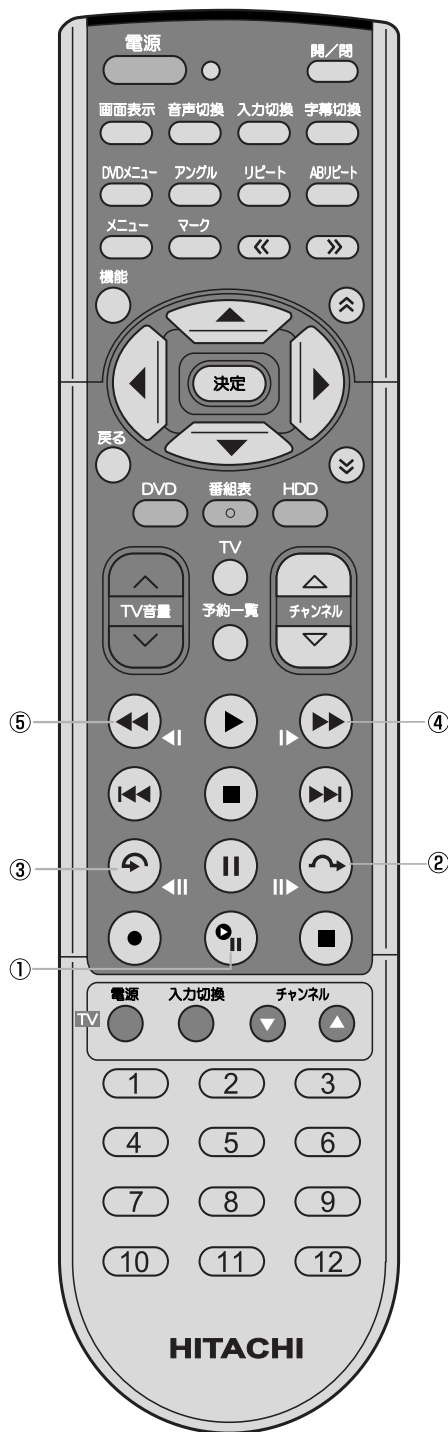
便利な使い方 (本体ボタン編)

ここでは、MSP1000 の本体ボタンについてまとめてあります。詳細については、以降のページとあわせてお読みください。

項番	本体ボタン名称	画面状態			
		HDD 再生時	DVD 再生時	TV 表示時	その他、メニュー / 機能メニュー / 電子番組表 (EPG) 表示など
1	メニュー	●メニュー表示 ● 2 回押すと、メニュー画面が閉じる	●メニュー表示 ● 2 回押すと、メニュー画面が閉じる	●メニュー表示 ● 2 回押すと、メニュー画面が閉じる	【EPG・タイトル一覧表示時】 ●メニュー表示 ● 2 回押すと、メニュー画面が閉じる
2	機能メニュー	【予約録画実行中】 ●機能メニュー表示 ● 2 回押すと、メニュー画面が閉じる	【ビデオ形式、VR 形式】 ●機能メニュー表示 ● 2 回押すと、機能メニュー画面が閉じる 【DVD-RAM データ形式】 ●無効	【予約録画実行中】 ●機能メニュー表示 ● 2 回押すと、メニュー画面が閉じる	画面により、メニュー画面が表示される場合と表示されない場合があります。
3	前チャプター / ≪	前チャプターへ ジャンプ	前チャプターへ ジャンプ	—	【EPG・タイトル一覧表示時】 ●上段左メニューに移動
4	早戻し / ◀	【再生時、早送り時】 ●早戻し 【早戻し時】 ●速度調整 × 2 × 4 × 8 × 32 × 120 【一時停止時、スロー送り時】 ●スロー戻し 【スロー戻し時】 ●速度調整 × 1/2 × 1/4 × 1/8	【再生時、早送り時】 ●早戻し 【早戻し時】 ●速度調整 × 2(*1) × 4 × 8 × 32 × 120(*2) 【一時停止時、スロー送り時】 ●スロー戻し (*1) 【スロー戻し時】 ●速度調整 (*1) × 1/2 × 1/4 × 1/8 *1：HDD 録画中は不可 *2：本機で作成した DVD-RAM のみ	—	●左カーソル
5	一時停止 / チャンネル▲	●一時停止 一時停止解除は、[再生] ボタンまたは、[一時停止] ボタンを押す	●一時停止 一時停止解除は、[一時停止] ボタンを押す	●チャンネルアップ	●上カーソル
6	チャンネル▼	—	—	●チャンネルダウン	●下カーソル
7	早送り / ▶	【再生時、早戻し時】 ●早送り 【早送り時】 ●速度調整 × 1.5 × 2 × 4 × 8 × 32 × 120 【一時停止時、スロー戻し時】 ●スロー送り 【スロー送り時】 ●速度調整 × 1/2 × 1/4 × 1/8	【再生時、早戻し時】 ●早送り 【早送り時】 ●速度調整 × 1.5(*1) × 2(*1) × 4 × 8 × 32 × 120(*2) 【一時停止時、スロー戻し時】 ●スロー送り (*1) 【スロー送り時】 ●速度調整 (*1) × 1/2 × 1/4 × 1/8 *1：HDD 録画中は不可 *2：本機で作成した DVD-RAM のみ	—	●右カーソル

項番	本体ボタン名称	画面状態			
		HDD 再生時	DVD 再生時	TV 表示時	その他、メニュー / 機能メニュー / 電子番組表 (EPG) 表示など
8	次チャプター / ≫	次チャプターへジャンプ	次チャプターへジャンプ	—	【EPG・タイトル一覧表示時】 ●上段右メニューに移動
9	再生	●再生	【DVD メニュー表示時】 ●決定	●再生 HDD タイトル再生中に、再生中のタイトルを停止しないで、HDD タイトル画面以外へ移行した場合、[再生] ボタンを押すと、続きから再生	●決定
10	停止	●再生停止	●再生停止 DVD 映像録画中は、録画も停止	●録画中は録画停止	【EPG・タイトル一覧表示時】 ●録画中は録画停止
11	録画	—	●録画開始 ただし、コピー制御信号が含まれるDVDや番組の再生時は無効	●録画開始	【サブ画面に TV 放送表示時】 (EPG・タイトル一覧表示時) ●録画開始
12	備考	—	リモコンの [DVD メニュー] ボタンを押したときと、本体の [機能メニュー] ボタンを押したときでは、同じ「タイトルメニュー」画面が表示される	—	—

便利な使い方 (リモコン編)

ここでは、MSP1000 のリモコンのボタンについてまとめてあります。

● **リモコンには、同梱されているリモコン用シールをはり付けてください。**

① [ちょっと待って] ボタン
② [ジャンプ] ボタン
③ [バック] ボタン
④ [早送り] ボタン
⑤ [早戻し] ボタン

① [ちょっと待って] ボタン

TV 視聴中に、来客・電話などで TV の前を離れなければならないときに、ビデオを一時停止するように TV 画面を一時停止することができます。一度 [ちょっと待って] ボタンを押すと、TV 画面が一時停止して HDD への録画が自動的に始まります。TV 画面の一時停止後、いったん TV の前を離れて再び戻って来たら、[再生] ボタンを押すことで、先ほど見ていた番組の続きを見ることができます。この間もずっと HDD への録画は継続していますので、現在放送中の番組も時間をずらして視聴することができます。
[ちょっと待って] 機能による HDD への録画を停止する (時間をずらしての視聴を止める) 場合には、[録画停止] ボタンを押してください。[TV] ボタンを押しても、時間をずらしての視聴を終えて現在の放送を視聴することができますが、HDDへの録画は継続します (通常のHDDへの録画と同じ状態になります)。
[ちょっと待って] 機能による時間をずらしての視聴中は、HDD 録画番組を視聴するのと同様に早送り／早戻し、スロー再生、一時停止、[ジャンプ]/[バック] ボタンの操作が可能です。また、[前チャプタ] ボタンを押すと [ちょっと待って] 機能による HDD 録画を開始した時点まで戻ることができます。
[ちょっと待って]機能を使用すると、その間の番組がHDDに録画保存されます。
なお、HDD 画面や番組表の小画面では、[ちょっと待って] ボタンは無効です。

② [ジャンプ] ボタン

HDD の再生中に、一定時間再生を進めたい場合に使用します。
1 回押すごとに約 30 秒先にジャンプします。
また、一時停止中のコマ送りにも使用します。
一時停止中、1 回押すごとに 1 コマだけ先に進めることができます。
なお、早送り／早戻し中や、スロー送り / スロー戻し中には操作できません。

③ [バック] ボタン

HDD の再生中に、見逃した場面を少しだけ戻って見たい場合に使用します。
1 回押すごとに約 10 秒前にバックします。
また、一時停止中のコマ戻しにも使用します。
一時停止中、1 回押すごとに数コマ分ずつ前に戻すことができます。
なお、早送り／早戻し中や、スロー送り / スロー戻し中には操作できません。

④ [早送り] ボタン

HDD/DVD/CD 再生の違いにより、次のように動作します。
・ HDD および、本機で作成した DVD-RAM 再生中
　押すたびに、1.5 倍→ 2 倍→ 4 倍→ 8 倍→ 32 倍→ 120 倍→ 1.5 倍→…、の早送りをします。
・ HDD 一時停止中
　押すたびに、1/2 倍→ 1/4 倍→ 1/8 倍→ 1/2 倍→…、のスロー送りをします。
・ DVD 再生中 (ただし、本機で作成した DVD-RAM を除く)
　押すたびに、1.5倍→2倍→4倍→8倍→32倍→1.5倍→…、の早送りをします。
・ DVD 一時停止中
　押すたびに、1/2 倍→ 1/4 倍→ 1/8 倍→ 1/2 倍→…、のスロー送りをします。
・ CD 再生中 / CD 一時停止中
　操作できません。
ただし、HDD 録画中は、DVD の 1.5 倍 /2 倍の早送りおよび、スロー送りの操作はできません。

⑤ [早戻し] ボタン

HDD/DVD/CD 再生の違いにより、次のように動作します。
・ HDD および、本機で作成した DVD-RAM 再生中
　押すたびに、2 倍→ 4 倍→ 8 倍→ 32 倍→ 120 倍→ 2 倍→…、の早戻しをします。
・ HDD 一時停止中
　押すたびに、1/2 倍→ 1/4 倍→ 1/8 倍→ 1/2 倍→…、のスロー戻しをします。
・ DVD 再生中 (ただし、本機で作成した DVD-RAM を除く)
　押すたびに、2 倍→ 4 倍→ 8 倍→ 32 倍→ 2 倍→…、の早戻しをします。
・ DVD 一時停止中
　押すたびに、1/2 倍→ 1/4 倍→ 1/8 倍→ 1/2 倍→…、のスロー戻しをします。
・ CD 再生中 / CD 一時停止中
　操作できません。
ただし、HDD 録画中は、DVD の 2 倍の早戻しおよび、スロー戻しの操作はできません。

1章　録画する

見たい番組を録画予約する

MSP1000 では、電子番組ガイド (EPG) を取り込んだ番組表を使って録画予約ができます。

日付と時刻を合わせる

MSP1000 の日付と時刻が合っていないと、録画予約を正しく実行できません。録画予約の前に、必ず日付と時刻を正しく合わせてください。番組情報を取得するチャンネルや時刻情報が配信されているチャンネルを視聴中には、日付、時刻は自動的に更新されます。

日付と時刻の設定方法→ **7 章「日付と時刻を設定する」(P.131)**

準 備

- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**

  電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)
- **MSP1000 を接続した外部入力 (ビデオ 1 など) を選び、受信したテレビ画面を表示させる。**

  テレビ画面の表示方法→ 7 章「テレビに MSP1000 の画面を表示させる」(P.129)

① [機能] ボタン
② [戻る] ボタン
③ [上スクロール] ボタン
④ [下スクロール] ボタン
⑤ [番組表] ボタン
⑥ [TV] ボタン
⑦ [チャンネル] ボタン
⑧ [前チャプター] ボタン
⑨ [次チャプター] ボタン

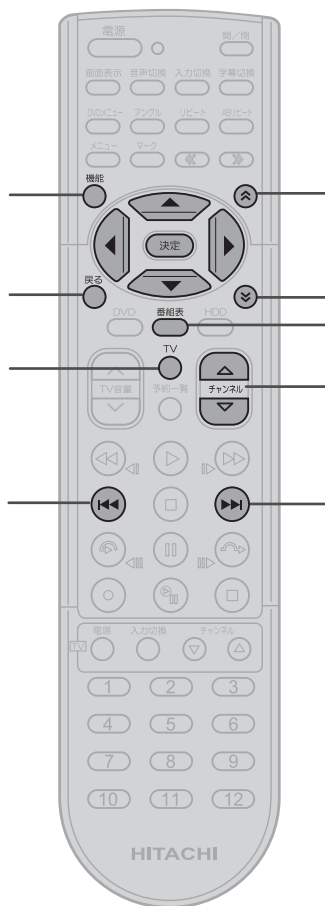
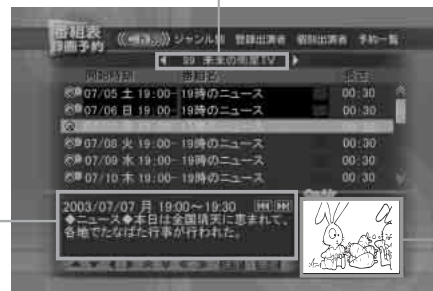
■ 録画する番組を選ぶ

番組を選ぶ

録画する番組は、番組表から探すことができます。番組表には、本日から最長で 1 週間先までの放送予定が表示されます。

1 [番組表] ボタンを押す

[番組表 <<Ch 別 >>] 画面が表示されます。

- **テレビ画面で見ていた放送局の番組表が表示されます。**
- **サブ画面には、テレビ画面で見ていた番組が表示されます。[チャンネル] ボタンを押すと、サブ画面の放送局が順に切り換わります。**
- **「番組内容の説明」が途中で終わっているとき、[次チャプター] ボタンを押すと、説明の続きが表示されます。表示を戻したいときは、[前チャプター] ボタンを押してください。**

※工場出荷時には、番組表は記録されていません。

2 [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、録画予約したい番組を選ぶ

- **番組表の放送局を変えるときは、[←] ボタンまたは [→] ボタンを押してください。放送局が順に変わります。**
- **番組表の放送日を変えるときは、[機能] ボタンを押し、機能メニューを表示します。[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、放送日を選んで [決定] ボタンを押してください。**
- **番組表の下側を見るときは、[下スクロール] ボタンを押します。表示を戻したいときは、[上スクロール] ボタンを押してください。**

電子番組ガイド (EPG) とは

電子番組ガイド（EPG：Electronic Program Guide）は、テレビ朝日系列 24 局のデータ放送によるテレビ番組の情報配信サービスです。番組の放送予定を確認できます。MSP1000 では、1 日数回のテレビ番組の情報配信サービス中に電源オフ、またはテレビ朝日系チャンネルを視聴中であれば、最新の EPG を取り込みます。
ただし、一部の地域、また放送局の状況によっては、利用できないこともあります。番組表を利用できない場合は、日時とチャンネルを選んで録画予約してください。

録画予約の方法→ 1 章「日時とチャンネルを選んで録画予約する」(P.36)

番組内容は、予告なしに変更される場合があります。

録画予約時、HDD の残量はチェックされない

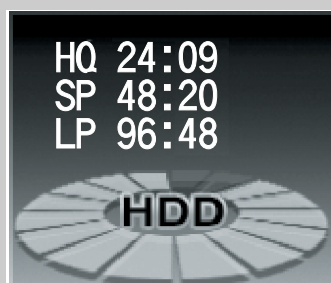
録画予約するとき、HDD の残量はチェックされません。録画予約の前に、[番組表] 画面で [画面表示] ボタンを押し、HDD の残量を確かめておきましょう。

HDD の残量を確認→ 1 章「番組を選ぶ」(P.30)

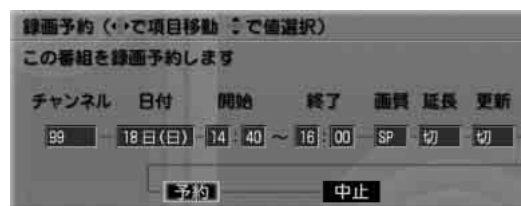
HDD の残量が足りないときは、不要な録画済み番組を削除してください。録画中に HDD の残量がなくなると、録画は自動的に停止されます。

録画済み番組の削除方法→ 2 章「番組を削除する」(P.53)

HDD の残量を確かめたいときは

[画面表示] ボタンを押すと、放送中または再生中の番組情報と HDD の残量が表示されます。表示内容は [画面表示] ボタンを押すごとに切り換わります。
非表示→番組情報→ HDD 残量→非表示

録画予約する

1 録画する番組を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

[録画予約] ウインドウが表示されます。

2 各項目の設定を確かめる

- **設定を変更しないときは、手順 5 に進んでください。**
- **設定内容**

「チャンネル」	録画するチャンネル
「日付」	録画予約日 毎週、毎日などの連続予約も可能
「開始」	録画を開始する時刻
「終了」	録画を終了する時刻
「画質」	録画時の画質 HQ(高画質モード) SP(標準モード) LP(長時間モード) JST(ジャスト記録モード)(P.33) VOD(パソコン視聴モード)
「延長」	録画時間を延長しないとき、「切」を選んでください。 録画時間を延長するとき、最大延長時間 (15 分、30 分、60 分、90 分) を選んでください。
「更新」	毎週、毎日などの連続予約をするとき、常に最新の内容で番組録画を更新し、古い番組を削除するかどうかを設定します。 更新しないときは、「切」を選んでください。録画した番組は、すべて保存されます。 更新するときは、「入」を選んでください。前回録画した番組を削除してから、次の録画予約を実行するようになります。

3 [←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、設定を変更したい項目を選ぶ

4 **[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、設定を変更する**

● **設定は次のように変わります。**

「チャンネル」	チャンネルが順に変わります。
「日付」	[↑] ボタンを押すと、日付が順に変わります。日付は 1ヶ月先まで設定できます。 17 日 (月) → 18 日 (火）→ 19 日 (水)･･･→1ヶ月先の日付→17日(月) [↓] ボタンを押すと、連続予約が選べます。日付は 1ヶ月先まで設定できます。 17 日 (月) →毎週 (日）→毎週 (土) →毎週 (金)・・・→毎週 (月) →月〜金→月〜土→ 17 日 (月) 連続予約を選ぶと、現在時刻（日付）から換算して最も早く条件の成立する日付 (時刻) が予約されます。 例えば、一週間後の番組表から［録画予約］ウインドウに入り連続予約に変更した場合、条件が成立すれば本日から予約が登録されます。
「開始」、「終了」	時刻が順に変わります。
「画質」	HQ ⇔ SP ⇔ LP ⇔ JST ⇔ VOD ⇔ HQ
「延長」	切⇔ 15 分⇔ 30 分⇔ 60 分⇔ 90 分⇔切
「更新」	切⇔入

5 **[←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、「予約」を選ぶ**

● **録画予約を中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押すか、[戻る] ボタンを押します。**

6 **[決定] ボタンを押す**

録画予約され、[録画予約] ウインドウが消えます。

7 **[TV] ボタンを押し、テレビ画面に戻る**

録画予約すると HDD に録画されます

録画予約した番組は、常に HDD に録画します。DVD ディスクには録画できません。

📖 **DVD ディスクへの記録→「用途によるディスクの使いかた」(P.5)**

録画できない番組があります

コピー制御信号が含まれている番組 (録画が一回だけ許可された映像など) は録画できません。

DVD 再生が一瞬停止する

予約録画実行中に DVD を再生していると、予約録画終了時に DVD の再生が一瞬停止することがあります。

録画中、ほかの番組を見たいときは

録画中は、[数字] ボタンや [チャンネル] ボタンでチャンネルは変えられません。
［TV］の［入力切換］ボタンで、テレビ側を操作して、テレビを受信する画面を切り換えてください。TV[チャンネル] ボタンを使って、お好みのチャンネルに変えられるようになります。

録画予約実行中、録画をやめたいときは

録画予約にしたがって MSP1000 が録画しているあいだは、録画の停止や一時停止などの操作はできません。録画をやめたいときは、テレビ画面で ［ 機能 ］ボタンを押し、機能メニューで「通常録画に移行」を選んでください。録画停止などの操作ができるようになります。録画を停止するときは、「録画停止」を選択します。
また、［ メニュー ］ 画面の「録画予約実行停止」を選んで [決定] ボタンを押しても、通常録画に移行できます。

録画予約しようとした番組が放送中のときは

番組表を表示中に放送中の番組を選択すると、テレビ画面が放送中の番組に切り換わります。録画は行われません。

録画できる番組数

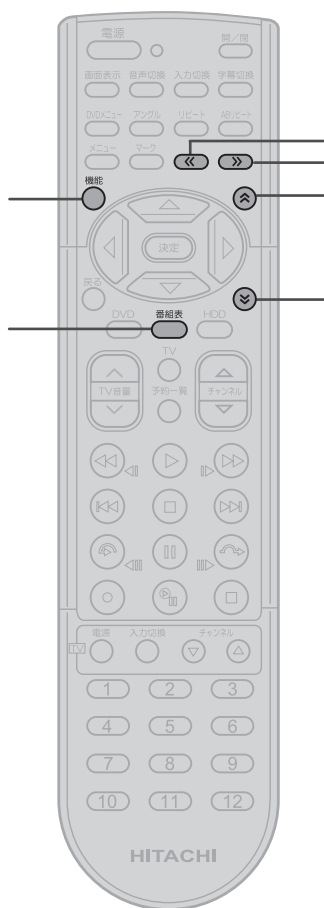
放送中の番組を録画する通常録画と [番組表] 画面での録画予約を合わせて、最大 99 番組まで録画できます。

重複した録画予約の処理

録画予約が重複した場合、開始時刻が早いものが優先されます。同時刻から開始する録画予約が複数存在する場合は、先に予約したものが優先されます。また、重複がなくなった時点で、今まで重複していた他方の録画予約が開始されます。これは、録画の終了時だけでなく、録画の中断時にも有効です。重複で優先されて録画中のものを中断すると、その時点から他方の録画が開始されます。

JST（ジャスト記録モード）での録画

録画予約を行う場合、1 枚の DVD にちょうど入りきるサイズになるように録画します。ただし、最高画質 8Mbps で「HQ」画質相当レベル、1.8Mbps で「LP」画質相当レベルです。なお、長時間番組を録画する場合には、JST 画質にしても 1 枚の DVD に入りきらない場合もあります。

① [<<] ボタン
② [>>] ボタン
③ [上スクロール] ボタン
④ [下スクロール] ボタン
⑤ [機能] ボタン
⑥ [番組表] ボタン

■ 番組の便利な探しかた

[番組表] 画面で録画予約する番組を選ぶとき、あらかじめジャンルや出演者などの範囲を限定して画面に表示できます。検索方法は次の 3 種類です。

ジャンル別検索	ドラマ、スポーツ、音楽などのジャンルから選択
登録出演者検索	番組出演者を最大 5 名まで選択
個別出演者検索	番組出演者を 1 名選択

ジャンルを選んで探す

現在用意されているジャンルは、ドラマ、映画 / 演劇、スポーツ、芸能、音楽、バラエティ、教養、アニメ、報道、趣味、その他の 11 ジャンルです。
それぞれのジャンルは、次のアイコンに対応しています。

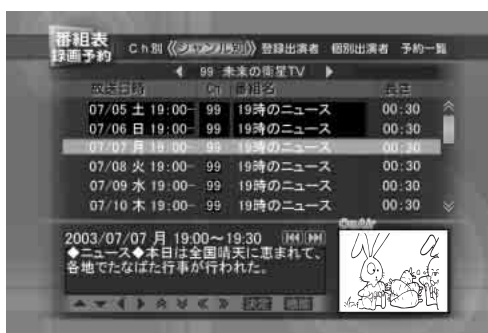
アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ドラマ		教養
	映画 / 演劇		アニメ
	スポーツ		報道
	芸能		趣味
	音楽	etc	その他
	バラエティ		

1 [番組表] ボタンを押す

[番組表 <<Ch 別 >>] 画面が表示されます。

2 [>>] ボタンを押す

[番組表 << ジャンル別 >>] 画面が表示されます。

- **ジャンルに該当する番組だけが表示されます。**
- **番組表の下側を見るときは、[下スクロール] ボタンを押します。一度［下スクロール］ボタンを押すとカーソルが最下段に移動し、もう一度［下スクロール］ボタンを押すと、次の画面を表示します。前の画面に戻したいときは、［上スクロール］ボタンを押してください。一度［上スクロール］ボタンを押すとカーソルが最上段に移動し、もう一度［上スクロール］ボタンを押すと、前の画面を表示します。**
- **ジャンルを変えるときは、[←] ボタンまたは [→] ボタンを押してください。**
- **[番組表 <<Ch 別 >>] 画面に戻るときは、[<<] ボタンを押してください。**

3 録画したい番組を選んで、録画予約する

録画予約→ 1 章「録画する番組を選ぶ」(P.30)

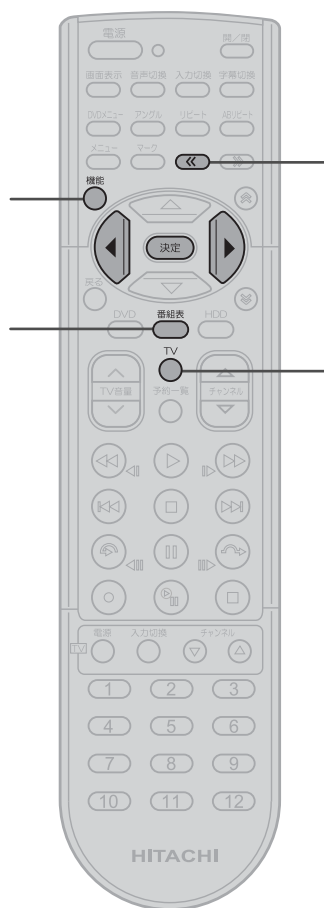
出演者を指定して探す

[番組表] 画面で [<<] ボタンまたは [>>] ボタンを押すと、[番組表 << 登録出演者 >>] 画面や [番組表 << 個別出演者 >>] 画面に切り換えられます。
これらの画面で番組を探すときは、[機能] ボタンを押し、機能メニューで出演者を指定します。[番組表 << 登録出演者 >>] 画面では、最大 5 名までの出演者を登録しておくことができます。

番組を並び替える

ジャンル別、登録出演者、個別出演者の各 [番組表] 画面では、放送局名、放送日時、番組名の順に番組を並び替えることができます。特に指定していないときは、放送日時順に並んでいます。
番組を並び替えるには、[機能] ボタンを押し、機能メニューで並び替えの方法を選びます。

ジャンル別検索の違い

「登録出演者検索」では、あらかじめ検索を行いたい出演者名を登録できます。電源を切っても、登録内容は保存されるため、永続的に同じ出演者で検索を行いたい場合に便利です。「個別出演者検索」は、一時的に出演者名で検索を行いたい場合などに使用します。

① [<<] ボタン
② [機能] ボタン
③ [番組表] ボタン
④ [TV] ボタン

■ 日時とチャンネルを選んで録画予約する

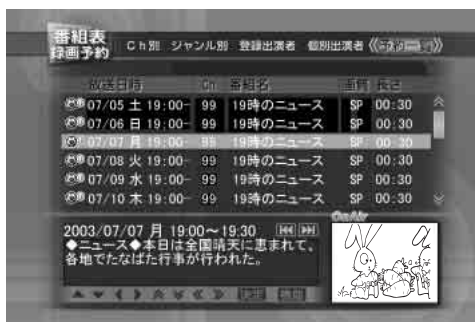
番組表から選ぶほかに、日時とチャンネルを選んで録画予約することもできます。番組表には最長で 1 週間先までの番組が表示されますが、番組表にまだ表示されていない番組を録画予約する場合や、番組表を利用できない地域にお住まいの場合は、日時とチャンネルを選んで録画予約してください。

1 [番組表] ボタンを押す

[番組表 <<Ch 別 >>] 画面が表示されます。

2 [<<] ボタンを押す

[番組表 << 予約一覧 >>] 画面が表示されます。

- **[予約一覧] ボタンを押した場合にも、[番組表≪予約一覧≫] 画面が表示されます。**

3 [機能] ボタンを押す

機能メニューが表示されます。

4 「新規予約」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

[録画予約] ウインドウが表示されます。

5 録画予約を設定する

- **すべての項目を設定してください。設定方法は、番組表からの録画予約するときの各項目の設定を確かめる方法と同じです。**

📖 **各項目の設定方法→ 1 章「録画する番組を選ぶ」(P.30)**

6 [←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、「予約」を選ぶ

- **録画予約を中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押します。**

7 [決定] ボタンを押す

録画予約され、[録画予約] ウインドウが消えます。

8 [TV] ボタンを押し、テレビ画面に戻る

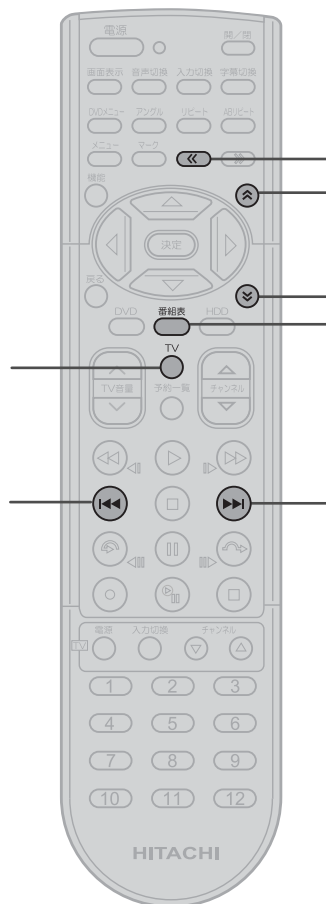
予約内容を確かめる／修正する

録画予約した内容の確認や修正が行えます。

準 備

- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**

📖 **電源の入れ方→ 1章「電源を入れる」(P.21)**

- **受信したテレビ画面を表示させる。**

① [<<] ボタン
② [上スクロール] ボタン
③ [下スクロール] ボタン
④ [番組表] ボタン
⑤ [TV] ボタン
⑥ [前チャプター] ボタン
⑦ [次チャプター] ボタン

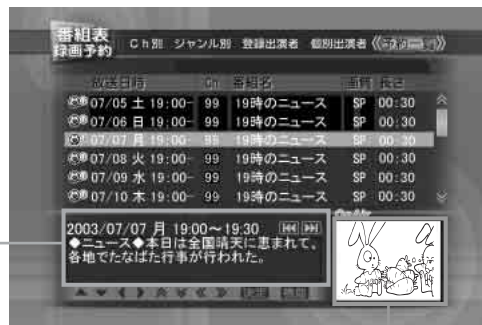
■ 予約一覧で確かめる

1 [番組表] ボタンを押す

[番組表 <<Ch 別 >>] 画面が表示されます。

2 [<<] ボタンを押す

[番組表 << 予約一覧 >>] 画面が表示されます。
録画予約した内容が放送日時順に並んでいます。

- **［予約一覧］ボタンを押した場合にも、［番組表≪予約一覧≫］画面が表示されます。**
- **録画中の番組は表示されません。**
- **日時とチャンネルを選んで予約した番組では、「番組名」が表示されない場合があります。**
- **EPG が取得できない状態や EPG 取得範囲外の期間 (8 日後以降) での予約では、「番組名」は表示されません。**
- **サブ画面には、テレビ画面で見ていた番組が表示されます。**
- **番組表の下側を見るときは、[下スクロール] ボタンを押します。表示を戻したいときは、[上スクロール] ボタンを押してください。**
- **「番組内容の説明」が途中で終わっているとき、[次チャプター] ボタンを押すと、説明の続きが表示されます。表示を戻したいときは、[前チャプター] ボタンを押してください。**

3 録画予約した内容を確かめる

4 [TV] ボタンを押し、テレビ画面に戻る

番組を並び替える

[番組表 << 予約一覧 >>] 画面では、放送局名、放送日時、番組名の順に番組を並べ替えることができます。特に指定していないときは、放送日時順に並んでいます。
番組を並び替えるには、[機能] ボタンを押し、機能メニューで並び替えの方法を選びます。

① [機能] ボタン
② [TV] ボタン

■ 録画予約を修正する

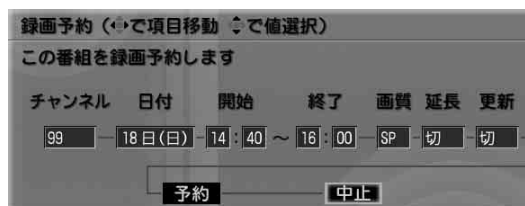
1 **[番組表 << 予約一覧 >>] 画面で [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、修正したい録画予約を選ぶ**

2 **[機能] ボタンを押す**

機能メニューが表示されます。

3 **[↓] ボタンを押し、「修正」を選ぶ**

4 **[決定] ボタンを押す**

[録画予約] ウインドウが表示されます。

5 **必要に応じて、録画予約を修正する**

📖 **録画予約の入力方法→1章「録画する番組を選ぶ」(P.30)**

6 **[←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、「予約」を選ぶ**

- **録画予約の修正を中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押します。**

7 **[決定] ボタンを押す**

録画予約され、[録画予約] ウインドウが消えます。

8 **[TV] ボタンを押し、テレビ画面に戻る**

■録画予約を取り消す

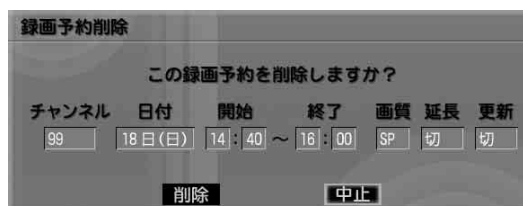
1 [番組表 << 予約一覧 >>] 画面で [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、取り消したい録画予約を選ぶ

2 [機能] ボタンを押す

機能メニューが表示されます。

3 [↓] ボタンを押し、「削除」を選ぶ

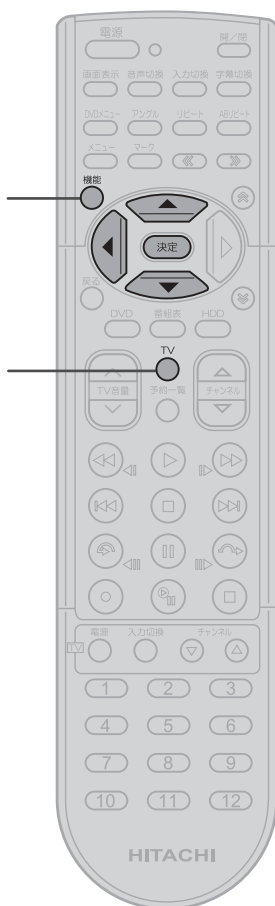
4 [決定] ボタンを押す

[録画予約削除] ウインドウが表示されます。

5 [←] ボタンを押し、「削除」を選ぶ

- **録画予約の削除を中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押します。**

6 [決定] ボタンを押す

録画予約が削除され、[録画予約削除] ウインドウが消えます。

7 [TV] ボタンを押し、テレビ画面に戻る

① [機能] ボタン
② [TV] ボタン

放送中の番組を録画する

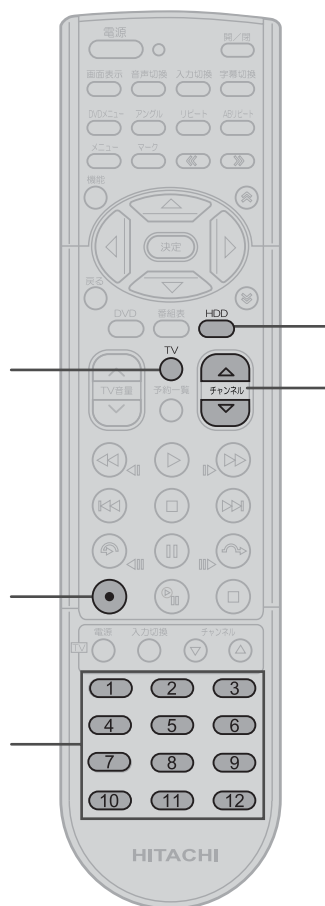
いま放送中の番組を録画します。

HDD に録画できます

放送中の番組を録画する場合は、HDD に録画できます。

準 備

- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**

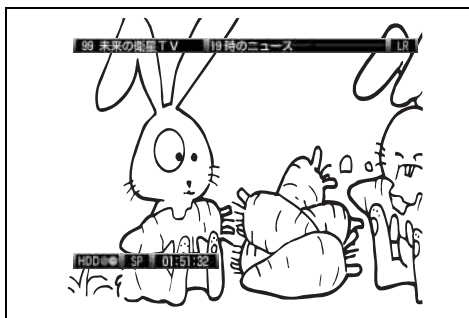
  電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)
- **受信したテレビ画面を表示させる。**

① [HDD] ボタン
② [TV] ボタン
③ [チャンネル] ボタン
④ [録画] ボタン
⑤ [数字] ボタン

■ 番組を録画する

1 [HDD] ボタンを押す

[HDD] 画面が表示されます。

2 [TV] ボタンを押す

テレビ画面に戻ります。

3 録画したいチャンネルを選ぶ

- **[数字] ボタンまたは [チャンネル] ボタンを押し、お好みのチャンネルに合わせます。**

4 [録画] ボタンを押す

番組の録画が始まります。

通常録画時の画質設定

お買い上げ時、通常録画の画質は SP に設定されています。画質設定は［各種設定］画面で変更できます。

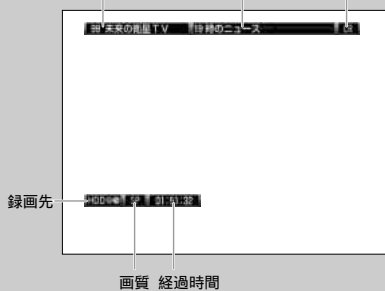
画質の変更方法→ 6 章「通常録画時の画質を設定する」（P.107）

録画中、HDD の残量がなくなったら

HDD の残量がなくなると、録画は自動的に停止します。不要な録画済み番組を削除してから、お使いください。

録画済み番組の削除方法→ 2 章「番組を削除する」（P.53）

録画時の画面表示情報

録画中に［画面表示］ボタンを押すと、次のような情報がテレビ画面に表示されます。

もう一度［画面表示］ボタンを押すと HDD の残量も表示されます。さらに押すと、表示は消えます。

① [録画停止] ボタン

■ 録画をやめる

1 録画中に [録画停止] ボタンを押す

録画が停止されます。

① [録画] ボタン

■ 時間を指定して録画する

放送中の番組を録画しているとき、録画を終了するまでの時間を指定できます。指定した時間が経つと、自動的に録画が終了します。

1 録画中に、[録画] ボタンを押す

録画情報が表示されます。

2 指定したい録画時間が表示されるまで、何回か [録画] ボタンを押す

- **[録画] ボタンを押すたびに、録画時間の設定が変わります。**
  15 分タイマ→ 30 分タイマ→ 60 分タイマ→ 90 分タイマ→ 120 分タイマ→通常の録画に戻る→ 15 分タイマ

HDD ● | SP | 00:00:45 | 120 ― 録画時間

演者
個別出演者
予約一覧
長さ
99
00:30
99
00:30
99
00:30
99
00:30
99
00:30
99
OnAir
HITACHI
Inspire the Next
決定
機能

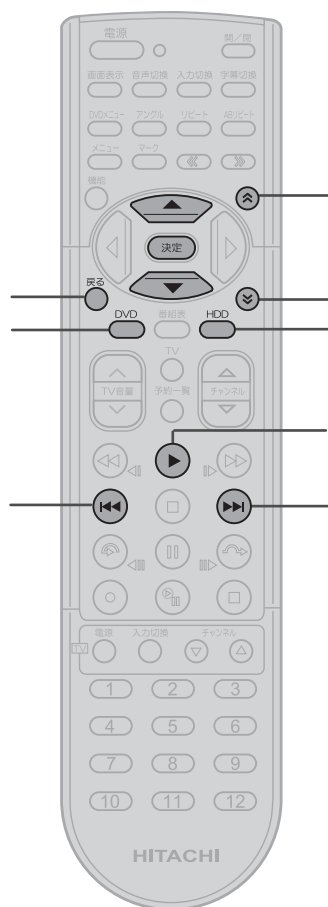
2章 再生する

番組を選んで再生する

録画した番組は、リストから選んで再生できます。以降では主に HDD に録画した番組を再生する場合を例にしていますが、DVD-RAM ディスクにダビングした番組も同じ方法で再生できます。

準 備

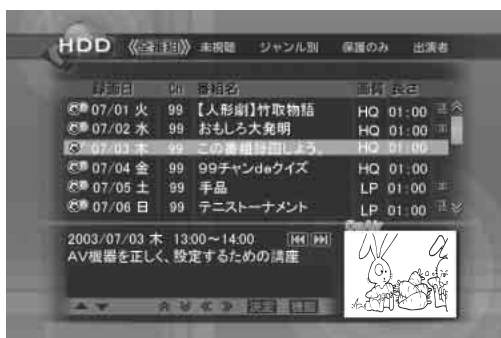
- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**

  電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)
- **受信したテレビ画面を表示させる。**
- **DVD-RAM ディスクにダビングした番組を再生する場合は、DVD-RAM ディスクをセットする。**

① [上スクロール] ボタン
② [下スクロール] ボタン
③ [戻る] ボタン
④ [DVD] ボタン
⑤ [HDD] ボタン
⑥ [前チャプター] ボタン
⑦ [再生] ボタン
⑧ [次チャプター] ボタン

■ リストから選んで再生する

1 [HDD] ボタンを押す

[HDD<< 全番組 >>] 画面が表示されます。

- **DVD-RAM ディスクにダビングした番組を再生する場合は、[DVD] ボタンを押し、[DVD<< 全番組 >>] 画面を表示します。**
- **録画した番組が録画日時順に並んでいます。**
- **録画中の番組は、赤い文字で表示されます。**
- **日時とチャンネルを選んで予約した番組では、「番組名」は表示されません。**
- **EPG が取得できない状態で録画した番組では、「番組名」は表示されません。**
- **サブ画面には、テレビ画面で見ていた番組が表示されます。**
- **一覧表の下側を見るときは、[下スクロール] ボタンを押します。表示を戻したいときは、[上スクロール] ボタンを押してください。**
- **「番組内容の説明」が途中で終わっているとき、[次チャプター] ボタンを押すと、説明の続きが表示されます。表示を戻したいときは、[前チャプター] ボタンを押してください。**

2 [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、再生したい番組を選ぶ

3 [決定] ボタンまたは [再生] ボタンを押す

選んだ番組が再生されます。

- **再生をやめたいときは、[停止] ボタンまたは、[HDD] ボタンなどを押してください。**

一覧表にタイトルが何も表示されないときは

ディスク上に番組が何も録画されていないときや、再生できる形式のファイルが存在しないときは、一覧表にタイトルが何も表示されません。

一覧表に再生できないタイトルが表示されているときは

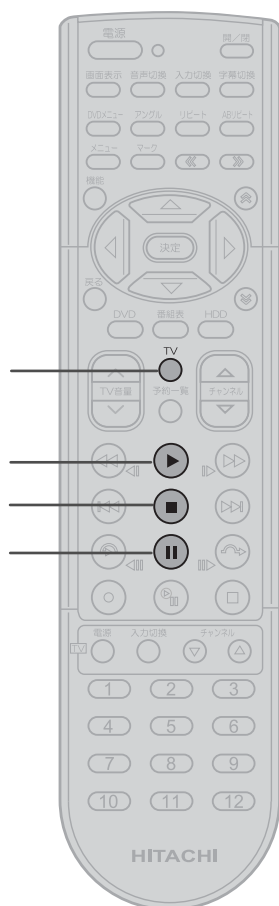
一覧表に表示されているタイトルの中で、再生できないタイトルが存在した場合、そのタイトルを選択して再生しようとすると、何も表示されずにテレビ画面表示になります。

ファイル名にはスペース (空白) を含まない

パソコンなどで作成した、CD/DVD に記録した MPEG ファイル名にスペース (空白) が含まれていると、再生できません。
スペースを含まないファイル名にしてください。

再生時の画面表示情報

再生中に [画面表示] ボタンを押すと、次のような情報がテレビ画面に表示されます。

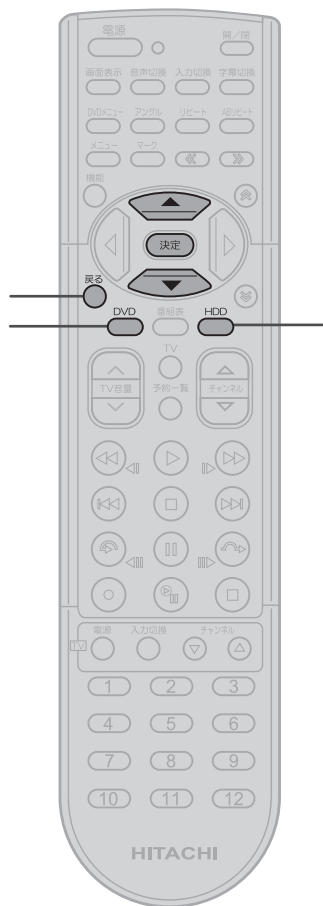
もう一度 [画面表示] ボタンを押すと HDD や DVD-RAM ディスクの残量が表示されます。さらに押すと、表示は消えます。

① [TV] ボタン
② [再生] ボタン
③ [停止] ボタン
④ [一時停止] ボタン

■ 再生をやめる

1　再生中に、[停止] ボタンを押す

再生が停止され、[HDD<< 全番組 >>] 画面などに戻ります。

- **再生をいったん停止したいときは、[一時停止] ボタンを押してください。もう一度 [一時停止] ボタンを押すと、再生が再開されます。**

2　[TV] ボタンを押し、テレビ画面に戻る

① [戻る] ボタン
② [DVD] ボタン
③ [HDD] ボタン

■ 録画中、録画済みの番組を再生する

MSP1000 では、番組を録画しているときも、録画中の番組やすでに録画してあるほかの番組を再生することができます。

1　録画中に、[HDD] ボタンを押す

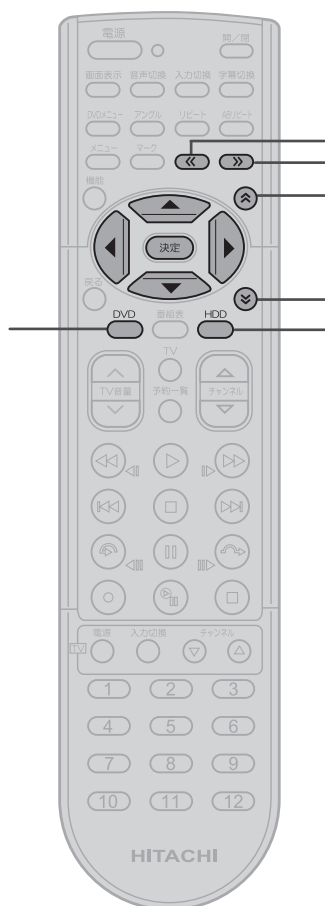
[HDD<< 全番組 >>] 画面が表示されます。

2　[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、再生したい番組を選ぶ

3　[決定] ボタンを押す

選んだ番組が再生されます。

● **再生をやめたいときは、[停止] ボタンまたは、[HDD] ボタンなどを押してください。**

① [<<] ボタン
② [>>] ボタン
③ [上スクロール] ボタン
④ [下スクロール] ボタン
⑤ [HDD] ボタン
⑥ [DVD] ボタン

■ 番組の便利な探しかた

[HDD] 画面で見たい番組を選ぶとき、まだ見ていない番組や保護された番組など範囲を限定して画面に表示できます。検索方法は次の 4 種類です。

未視聴検索	まだ見ていない番組
ジャンル別検索	ドラマ、スポーツ、音楽などのジャンルから選択
保護のみ検索	保護された番組
出演者検索	番組出演者を 1 名選択

まだ見ていない番組から探す

録画してからまだ見ていない番組だけを一覧表示できます。

1 [HDD] ボタンを押す

[HDD<< 全番組 >>] 画面が表示されます。

2 [>>] ボタンを押す

[HDD<< 未視聴 >>] 画面が表示されます。

- **まだ再生したことのない番組が一覧表示されます。**
- **一覧表の下側を見るときは、[下スクロール] ボタンを押します。表示を戻したいときは、[上スクロール] ボタンを押してください。**
- **[HDD<< 全番組 >>] 画面に戻るときは、[<<] ボタンを押してください。**

3 [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、再生したい番組を選ぶ

4 [決定] ボタンを押す

選んだ番組が再生されます。

ジャンルや出演者を指定して探す／保護された番組から探す

[HDD<< 全番組 >>] 画面などで [<<] ボタンまたは [>>] ボタンを押すと、[HDD<< ジャンル別 >>] [HDD<< 保護のみ >>] [HDD<< 出演者 >>] などの画面に切り換えられます。

- **[HDD<< ジャンル別 >>] 画面でジャンルを変えるときは、[←] ボタンまたは [→] ボタンを押してください。**
- **[HDD<< 出演者 >>] 画面で番組を探すときは、[機能] ボタンを押し、機能メニューの検索出演者指定で出演者を指定します。**

録画した番組の保護→ 2 章「誤って削除しないように保護する」(P.51)

番組を並べ替える

[HDD] 画面や [DVD] 画面では、放送局名、放送日時、番組名の順に番組を並べ替えることができます。特に指定していないときは、放送日時順に並んでいます。
番組を並び替えるには、[機能] ボタンを押し、機能メニューで並べ替えの方法を選びます。

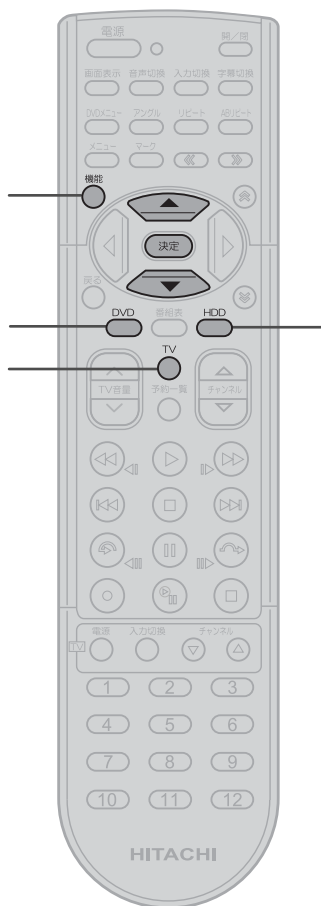
見終わった番組を削除する

番組を録画してゆくと、HDD の残量が減少します。残量が不足すると録画は停止するので、不足する前に見終わった番組を削除してください。
以降では主に HDD に録画した番組を削除する場合を例にしていますが、DVD-RAM ディスクにダビングした番組も同じ方法で削除できます。

準 備

● テレビと MSP1000 の電源を入れる。

電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)

● 受信したテレビ画面を表示させる。
● DVD-RAM ディスクにダビングした番組を削除する場合は、DVD-RAM ディスクをセットする。

① [機能] ボタン
② [DVD] ボタン
③ [HDD] ボタン
④ [TV] ボタン

■ 誤って削除しないように保護する

誤って削除したくない番組は、あらかじめ保護登録しておきましょう。

録画済み番組を保護する

1 [HDD] ボタンを押す

[HDD<< 全番組 >>] 画面が表示されます。

● **DVD-RAM ディスクにダビングした番組を保護する場合は、[DVD] ボタンを押し、[DVD<< 全番組 >>] 画面を表示します。**

2 [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、保護したい番組を選ぶ

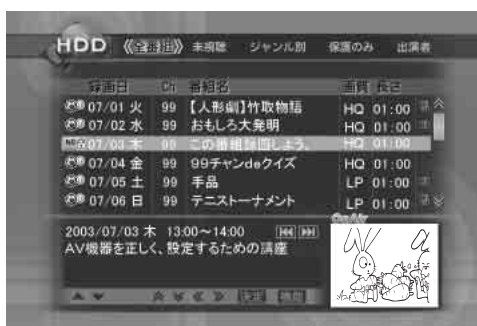
3 [機能] ボタンを押す

機能メニューが表示されます。

4 [↓] ボタンを押し、「保護／保護解除」を選ぶ

5 [決定] ボタンを押す

選んだ番組が保護登録され、機能メニューの表示が消えます。

● **保護登録された番組には、鍵アイコン ( ) が表示されます。**

6 [TV] ボタンを押し、テレビ画面に戻る

大切な番組を録画したときは

HDD が故障すると、HDD に録画した番組が消えてしまうことがあります。HDD に大切な番組を録画したときは、DVD ディスクへダビングして保管してください。

DVD ディスクへのダビング方法→ 4 章「DVD ディスクへのダビングのしかた」(P.70)

保護を取り消す

1 **[HDD<< 全番組 >>] 画面または [DVD<< 全番組 >>] 画面で、[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、保護登録を取り消したい番組を選ぶ**

2 **[機能] ボタンを押す**

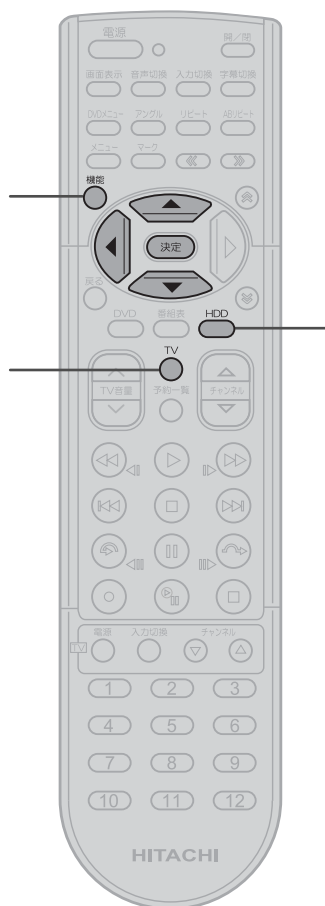
● **機能メニューが表示されます。**

3 **[↓] ボタンを押し、「保護／保護解除」を選ぶ**

4 **[決定] ボタンを押す**

選んだ番組の保護が取り消され、機能メニューの表示が消えます。

● **鍵アイコンの表示がなくなります。**

5 **[TV] ボタンを押し、テレビ画面に戻る**

① [機能] ボタン
② [HDD] ボタン
③ [TV] ボタン

■ 番組を削除する

保存しておく必要がない番組は、HDD や DVD-RAM ディスクから削除しましょう。ただし、いったん削除してしまうと、二度と再生できなくなります。

番組を選んで削除する

1　[HDD] ボタンを押す

[HDD<< 全番組 >>] 画面が表示されます。

- **DVD-RAM ディスクにダビングした番組を削除する場合は、[DVD] ボタンを押し、[DVD<< 全番組 >>] 画面を表示します。**

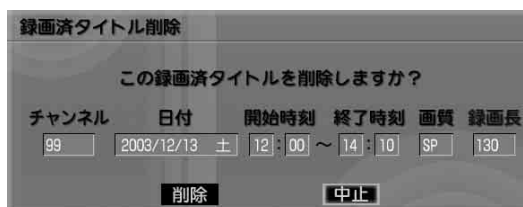
2　[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、削除したい番組を選ぶ

3　[機能] ボタンを押す

- **機能メニューが表示されます。**

4　[↓] ボタンを押し、「削除」を選ぶ

5　[決定] ボタンを押す

[録画済タイトル削除] ウインドウが表示されます。

6　[←] ボタンを押し、「削除」を選ぶ

- **番組削除を中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押します。**

7　[決定] ボタンを押す

番組が削除され、[録画済タイトル削除] ウインドウが消えます。

8　[TV] ボタンを押し、テレビ画面に戻る

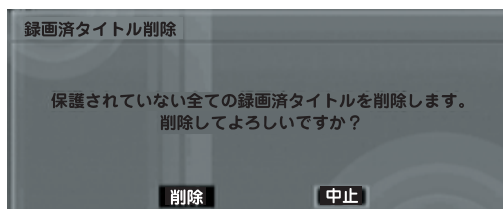
すべての番組を削除する

1　[HDD<< 全番組 >>] 画面または [DVD<< 全番組 >>] 画面で、[機能] ボタンを押す

- **機能メニューが表示されます。**

2　[↓] ボタンを押し、「全削除 (保護以外) 」を選ぶ

3　[決定] ボタンを押す

[録画済タイトル削除] ウインドウが表示されます。

4　[←] ボタンを押し、「削除」を選ぶ

- **番組削除を中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押します。**

5 [決定] ボタンを押す

保護されていない番組がすべて削除され、[録画済タイトル削除] ウインドウが消えます。

6 [TV] ボタンを押し、テレビ画面に戻る

保護された番組は、削除できない

保護登録された番組は、HDD や DVD-RAM ディスクから削除できません。削除したいときは、保護登録を取り消してから「削除」や「全削除」を行ってください。

ヒント

DVD-RAM 上の番組削除には時間がかかります

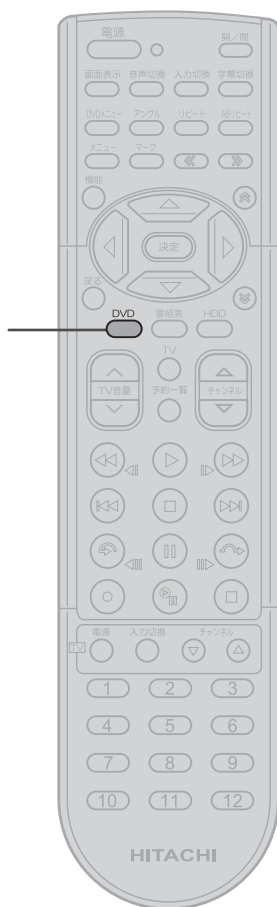
DVD-RAM 上の番組を削除する場合、録画時間が長いものは、その分削除にも時間がかかります。「録画済タイトル削除」画面が表示されたままになりますが、削除が完了するまで、しばらくお待ちください。

DVD ビデオを再生する

MSP1000 で記録した DVD-R ディスクや DVD-RW ディスク、市販の DVD ビデオ、ビデオ CD、音楽 CD などは、以降の操作で再生します。

準 備

- テレビと MSP1000 の電源を入れる。

  電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)
- 受信したテレビ画面を表示させる。
- DVD ビデオをセットする。

① [DVD] ボタン

■ 再生を始める

1 [DVD] ボタンを押す

しばらくすると DVD ビデオの再生が始まります。

再生中の基本的な操作方法→ 「リモコン」(P.18)

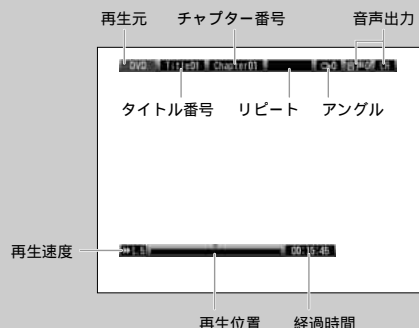
DVD メニューが表示されたときは

再生を始めたとき、DVD ビデオによっては DVD メニューが表示されることがあります。その場合は、[カーソル] ボタンを押し、見たい項目を選んで [決定] ボタンを押してください。選んだ項目から再生が始まります。

DVD ビデオの再生が始まらない

[DVD] ボタンを押し、しばらくしても、次の画面が表示されたまま DVD ビデオの再生が始まらないときは、ディスクが裏返しに挿入されていたり、ディスクに傷が付いて、再生できない状態になっている可能性があります。[開 / 閉] ボタンを押してディスクを取り出し、ディスクを確認してください。

DVDビデオ再生時の画面表示情報

DVDビデオの再生中に［ 画面表示 ］ボタンを押すと、次のような情報がテレビ画面に表示されます。

もう一度［ 画面表示 ］ボタンを押すとHDDの残量が表示されます。さらに押すと、表示は消えます。
DVD ビデオのスロー戻し中は、再生位置表示および、経過時間は変更しません。スロー戻しを解除し、通常再生に戻ると、現在の情報に更新して表示します。

タイトルとチャプターについて

DVD ビデオでは、ディスクの内容をタイトルで分け、さらにタイトルの中をチャプターで分けています。ディスクによって、タイトルやチャプターの数は変わります。

DVDの早送り / 早戻し

DVDを1.5倍、2倍、4倍などの早送り / 早戻しを行った場合、ディスクによっては画面が乱れる場合があります。

DVD再生中の音声を切り換える

「音声多重放送の主音声と副音声」や「ステレオ音声」など、左右チャンネルの音声を同時に録画したDVDの再生時に、片方のチャンネルの音だけを選択して視聴することができます。DVD再生中に［ 機能 ］ボタンを押すと「機能メニュー」が表示されますので、［ 音声切換 ］を選択します。選択するたび、次のように表示が変化します。

- ［ 音声切換 (LR → L)］ 現在、左右両チャンネル出力(＊1)しているものを、左チャンネルのみの出力(＊2)にします。
- ［ 音声切換 (L → R)］現在、左チャンネルのみ出力(＊2)しているものを、右チャンネルのみの出力(＊2)にします。
- ［ 音声切換 (R → LR)］現在、右チャンネルのみ出力(＊2)しているものを、左右両チャンネルの出力(＊1)にします。

＊1 ： モノラルのテレビなどでは、片方の音声のみになります。
＊2 ： ステレオのテレビなどでは、左右から同じ音声がでます。

① [TV] ボタン
② [再生] ボタン
③ [停止] ボタン
④ [一時停止] ボタン

■ 再生をやめる

1 DVD ビデオの再生中に、[停止] ボタンを押す

再生が停止されます。

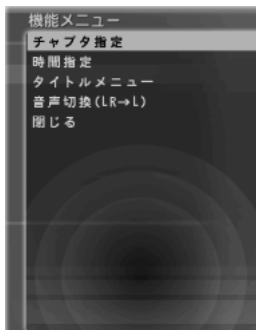
- **DVD の再生を停止した後、再度 [再生] ボタン押すと、停止した位置から再生を再開します。DVD の先頭から再生を行いたい場合は、DVD を停止した後、再度 [停止] ボタンを押してください。**
- **再生をいったん停止したいときは、[一時停止] ボタンを押してください。もう一度 [一時停止] ボタンを押すと、再生が再開されます。**
- **テレビ画面に戻りたいときは、[TV] ボタンを押します。**

① [機能] ボタン

■ 指定した場所から再生する

DVD ビデオを再生しているとき、チャプターや時間を指定して再生できます。

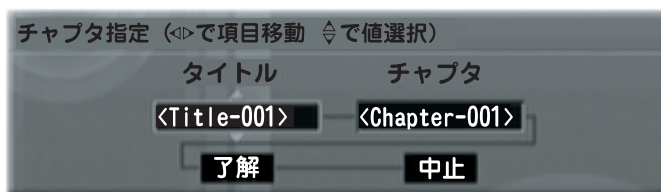
チャプターを指定して再生する

1 DVD ビデオの再生中に、[機能] ボタンを押す

機能メニューが表示されます。

2 [決定] ボタンを押す

[チャプタ指定] ウインドウが表示されます。

● **指定内容**

「タイトル」	タイトル番号
「チャプタ」	チャプター番号

3 「タイトル」と「チャプタ」を指定する

● **項目を移動するには、[←] ボタンまたは [→] ボタンを押してください。**
● **指定を変更するには、[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押してください。**

4 [←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、「了解」を選ぶ

● **指定を中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押します。**

5 [決定] ボタンを押す

機能メニューが消え、選んだタイトルのチャプターから再生が始まります。

時間を指定して再生する

1 **DVD ビデオの再生中に、[機能] ボタンを押す**

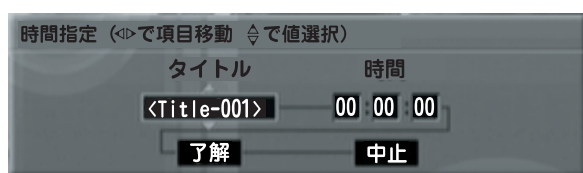
機能メニューが表示されます。

2 **[↓] ボタンを押し、「時間指定」を選ぶ**

3 **[決定] ボタンを押す**

[時間指定] ウインドウが表示されます。

● **指定内容**

「タイトル」	タイトル番号
「時間」	タイトルの最初からの経過時間

4 **「タイトル」と「時間」を指定する**

- **項目を移動するには、[←] ボタンまたは [→] ボタンを押してください。**
- **指定を変更するには、[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押してください。**

5 **[←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、「了解」を選ぶ**

- **指定を中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押します。**

6 **[決定] ボタンを押す**

機能メニューが消え、選んだタイトルの指定した時間から再生が始まります。

指定した場所から再生できない場合がある

DVD ビデオによっては、「チャプタ指定」や「時間指定」ができないことがあります。DVD ビデオに付属されているマニュアルに従って、操作してください。

ビデオ CD のメニュー選択

ビデオ CD 再生時、メニュー選択画面で数字ボタンを押したとき、認識するまでに時間がかかる場合があります。これはメニュー選択画面で 2 桁の数字入力を可能としているためで、1 回ボタンを押すと 2 桁目の入力を待ち、一定時間入力がない場合に、1 桁のみの入力と認識するためです。すばやく認識するためには、数字 2 桁で入力してください。
例 ： メニュー "1" の場合、"01" と入力

ビデオ CD のチャプター表示

ビデオ CD 再生時のチャプター表示は、再生順に表示されない場合があります。チャプターリピート、タイトルリピートを指定しても、任意のチャプター・タイトル内をリピートしない場合があります。

ビデオ CD によっては正しく動作しない

ビデオCDによっては、正しく動作しないものがあります。

デジタルカメラの静止画を再生する

デジタルカメラを接続し、デジタルカメラの中の静止画をテレビ画面で再生できます。

準 備
- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**

  電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)
- **受信したテレビ画面を表示させる。**

■ 接続できるデジタルカメラ

お使いになるデジタルカメラが次の2つの特徴を備えている場合、MSP1000 に接続できます。詳しくは、デジタルカメラに付属されているマニュアルをお読みください。

- **USB 端子がある。**
- **USB ストレージクラスに対応している。**

接続には、お使いになるデジタルカメラに対応した USB ケーブルが必要です。

■ デジタルカメラを接続する

デジタルカメラの操作と設定は、デジタルカメラをパソコンに接続するときと同じです。詳しくは、デジタルカメラに付属されているマニュアルをお読みください。

1 MSP1000 の前面のふたを開ける

ふたの開けかた→「ふたの開けかた」(P.16)

2 デジタルカメラの電源を入れ、USB 接続用に設定する

3 デジタルカメラに USB ケーブルを接続する

4 USB ケーブルのもう一方の端を、MSP1000 の USB 端子に接続する

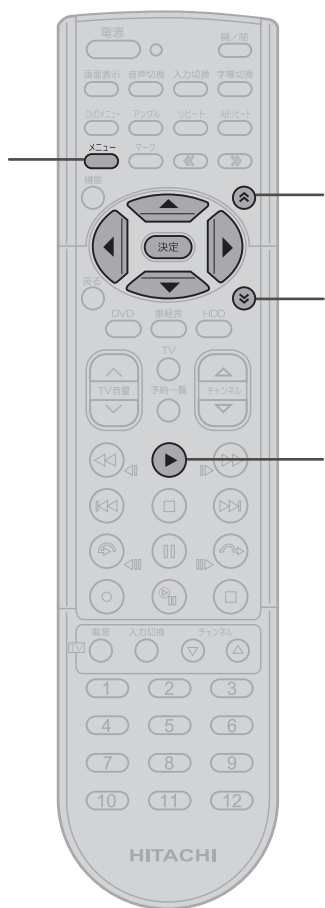
デジタルカメラを接続・取り外すときは

MSP1000 の電源が切れている状態では、デジタルカメラの接続・取り外しはしないでください。
デジタルカメラの接続・取り外しは、MSP1000 の電源が入っている状態で行ってください。

[デジタルカメラ] 画面表示中は、デジタルカメラを接続・取り外さない

[デジタルカメラ] 画面表示中は、デジタルカメラの接続・取り外しは、行わないでください。
メニュー画面の「デジタルカメラ」を選択した状態で、デジタルカメラの接続・取り外しは、行わないでください。

デジタルカメラで撮影した動画は表示できません

デジタルカメラで撮影した動画は、表示できません。

① [メニュー] ボタン
② [上スクロール] ボタン
③ [下スクロール] ボタン
④ [再生] ボタン

■ 静止画を再生する

あらかじめデジタルカメラを、USB ケーブルで MSP1000 に接続しておきます。

静止画を全画面表示する

1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「デジタルカメラ」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

[デジタルカメラ] 画面が表示されます。

- **デジタルカメラのなかの静止画が、アイコン表示されます。**
- **画面の下側を見るときは、[下スクロール] ボタンを押します。表示を戻したいときは、[上スクロール] ボタンを押してください。**

4 [カーソル] ボタンを押し、再生したい静止画を選ぶ

5 [決定] ボタンを押す

選んだ静止画が画面一杯に表示されます。

静止画が回転しているときは

静止画が 90 度～ 270 度回転して表示されているときは、[機能] ボタンを押し、機能メニューで「回転」を選びます。「回転」を選ぶたびに、静止画が時計方向へ 90 度回転します。

[デジタルカメラ] 画面表示中は、デジタルカメラを接続しない・取り外さない

[デジタルカメラ] 画面表示中は、デジタルカメラの接続・取り外しは、行わないでください。

表示できる静止画は

表示できる静止画は、3600 × 2400 画素までの静止画です。また、静止画によっては、表示するまでに時間がかかるものもあります。

スライドショーをする

デジタルカメラの中の静止画を、スライドショーのように順に全画面表示することができます。

1 **[デジタルカメラ] 画面で [機能] ボタンを押す**
機能メニューが表示されます。

2 **[↓] ボタンを押し、「スライドショー」を選ぶ**

3 **[決定] ボタンを押す**
デジタルカメラの中の静止画が、順に全画面表示されます。すべての静止画が表示されると、[デジタルカメラ] 画面に戻ります。
- **スライドショーを中止したいときは、[戻る] ボタンを押します。**

アイコン表示からのスライドショー

スライドショーを開始したい静止画にカーソルを合わせ、[再生] ボタンを押すと、スライドショーを開始することができます。

CD、DVD に記録した静止画

CD、DVD に記録した静止画を見るときには、[DVD] ボタンを押して [DVD] 画面にしたあと、[≫] ボタンを押して [写真] 画面にしてください。

再生をやめる

デジタルカメラを取り外すときは、あらかじめ [デジタルカメラ] 画面を終了してください。

1 **[デジタルカメラ] 画面で [メニュー] ボタンを押す**
[メニュー] 画面が表示されます。

2 **[カーソル] ボタンを押し、「TV」を選ぶ**

3 **[決定] ボタンを押す**
デジタルカメラを取り外せるようになります。
USB ケーブルを取り外してください。

デジタルカメラを接続・取り外すときは

MSP1000 の電源が切れている状態では、デジタルカメラの接続・取り外しはしないでください。
デジタルカメラの接続・取り外しは、MSP1000 の電源が入っている状態で行ってください。

[デジタルカメラ] 画面表示中は、デジタルカメラを接続・取り外さない

[デジタルカメラ] 画面表示中は、デジタルカメラの接続・取り外しは、行わないでください。
メニュー画面の「デジタルカメラ」を選択した状態で、デジタルカメラの接続・取り外しは、行わないでください。

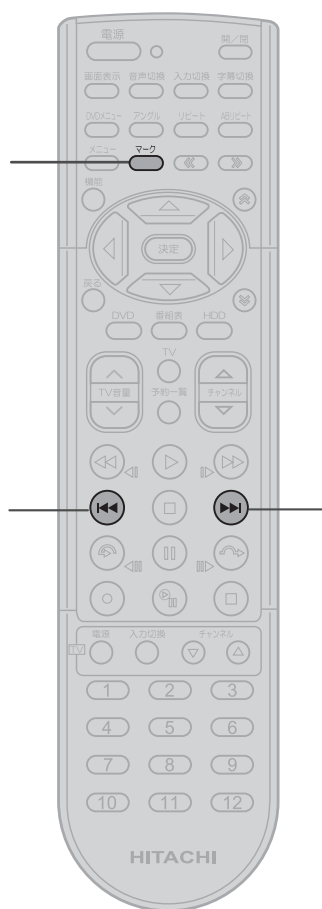
3 章　編集する

頭出しできるようにする

録画した番組にチャプターマークを登録すると、[前チャプター] ボタンや [次チャプター] ボタンで頭出し (チャプターマークへの移動) ができるようになります。
番組をダビングして DVD ビデオを作る場合、チャプターマークを DVD プレーヤーでの頭出しに利用することできます。また、チャプターを指定してダビングすることもできます。

DVD ビデオの作成方法→ 4 章「DVD ディスクへのダビングのしかた」(P.70)

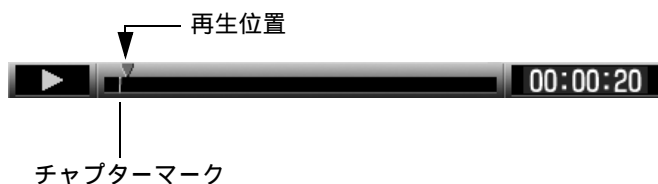
準 備
- テレビと MSP1000 の電源を入れる。
- チャプターマークを登録したい番組を再生する。

番組の再生方法→ 2 章「番組を選んで再生する」(P.46)

① [マーク] ボタン
② [前チャプター] ボタン
③ [次チャプター] ボタン

■ 任意の場面にチャプターマークを登録する

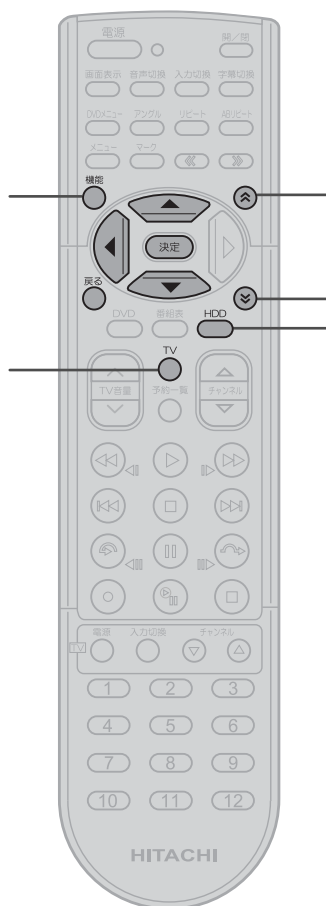
1 再生中に、[マーク] ボタンを押す

チャプターマークが登録され、位置が表示されます。

- **チャプターマークの位置は、番組中の相対的な位置と、番組開始からの経過時間で表示されます。**
- **チャプターマークは番組ごとに 99 個まで登録できます。**

正確に登録したいときは

スロー再生中に [一時停止] ボタンを押して、再生を一時停止させると、より正確にチャプターマークを登録できます。

チャプターマークの誤差について

MSP1000 では、MPEG-2 規格のビデオデータとして番組を録画しています。MPEG-2 規格で扱うビデオデータには GOP(Group Of Pictures) という最小単位があり、MSP1000 では 1GOP が 0.5 秒になります。チャプターマークを登録できるのは、GOP の先頭（I フレーム）だけです。そのため、スロー再生を使って調節しても、チャプターマークを登録したい位置と実際に登録できる位置の間には、最大 0.5 秒程度の誤差が生じます。

① [機能] ボタン
② [上スクロール] ボタン
③ [下スクロール] ボタン
④ [HDD] ボタン
⑤ [TV] ボタン

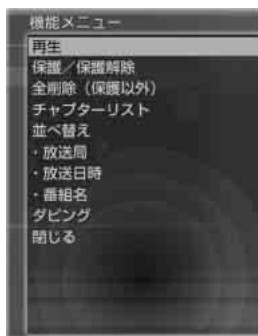
■余分なチャプターマークを削除する

あらかじめ、余分なチャプターマークの位置(番組開始からの経過時間)を確かめておきます。

1 [HDD] ボタンを押す

[HDD<< 全番組 >>] 画面が表示されます。

2 [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、チャプターマークを削除したい番組を選ぶ

3 [機能] ボタンを押す

機能メニューが表示されます。

4 [↓] ボタンを押し、「チャプターリスト」を選ぶ

[チャプターリスト] 画面が表示されます。

- **選んだ番組のチャプターマークが、経過時間の順に並んでいます。**
- **数字は、番組開始からチャプターマークまでの経過時間です。**
- **一覧表の下側を見るときは、[下スクロール] ボタンを押します。表示を戻したいときは、[上スクロール] ボタンを押してください。**

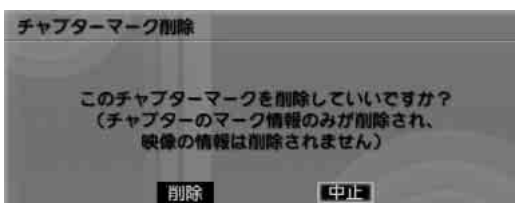
5 [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、削除したいチャプターマークを選ぶ

6 [機能] ボタンを押す

機能メニューが表示されます。

7 [↓] ボタンを押し、「チャプターマーク削除」を選ぶ

8 [決定] ボタンを押す

[チャプターマーク削除] ウインドウが表示されます。

9 [←] ボタンを押し、「削除」を選ぶ

- **チャプターマークの削除を中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押します。**

10 [決定] ボタンを押す

チャプターマークが削除され、[チャプターマーク削除] ウインドウが消え、新しい [チャプターリスト] 画面が表示されます。

- **続けて余分なチャプターマークを削除する場合は、手順 4 〜 10 を繰り返し行ってください。**

11 [TV] ボタンを押し、テレビ画面に戻る

先頭のチャプターマークについて

先頭のチャプターマークは自動的に付与されるため、削除できません。

不要な場面をスキップする

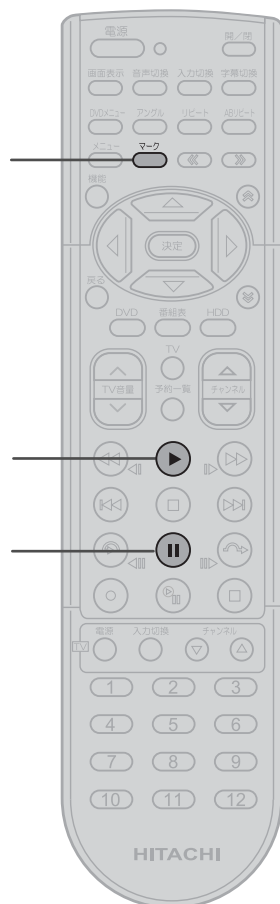
録画した番組のなかに不要な場面がある場合、場面の最初と最後にチャプターマークを登録し、チャプタースキップを設定します。次に再生するときは、その場面の再生が自動的にスキップされます。
番組をダビングして DVD ビデオを作る場合、チャプタースキップを設定した場面はダビングされません。

DVD ビデオの作成方法→ 4 章「番組を選んでダビングする」(P.71)

準 備

- テレビと MSP1000 の電源を入れる。

電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)

- チャプタースキップを設定したい番組を再生する。

① [マーク] ボタン
② [再生] ボタン
③ [一時停止] ボタン

■ 任意の場面の最初と最後にチャプターマークを登録する

1 不要な場面の最初まで再生し、[一時停止] ボタンを押す
再生がいったん停止します。

2 [マーク] ボタンを押す
チャプターマークが登録され、位置が表示されます。

3 [再生] ボタンを押す
再生が再開します。

4 不要な場面の最後まで再生し、[一時停止] ボタンを押す
再生がいったん停止します。

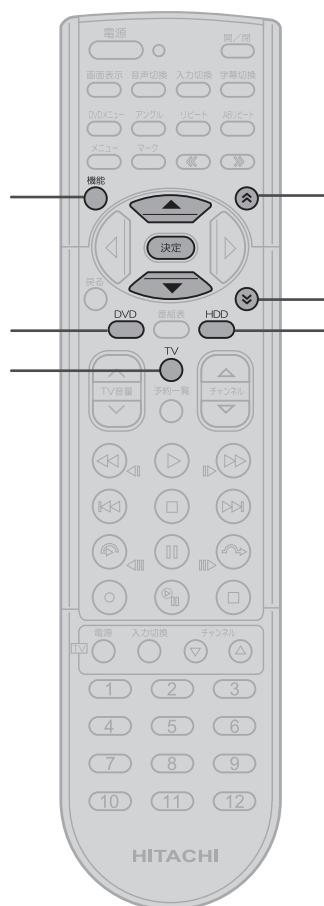
5 [マーク] ボタンを押す
チャプターマークが登録され、位置が表示されます。

6 [再生] ボタンを押し、再生を再開する

正確に登録したいときは

スロー再生中に [一時停止] ボタンを押して、再生を一時停止させると、より正確にチャプターマークを登録できます。

チャプターマークの誤差について

MSP1000 では、MPEG-2 規格のビデオデータとして番組を録画しています。MPEG-2 規格で扱うビデオデータには GOP(Group Of Pictures) という最小単位があり、MSP1000 では 1GOP が 0.5 秒になります。チャプターマークを登録できるのは、GOP の先頭 (I フレーム) だけです。そのため、スロー再生を使って調節しても、チャプターマークを登録したい位置と実際に登録できる位置の間には、最大 0.5 秒程度の誤差が生じます。

① [機能] ボタン
② [上スクロール] ボタン
③ [下スクロール] ボタン
④ [HDD] ボタン
⑤ [DVD] ボタン
⑥ [TV] ボタン

■ 場面のスキップを設定する

あらかじめ、不要な場面の最初と最後にチャプターマークを登録しておきます。

1 [HDD] ボタンを押す

[HDD<< 全番組 >>] 画面が表示されます。

2 [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、場面のスキップを設定したい番組を選ぶ

3 [機能] ボタンを押す

機能メニューが表示されます。

4 [↓] ボタンを押し、「チャプターリスト」を選ぶ

[チャプターリスト] 画面が表示されます。

- **選んだ番組のチャプターマークが、経過時間の順に並んでいます。**
- **数字は、番組開始からチャプターマークまでの経過時間です。**
- **一覧表の下側を見るときは、[下スクロール] ボタンを押します。表示を戻したいときは、[上スクロール] ボタンを押してください。**

5 [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、スキップしたい場面の最初に登録したチャプターマークを選ぶ

6 [機能] ボタンを押す

機能メニューが表示されます。

7 [↓] ボタンを押し、「再生スキップ設定」を選ぶ

8 [決定] ボタンを押す

チャプターマークの番号に斜線が表示されます。

- **スキップを解除したいときは、もう一度 [再生スキップ設定] を選び、[決定] ボタンを押します。**
- **続けて場面のスキップを設定する場合は、手順 4 〜 8 を繰り返し行ってください。**

9 [TV] ボタンを押し、テレビ画面に戻る

スキップしても場面は削除されません

チャプタースキップを設定しても、スキップした場面は HDD から削除されません。スキップした場面を再生したいときは、[チャプタースキップ設定] 画面で設定を解除できます。

個別出演者
予約一覧
長さ
00:30
00:30
00:30
00:30
00:30
99
99
99
99
99
OnAir
HITACHI
Inspire the Next
決定
機能

4章 ダビングする

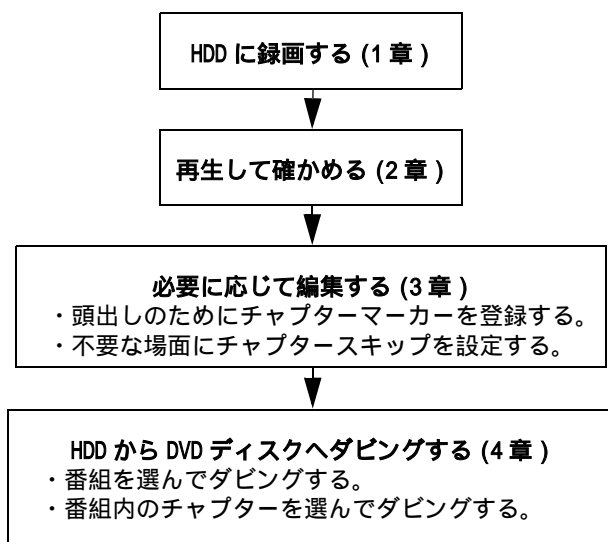
DVD ディスクへのダビングのしかた

録画した番組を DVD-R ディスクや DVD-RW ディスクにコピーし、DVD ビデオを作ることができます。また、HDD の残量が不足したときは、削除する前に番組を DVD-RAM ディスクにバックアップできます。これらを合わせて、DVD ディスクへのダビングと呼びます。

■ 操作の流れを確かめる

番組の録画から DVD ディスクへのダビングまでの各操作は、互いに次のような流れでつながります。

必要に応じて編集する (3 章)
・頭出しのためにチャプターマーカーを登録する。
・不要な場面にチャプタースキップを設定する。

HDD から DVD ディスクへダビングする (4 章)
・番組を選んでダビングする。
・番組内のチャプターを選んでダビングする。

■ 目的に合わせてディスクを選ぶ

市販の DVD プレーヤーで再生したい場合

DVD ビデオプレーヤーと再生互換性のある DVD ビデオを作ることができます。(DVD-RAM ディスクは使用できません)。
ご使用いただく DVD ビデオプレーヤー、DVD ディスクの記録状態によっては、再生できない場合があります。

保存目的の DVD ビデオを作るときは

DVD-R ディスクをお勧めします。

- **書き換えできないので、誤って消すことがありません。**
- **DVD メニューを作成することができます。**

短期間だけ使う DVD ビデオを作るときは

DVD-RW ディスクをお勧めします。

- **書き換えできるので、繰り返し使用できます。**
- **DVD メニューを作成することができます。**

HDD の番組をバックアップしたい場合

HDD の残量が不足したときなど、HDD の番組をバックアップしたい場合は、DVD-RAM ディスクをお勧めします。

- **書き換えできるので、繰り返し使用できます。**
- **番組の画質を保ったまま、ディスクから HDD へ書き戻せます。**
- **番組情報も一緒にバックアップできます。**

DVD-RAM と DVD-RW の書き換えについて

DVD-RAM ディスクと DVD-RW ディスクは、共に書き換え可能な DVD ディスクです。しかし、書き換え方法は互いに異なります。
DVD-RAM ディスクでは、ディスクに残量がある限り、くりかえしダビングできます。また、番組ごとに選んで削除できます。
一方、DVD-RW ディスクでは、ディスクに残量があっても、くりかえしダビングしたり、番組ごとに削除することはできません。記録済みの DVD-RW ディスクを再利用するには、すべての番組を削除する必要があります。

DVD-RW ディスクの削除方法→ 6 章「DVD-RW ディスクをフォーマットする」(P.113)

■ HDD へダビングする

目的によっては、DVD ディスクへではなく、HDD へ番組をダビングすることができます。

パソコンで番組を見る場合

画質が「 HQ 」、「SP」、「LP」で記録した番組は、そのままではパソコンで見ることができません。番組を HDD へダビングして、画質を「 VOD 」に変更してください。

パソコンで見る方法→ 5 章「パソコンで見る」(P.83)

画質の変更方法→ 5 章「番組の画質を変更する」(P.96)

HDD の残量を増やす場合

番組の画質を「HQ」、「SP」から「LP」へ変換すると、画質は劣化しますが、HDD の残量を増やすことができます。HDD の残量を増やすためにダビングするときは、ダビング後に元の番組を削除します。

画質の変更方法→ 5 章「番組の画質を変更する」(P.96)

番組の削除方法→ 2 章「番組を削除する」(P.53)

コピー制御信号の含まれた番組について

本機では、コピー制御信号の含まれた録画に制限のある番組（1 回だけ録画が許可された番組など ）は録画できません。

番組を選んでダビングする

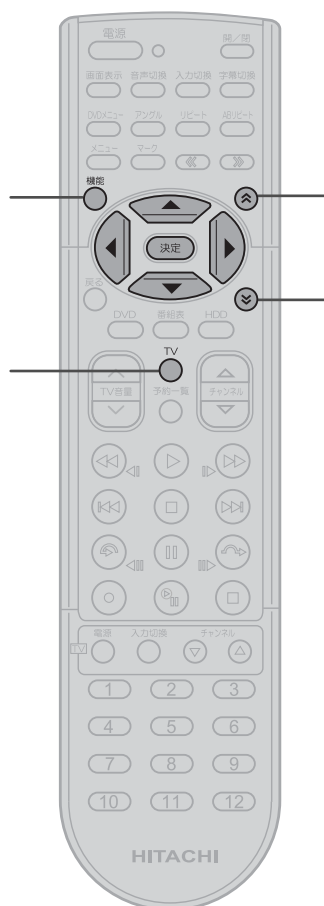
1つまたは複数の番組を選んで、DVDディスクにダビングできます。チャプタースキップを設定している番組は、スキップされた場面を除いてダビングされます。(DVD-RディスクとDVD-RWディスクのみ)

📖 **チャプタースキップの設定方法→ 3章「不要な場面をスキップする」(P.67)**

準 備

- **テレビとMSP1000の電源を入れる。**

📖 **電源の入れ方→ 1章「電源を入れる」(P.21)**

- **受信したテレビ画面を表示させる。**

① [メニュー] ボタン
② [上スクロール] ボタン
③ [下スクロール] ボタン
④ [TV] ボタン

■ ディスクをセットして番組を選ぶ

ディスクをセットする

1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「ダビング」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

[ダビングメニュー] 画面が表示されます。

4 ダビング先のディスクをセットする

5 **「HDD → DVD」を選んだ状態で［決定］ボタンを押す**

[HDD → DVD] 画面が表示されます。

- **セットしたディスクによって、画面の名前は異なります。下は DVD-R ディスクをセットした場合のものです。**
- **未使用の DVD-RAM ディスクをセットしたときは、「認識できないメディアです」と表示されます。ダビングを中止し、ディスクをフォーマットしてください。**
- **使用済みの DVD-RAM ディスクをセットした場合は、ディスク残量が十分にあることを確認します。ディスク残量が足りないときは、録画済みの番組をいくつか削除するか、別のディスクをセットするか、または、ディスクをフォーマットしてください。**

DVD-RAM ディスクのフォーマット→ 6 章「DVD-RAM ディスクをフォーマットする」(P.112)

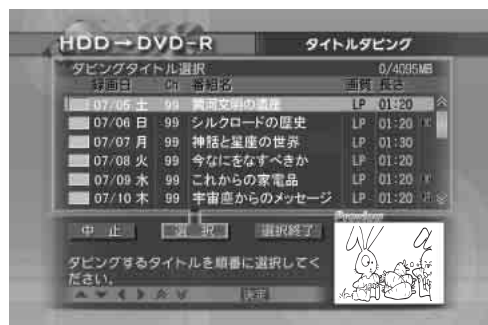
番組を選ぶ

1 **[HDD → DVD] 画面で［↑］ボタンまたは［↓］ボタンを押し、「タイトルダビング」を選ぶ**

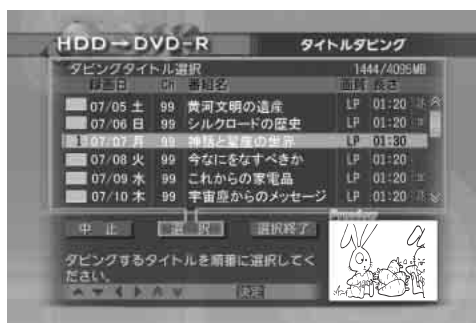
- **ダビングを中止したいときは、「中止」を選んで［決定］ボタンを押します。**

2 **［決定］ボタンを押す**

［ダビングタイトル選択］画面が表示されます。

- **録画した番組が録画日時順に並んでいます。**
- **日時とチャンネルを選んで予約した番組では、「番組名」は表示されません。**
- **サブ画面には、選択した番組を簡易再生します。**
- **一覧表の下側を見るときは、［下スクロール］ボタンを押します。表示を戻したいときは、［上スクロール］ボタンを押してください。**

3 **［↑］ボタンまたは［↓］ボタンを押し、ダビングする番組を選ぶ**

4 **［決定］ボタンを押す**

ダビングする番組として登録され、番組の左端に「1」と表示されます。

5 **複数の番組をダビングするときは、手順 3 〜 4 を繰り返す**

選んだ番組の左端に「2」以降の数字が表示されます。

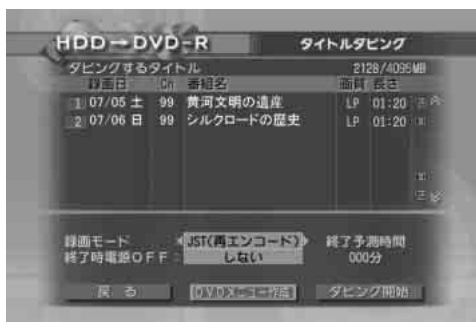
- **特定の番組のダビングをやめるときは、番組を選んで［決定］ボタンを押し、数字を消します。**

6 **［←］ボタンまたは［→］ボタンを押し、「選択終了」を選ぶ**

- **タイトルダビングを中止したいときは、「中止」を選んで［決定］ボタンを押します。**

7 **［決定］ボタンを押す**

［ダビングタイトル］画面が表示されます。

- **ダビングする番組が、選んだ順に一覧表示されます。**

録画モードによって、ダビング時に画質が劣化します

［ダビングタイトル］画面で「録画モード」が「元の画質」または「JST(元の画質)」と表示されるときは、画質を保ったまま番組をダビングできます。「JST(再エンコード)」と表示されるときや、DVD-RAM ディスクで「録画モード」を変更したときは、ダビング時に画質が劣化します。画質の劣化を避けたいときは、ダビングする番組を減らしたり、チャプタースキップを設定して「元の画質」と表示されるようにしてください。

チャプタースキップの設定方法→ 3 章「不要な場面をスキップする」(P.67)

長時間の番組をダビングしたいときは

DVD-RAM ディスクをセットした場合は、録画モードを変更できます。変更するには、[ダビングタイトル] 画面で「録画モード」を選び、[←] ボタンまたは [→] ボタンを押します。

・ 画質を保ちたいときは「元の画質」を選びます。
・ あとで番組を追記したい場合など、ディスクの残量を多く残したいときは、現在よりも長時間録画できる録画モード (「 LP 」または「 SP 」) を選びます。
・ ディスクに残量を残す必要がなく、なるべく高画質でダビングしたいときは、「 JST(再エンコード) 」を選びます。ただし、ディスクの残量が十分にあるときは、自動的に「元の画質」となり、同じ画質でダビングされます。

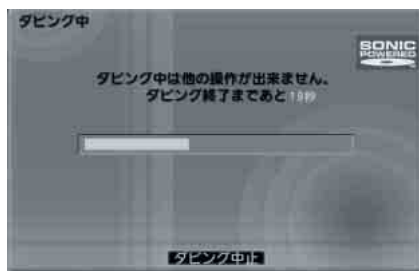
番組を選ぶほかの方法

ダビングする番組を、[HDD<< 全番組 >>] 画面などで選ぶこともできます。番組を選び、[機能] ボタンを押し、「ダビング」を選びます。ただし、複数の番組を選ぶことはできません。

ダビングを始める

1 **[ダビングタイトル] 画面で [→] ボタンを押し、「ダビング開始」を選ぶ**

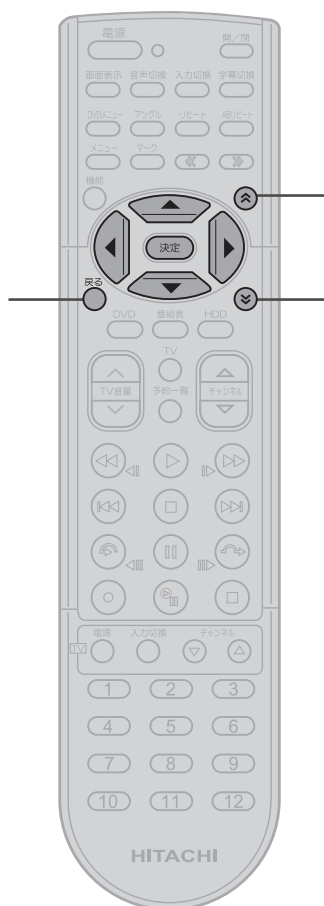
2 **[決定] ボタンを押す**

ダビングが開始され、[ダビング中] 画面が表示されます。

自動的に電源を切りたいときは

深夜など、ダビング終了後に MSP1000 の電源を自動的に切りたいときは、[ダビングタイトル] 画面で「終了時電源 OFF 」を「する」に変更します。

[その他設定] 画面の表示方法→ 7 章「[その他] 画面を表示する」(P.130)

ダビング時の複数タイトル選択

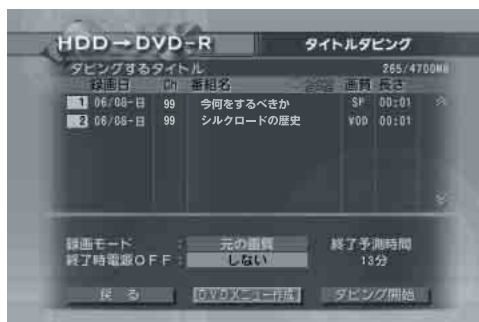
HDD → DVD および、DVD → HDD のダビング時は、複数のタイトルが選択できます。HDD → HDD のダビング時は、1 つのタイトルのみ選択可能です。

① [上スクロール] ボタン
② [下スクロール] ボタン
③ [戻る] ボタン

■ DVD メニューを作る

複数の番組を選んで DVD ビデオを作る場合、市販の DVD ビデオのように DVD メニューを作ることができます (DVD-R ディスクと DVD-RW ディスクのみ)。

● **DVD メニューを作成できるのは、ダビング開始前です。**

背景デザインを選ぶ

1 [タイトルダビング] 画面で [カーソル] ボタンを押し、「DVD メニュー作成」を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

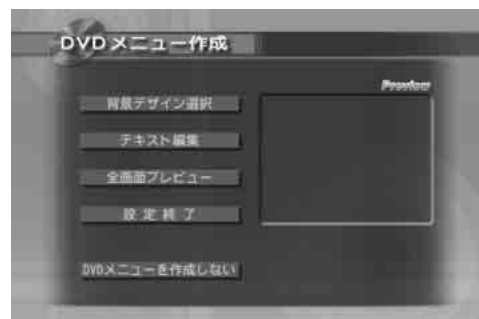
[背景デザイン選択] 画面が表示されます。

● **DVD メニュー用の背景デザインが並んでいます。**

3 [カーソル] ボタンを押し、DVD メニューに使う背景デザインを選ぶ

4 [決定] ボタンを押す

[DVD メニュー作成] 画面が表示されます。

● **プレビュー欄には、自動的に作成される DVD メニューが表示されます。**

5 [↑]ボタンまたは[↓]ボタンを押し、「全画面プレビュー」を選ぶ

自動的に作成される DVD メニューが、全画面に表示されます。

6 [決定] ボタンを押す

[DVD メニュー作成] 画面に戻ります。

表示された DVD メニューで良いときは、「DVD メニュー作成を終了する」へ進みます。背景のデザインを再度変更したり、タイトルを編集したいときは、次の「背景デザインを変更する」および「テキストを編集する」へ進みます。

DVD メニュー作成を終了する→ 4 章「DVD メニュー作成を終了する」(P.76)

背景デザインを変更する

1 [DVD メニュー作成] 画面で [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、「背景デザイン選択」を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

[背景デザイン選択] 画面が表示されます。

- **DVD メニュー用の背景デザインが並んでいます。**

3 [カーソル] ボタンを押し、DVD メニューに使う背景デザインを選ぶ

- **背景デザインの変更を中止したいときは、[戻る] ボタンを押します。**

4 [決定] ボタンを押す

[DVD メニュー作成] 画面に戻り、プレビュー画面の背景が選んだ背景デザインに変更されます。

表示された DVD メニューで良いときは、「DVD メニュー作成を終了する」へ進みます。タイトルを変更したいときは、次の「タイトルを編集する」へ進みます。

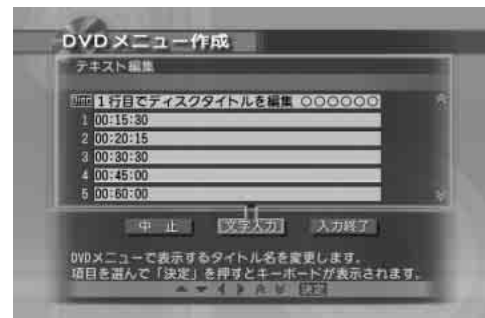
DVD メニュー作成を終了する→ 4 章「DVD メニュー作成を終了する」(P.76)

テキストを編集する

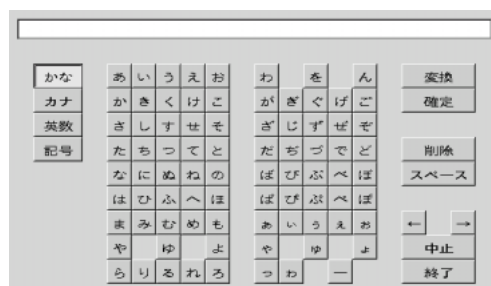
1 [DVD メニュー作成] 画面で [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、「テキスト編集」を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

[文字入力] 画面が表示されます。

- **DVD ビデオのテキスト欄 (未入力) と、各番組のタイトル欄が並んでいます。**
- **一覧の下側を見るときは、[下スクロール] ボタンを押します。表示を戻したいときは、[上スクロール] ボタンを押してください。**

3 [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、DVD ビデオのタイトル欄を選ぶ

4 [決定] ボタンを押す

ソフトキーボードが表示されます。

5 [カーソル]ボタンを押し、入力する文字を選ぶ

6 [決定] ボタンを押す

タイトル欄に選んだ文字が入力されます。

文字の入力方法→ 8 章「文字を入力する」(P.147)

タイトル文字入力について

入力するタイトル文字には、文字数の制限があります。
・ディスクタイトル　：　16 文字
・チャプタータイトル　：　21 文字

7 **手順 5 ～ 6 を繰り返し、DVD ビデオのタイトルを入力する**

● **入力したひらがなを漢字に変換するには、「変換」を選んで [決定] ボタンを押します。**

8 **手順 3 ～ 6 と同じ操作で、各番組のタイトルを変更する**

9 **[→] ボタンを押し、「入力終了」を選ぶ**

● **タイトルの編集を中止したいときは、「中止」を選びます。**

10 **[決定] ボタンを押す**

[DVD メニュー作成] 画面に戻り、プレビュー画面のタイトルが編集したものに変更されます。

DVD メニュー作成を終了する

1 **[DVD メニュー作成] 画面で [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、「設定終了」を選ぶ**

● **DVD メニュー作成を中止したいときは、「DVD メニューを作成しない」を選びます。**

2 **[決定] ボタンを押す**

[ダビングタイトル] 画面に戻ります。

3 **ダビングを開始します。**

ダビングの開始→ 4 章「ダビングを始める」(P.73)

番組内のチャプターを選んでダビングする

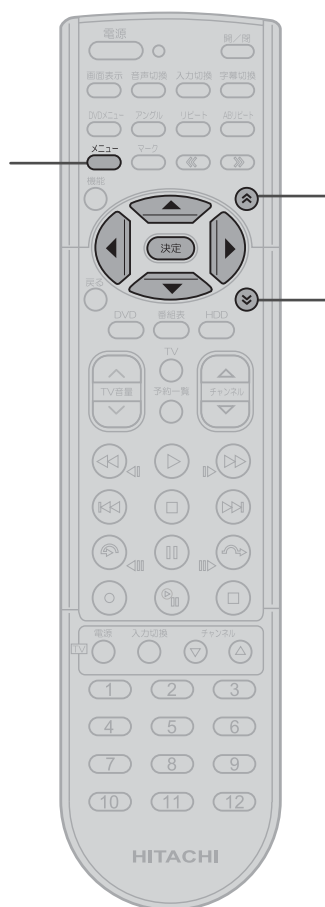
番組を 1 つ選んで DVD ディスクにダビングします。その際に、あらかじめ番組に登録したチャプターマークを使い、ダビングするチャプターを選ぶことができます (DVD-R ディスクと DVD-RW ディスクのみ)。
長時間の番組のなかから、数箇所を選んでダビングしたいときに適しています。

📖 チャプターマークの登録方法→ 3 章「頭出しできるようにする」(P.64)

準 備

● テレビと MSP1000 の電源を入れる。

📖 電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)

● 受信したテレビ画面を表示させる。

① [メニュー] ボタン
② [上スクロール] ボタン
③ [下スクロール] ボタン

■ ダビングする番組とチャプターを選ぶ

ディスクをセットする

1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「ダビング」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

[ダビングメニュー] 画面が表示されます。

4 ダビング先のディスクをセットする

5 「 HDD → DVD 」を選んだ状態で [決定] ボタンを押す

[HDD → DVD] 画面が表示されます。

● **セットしたディスクによって、画面の名前は異なります。下は DVD-R ディスクをセットした場合のものです。**

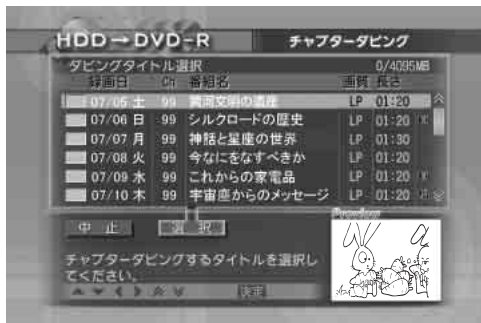
番組を選ぶ

1 **[HDD → DVD] 画面で [↓] ボタンを押し、「チャプター指定ダビング」を選ぶ**

- **ダビングを中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押します。**

2 **[決定] ボタンを押す**

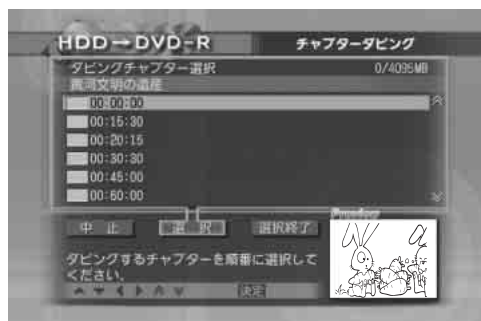
[ダビングタイトル選択] 画面が表示されます。

- **録画した番組が録画日時順に並んでいます。**
- **日時とチャンネルを選んで予約した番組では、「番組名」は表示されません。**
- **EPG が取得できない状態で録画した番組では、「番組名」は表示されません。**
- **サブ画面には、プレビューが表示されます。**
- **一覧表の下側を見るときは、[下スクロール] ボタンを押します。表示を戻したいときは、[上スクロール] ボタンを押してください。**

3 **[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、ダビングする番組を選ぶ**

- **タイトルダビングを中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押します。**

4 **[決定] ボタンを押す**

[ダビングチャプター選択] 画面が表示されます。

- **チャプターマークが登録してある場合、チャプターが経過時間順に並んでいます。**
- **サブ画面には、プレビューが表示されます。**
- **一覧表の下側を見るときは、[下スクロール] ボタンを押します。表示を戻したいときは、[上スクロール] ボタンを押してください。**

次の「チャプターを選ぶ」へ進みます。

何も表示されないときは

選んだ番組にチャプターマークが登録されていません。番組を再生しながらチャプターマークを登録し、その後、あらためてダビングを行ってください。

チャプターマークの設定方法→ 3 章「頭出しできるようにする」(P.64)

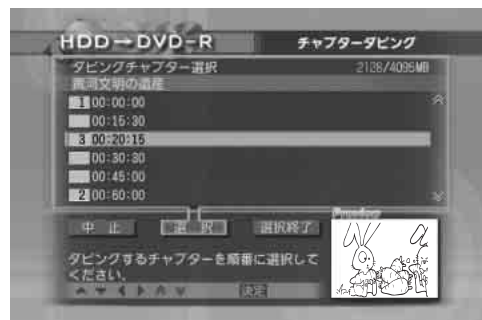
ダビングしたいチャプターを選ぶほかの方法

ダビングする番組を、[HDD<< 全番組 >>] 画面などで選ぶこともできます。番組を選び、[機能] ボタンを押し、チャプターリストを選択して、チャプターリストの機能メニューから「ダビング」を選びます。

チャプターを選ぶ

1 **[ダビングチャプター選択] 画面で [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、ダビングするチャプターを選ぶ**

2 **[決定] ボタンを押す**

ダビングするチャプターとして登録され、チャプターの左端に「1」と表示されます。

3 **複数のチャプターをダビングするときは、手順 1 ～ 2 を繰り返す**

選んだチャプターの左端に「2」以降の数字が表示されます。

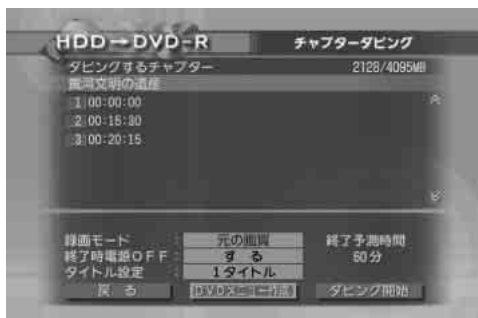
- **特定のチャプターのダビングをやめるときは、チャプターを選んで [決定] ボタンを押し、数字を消します。**

4 **[←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、「選択終了」を選ぶ**

- **チャプターダビングを中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押します。**

5 [決定] ボタンを押す

[ダビングタイトル] 画面が表示されます。

- **ダビングするチャプターが、選んだ順に一覧表示されます。**

録画モードによっては、ダビング時に画質が劣化します

[ダビングタイトル]画面で「録画モード」が「元の画質」と表示されるときは、画質を保ったまま番組をダビングできます。「JST(再エンコード) 」と表示されるときは、ダビング時に画質が劣化します。
画質の劣化を避けたいときは、ダビングするチャプターを減らしたり、チャプターが短くなるようにチャプターマークを登録して、「元の画質」と表示されるようにしてください。

ダビングを始める

複数の番組を選んでダビングするときと同じ操作でダビングします。

ダビングの開始→ 4 章「ダビングを始める」(P.73)

■ DVD メニューを作る

複数のチャプターを選んで DVD ビデオを作る場合、複数の番組を選んでダビングするときと同じ操作で、DVD メニューを作ることができます。

DVD メニューの作成→ 4 章「DVD メニューを作る」(P.74)

DVD メニューを作るときは

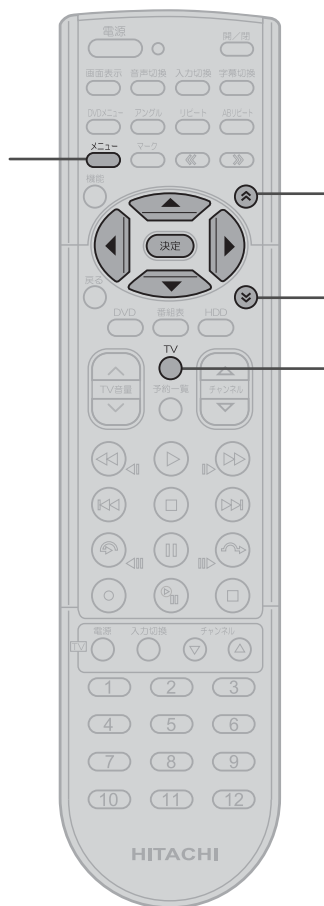
DVD メニュー作成を選んで [決定] ボタンを押す前に、タイトル設定で DVD メニューのタイトル数を「1 タイトル」または、「複数タイトル」から選べます。

DVD-RAM から HDD へダビングする

本機で DVD-RAM ディスクにいったんダビングした番組を、HDD へダビングすることができます。DVD-RAM ディスクの番組を使って DVD ビデオを作りたいときは、あらかじめ HDD へ番組をダビングしてください。

準 備

- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**

  電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)
- **受信したテレビ画面を表示させる。**

① [メニュー] ボタン
② [上スクロール] ボタン
③ [下スクロール] ボタン
④ [TV] ボタン

ディスクをセットする

1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「ダビング」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

[ダビングメニュー] 画面が表示されます。

4 ダビング先のディスクをセットする

5 [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、「 DVD → HDD 」を選ぶ

6 [決定] ボタンを押す

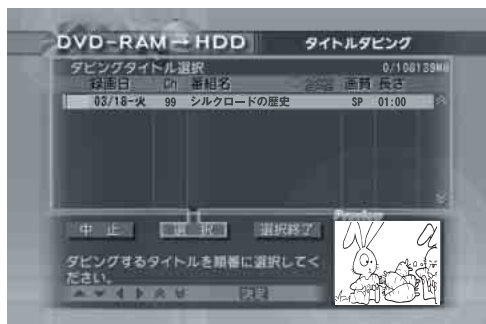
[DVD → HDD] 画面が表示されます。

ダビングを始める

1 [DVD → HDD] 画面で [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、「タイトルダビング」を選ぶ

2 ［ 決定 ］ボタンを押す

［ ダビングタイトル ］画面が表示されます。

- **録画した番組が録画日時順に並んでいます。**
- **日時とチャンネルを選んで予約した番組では、「番組名」は表示されません。**
- **一覧表の下側を見るときは、［ 下スクロール ］ボタンを押します。表示を戻したいときは、［ 上スクロール ］ボタンを押してください。**

3 ［ ↑ ］ボタンまたは［ ↓ ］ボタンを押し、ダビングするタイトルを選ぶ

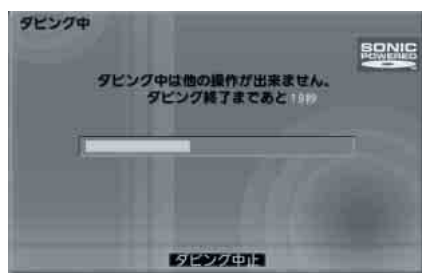
4 ［ 決定 ］ボタンを押す

5 複数のタイトルダビングするときは、手順3〜4を繰り返す

6 ［ ← ］ボタンまたは［ → ］ボタンを押し、「選択終了」を選ぶ

7 ［ カーソル ］ボタンを押し、「ダビング開始」を選ぶ

8 ［ 決定 ］ボタンを押す

ダビングが開始され、［ ダビング中 ］画面が表示されます。

DVD ビデオのコピー

お客様が作成した、DVD ビデオなど、コピーフリーのDVD ビデオを HDD にダビングするには、DVD 再生中に録画ボタンを押します。

個別出演者
予約一覧
長さ
00:30
00:30
00:30
00:30
00:30
00:30
OnAir
HITACHI
Inspire the Next
決定
機能

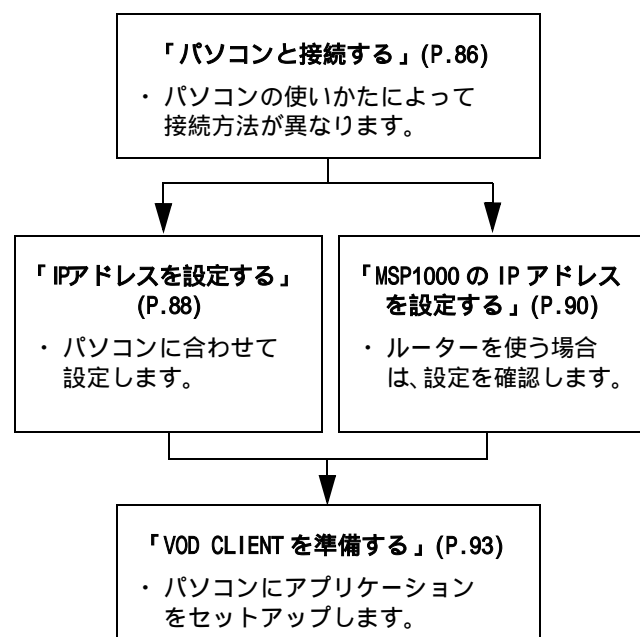
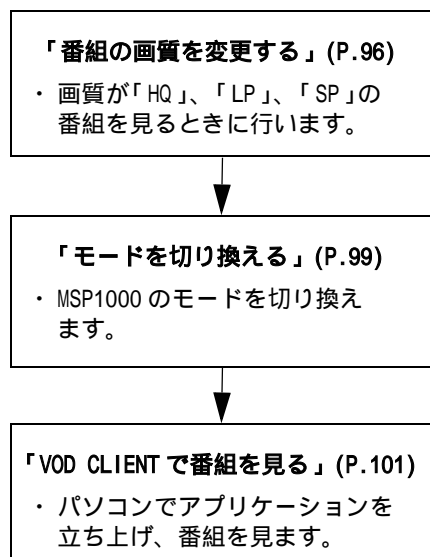
5章 パソコンで見る

録画した番組をパソコンで見るには

MSP1000 とパソコンを LAN ケーブルで接続すると、録画した番組をパソコンで見ることができます。

■ 操作の流れを確かめる

パソコンで番組を見るためには、次の操作が必要です。パソコンと接続するための最初の操作と、それ以降の番組を見るときの操作に分かれます。

はじめて接続するときの流れ

番組を見るときの流れ

■ お使いになれるパソコン

次の条件を満たすパソコンで、MSP1000 に録画した番組を見ることができます。

OS

Windows XP

CPU

Intel Pentium III 1GHz 以上
AMD Athlon 1GHz 以上

メモリー

256MB 以上

ビデオメモリー

ノートパソコン 8MB 以上
デスクトップパソコン 16MB 以上

端子

LAN コネクター (100Base-TX 対応)

上記の条件を満たしても、パソコン側の問題により正しく動作しない場合があります。

無線 LAN をお使いのときは

十分な通信速度を得られないため、番組を見ているときに映像や音声が途切れることがあります。そのためサポート対象外となります。

接続するときの注意

・ホームストリーミング動作中は、LAN ケーブルを抜いたり、MSP1000 の電源を切らないでください。MSP1000 や接続しているパソコンの再起動が必要となる場合があります。
・接続する機器の取扱説明書もあわせてご参照ください。
・LAN ケーブルは、接続にあわせて対応したものをご使用ください。
・ADSLやケーブルテレビなどのLAN環境に接続する場合、契約内容によっては接続が許可されない場合があります。契約内容をご確認ください。
・LAN 環境によっては、正しく動作しない場合やご利用になれない場合があります。
・本機の USB 端子は、デジタルカメラ専用の端子です。USB 端子からのネットワーク環境への接続はできません。本機背面の LAN 端子をご利用ください。
・LANケーブルは適切な長さのものをお選びください。長すぎる LAN ケーブルは、LAN の性能を著しく低下させる場合があります。

■ 著作権を保護するために

録画した番組は個人で楽しむ範囲でご利用ください。私的利用の範囲を超えて番組を公開・複製することは、他社・他人の著作権を侵害する可能性があるため法律により禁じられています。著作権を侵害した場合は、損害賠償などの法的な処罰を受けることがあります。

インターネットなどに公開しないでください

インターネットなどを使って不特定の人たちに番組を公開することは、他社・他人の著作権を侵害する可能性があります。ご家族やご友人に見せるためであっても、インターネットなどを使うと不特定の人たちに見られる可能性があるため、公開しないでください。

複数のパソコンで同時に鑑賞できません

インターネットなどを使った番組の公開を防止するため、複数のパソコンで番組を同時に見ることができないようになっています。ご家庭に複数のパソコンがあるときは、番組を見る時間をパソコンごとにずらしてください。

パソコンへ番組をコピーできません

インターネットなどを使った番組のコピーを防止するため、MSP1000 からパソコンへ番組をコピーできないようになっています。私的利用の範囲で番組をバックアップするには、DVD ディスクへダビングしてください。

パソコンと接続する

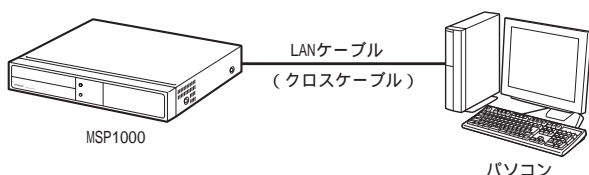
パソコンの LAN コネクターをすでに使っているか、使っている場合は何に接続しているかを確認してください。それによって、MSP1000 の接続方法や設定方法が異なります。

準 備
● MSP1000 の電源を切る。

■ LAN コネクターをまだ使っていない場合

パソコンの LAN コネクターと MSP1000 背面の LAN コネクターを、LAN ケーブル (クロスケーブル) で接続します。

用意するもの

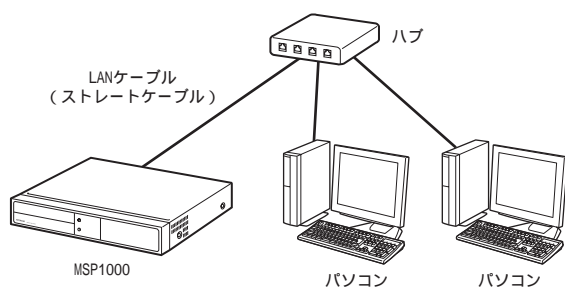
- ● **LAN ケーブル (100Base-TX 対応のクロスケーブル)**

続いて、MSP1000 を設定します。

MSP1000 の設定方法→ 5 章「MSP1000 の IP アドレスを設定する」(P.90)

■ 複数のパソコンをハブに接続している場合

ハブ (100Base-TX 対応) と MSP1000 背面の LAN コネクターを、LAN ケーブルで接続します。

用意するもの

- ● **LANケーブル(100Base-TX対応のストレートケーブル)**

続いて、MSP1000 を設定します。

パソコンの設定方法→ 5 章「IP アドレスを設定する」(P.88)

ハブと接続するときは

本機をハブに接続するときは、ハブの Uplink コネクターに接続しないでください。

■ ADSL モデムなどに接続している場合

インターネット接続に ADSL モデムや CATV モデムを使い、ブロードバンドルーター (以降、ルーター) を使っていない場合は、パソコンと MSP1000 の接続にルーターが必要です。市販のルーターをご購入になり、次の「ブロードバンドルーターに接続している場合」をお読みください。ルーターとパソコンの接続・設定については、ルーターに付属の取扱説明書をお読みください。

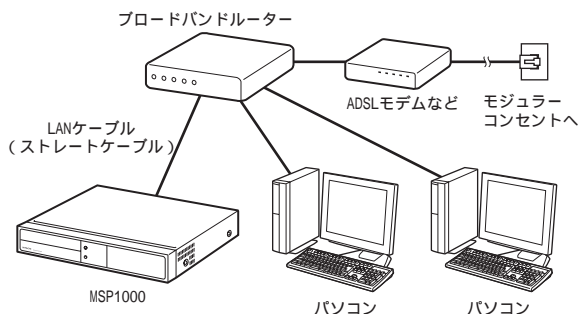
ADSL モデムをご確認ください

ADSL モデムによっては、ルーターを内蔵しているものがあります。内蔵している場合は、新たに購入する必要はありません。ただし、パソコンの USB コネクターに接続する方式の ADSL モデムをお使いの場合、ADSL モデムからの接続はできません。パソコンの LAN コネクターの状況によって、先の「 LAN コネクターを使っていない場合」または「複数のパソコンをハブに接続している場合」をお読みください。

■ ブロードバンドルーターに接続している場合

ルーターの LAN コネクターと MSP1000 背面の LAN コネクターを、LAN ケーブルで接続します。

用意するもの

- ● **LANケーブル(100Base-TX対応のストレートケーブル)**
- ● **ルーター (100Base-TX 対応)**

続いて、MSP1000 の IP アドレスを確認します。

IP アドレスの確認方法→ 5 章「MSP1000 の IP アドレスを確認する」(P.92)

ルーターが 10Base-T 専用のときは

10Base-T と 100Base-TX の両方に対応したハブをご購入ください。パソコンと MSP1000 とルーターを、すべてハブに接続します。ハブとルーターの接続方法については、それぞれの製品に付属の取扱説明書をお読みください。

インターネットに接続できないときは

ルーターとハブを併用する場合、接続を誤ったり、電源を入れる順序を誤ると、ハブに接続したパソコンからインターネットに接続できなくなることがあります。接続方法については、ハブに付属する取扱説明書をお読みください。

LAN ケーブルの接続・取り外し

LAN ケーブルには脱落防止のラッチが付いています。本機背面の LAN 端子に接続するとき、カチッと音がするまで差し込んでください。
取り外すときは、ラッチを押さえながら LAN 端子から引き抜いてください。
ラッチを押さえずに無理に引き抜くと、LAN ケーブルが断線したり、LAN 端子を破損するなどのおそれがあります。
本機以外の機器と LAN ケーブルの接続・取り外しについては、それぞれの機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

MSP1000 の設定について

お買い上げ時には、ルーターなどの DHCP サーバー機能を使用するように設定されています。そのままお使いください。
何らかの理由でルーターの DHCP サーバー機能をオフにしているときは、DHCP サーバーを使用しないように MSP1000 を設定してください。

MSP1000 の設定方法→ 5 章「IP アドレスを設定する」(P.88)

IP アドレスを設定する

ここでは、MSP1000 をパソコンに接続するときの設定について説明します。ネットワークにルーターなどがある場合は、次の「MSP1000 の IP アドレスを確認する」(P.92) をお読みください。

準 備

- **パソコンと MSP1000 を LAN ケーブルで接続する。**

  接続方法→ 5 章「パソコンと接続する」(P.86)

- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**
- **受信したテレビ画面を表示させる。**

■ パソコンの IP アドレスを設定する

1 パソコンの電源を入れる

2 [スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックする

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

3 「ネットワークとインターネット接続」、「ネットワーク接続」の順にクリックする

- **設定によっては、手順 2 とは違う画面が表示されることがあります。そのときは、[ネットワーク接続] アイコンをダブルクリックします。**

[ネットワーク接続] 画面が表示されます。

4 [ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックする

[ローカルエリア接続の状態] 画面が表示されます。

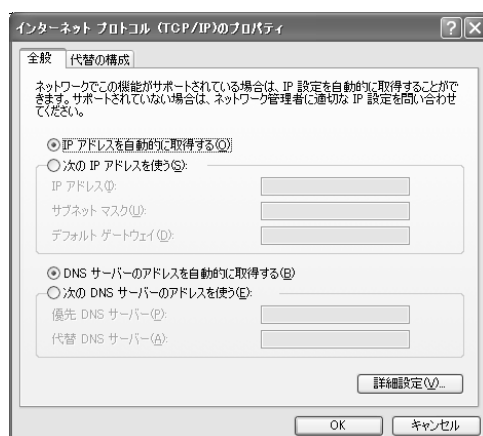
ネットワークブリッジがある場合は

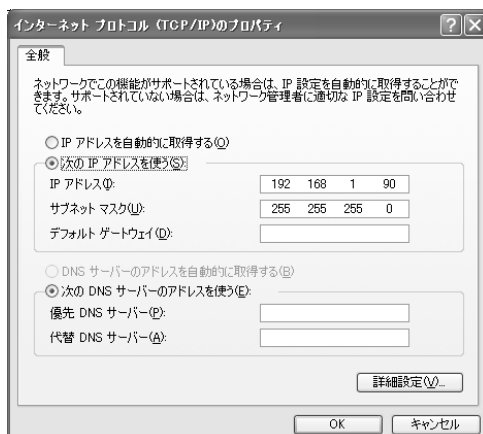
[コントロールパネル] の [ネットワーク接続] に、「ネットワークブリッジ」がある場合は、「ネットワークブリッジ」をダブルクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックしてください。[ネットワークブリッジのプロパティ] が表示されます。プロパティー内の「アダプタ」から、接続するローカルネットワークにチェックを付けてください。以降は、手順 6 からと同様の操作になります。

5 [プロパティ] ボタンをクリックする

[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

6 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をダブルクリックする

[インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ] 画面が表示されます。

7 「次の IP アドレスを使う」をクリックし、「IP アドレス」と「サブネットマスク」を設定する

- **「IP アドレス」には、「192 168 xxx yyy」と入力します。「xxx」には MSP1000 と同じ値を設定します。「yyy」には、0 ～ 255 の範囲で自由な値を入力します。入力した値は紙などに控えておきます。**
- **「サブネットマスク」には、「255 255 255 0」と入力します。**

8 [OK] ボタンをクリックする

[インターネットプロトコル](TCP/IP) のプロパティ] 画面が閉じます。

9 [閉じる] ボタンをクリックする

[ネットワーク接続] 画面が閉じます。

IP アドレスの設定

IP アドレスは、同一 LAN 上では同じ値を使用できません。接続できない場合は、IP アドレスを異なる値に設定してください。

① [メニュー] ボタン
② [戻る] ボタン
③ [数字] ボタン

■ MSP1000 の IP アドレスを設定する

[ホームストリーミングモード設定] 画面を表示する

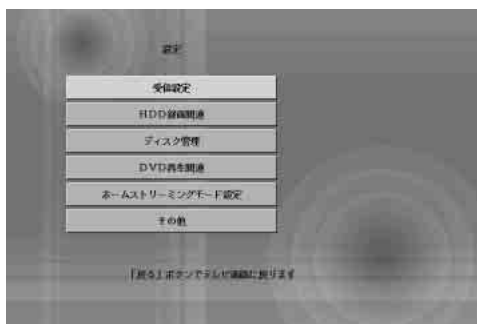
1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「各種設定」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

[設定] 画面が表示されます。

● **[戻る] ボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。**

4 [↓] ボタンを押し、「ホームストリーミングモード設定」を選ぶ

5 [決定] ボタンを押す

[ホームストリーミングモード設定] 画面が表示されます。

● **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

IP アドレスなどを設定する

1 [ホームストリーミングモード設定] 画面で、DHCP の項の「使用しない」を選ぶ

● **初期設定は「使用する」です。**

2 [↓] ボタンを押し、「 IP アドレス設定」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

[IP アドレス設定] 画面が表示されます。

● **初期設定は、設定なしです。**

4 「IPアドレス」に「192・168・xxx・yyy」と入力する

● **「 xxx 」には、パソコンと同じ値を設定します。**
● **「yyy」 には、0 ～ 255 の範囲でパソコンと異なる値を入力します。入力した値は紙などに控えておきます。**
● **左右の欄に移動するときは、[←] ボタンまたは [→] ボタンを押します。**
● **値を入力するときは、[数字] ボタンを押します。**
● **「 0 」を入力するときは、[11] ボタンを押してください。**

5 [↓] ボタンを押して下の欄へ移動し、「サブネットマスク」に「255・255・255・0」と入力する

デフォルトゲートウェイの設定は、必要ありません。

6 [↓] ボタンを押し、「設定」を選ぶ

7 [決定] ボタンを押す

[ホームストリーミングモード設定] 画面に戻ります。
変更を反映しない場合は、「戻る」を選んで [決定] を押します。

設定を保存する

1 [ホームストリーミングモード設定] 画面で、[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、「設定」を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

「ホームストリーミングモード設定」が変更され、[設定] 画面に戻ります。

3 [戻る] ボタンを押す

[TV] 画面に戻ります。

ルーターを導入するときは

ルーターをパソコンに接続しているときは、お買い上げ時の設定のままお使いください。設定を変更したあとでルーター(または DHCP サーバー機能があるほかの機器) を導入したときは、[ホームストリーミングモード設定] 画面で「 DHCP 」の設定を「使用する」に変更し、設定を保存してください。

MSP1000 の IP アドレスを確認する

ここでは、MSP1000 の IP アドレスを確認する方法について説明します。

準 備

- **パソコンと MSP1000 を LAN ケーブルで接続する。**

接続方法→ 5 章「パソコンと接続する」(P.86)

- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**
- **受信したテレビ画面を表示させる。**

[ホームストリーミングモード] 画面を表示して、IP アドレスを確認する

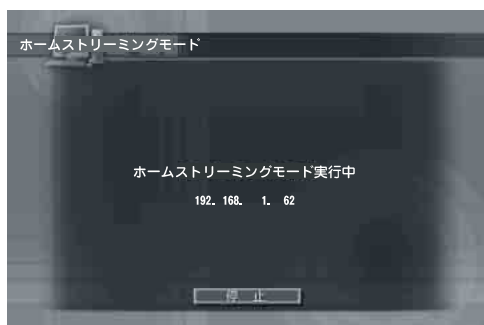
1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「ホームストリーミング」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

[ホームストリーミング実行中] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。**

- **IP アドレスが表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。(DHCP の場合)**
- **IP アドレスが表示されない場合は、ネットワーク環境が正しいか確認し、再度［ホームストリーミング設定］画面を表示してください。**

VOD CLIENT を準備する

ここでは、パソコンで番組を見るためのアプリケーションをセットアップする方法と設定する方法について説明します。番組を見るすべてのパソコンで行ってください。

お使いになれるパソコン→ 5 章「お使いになれるパソコン」(P.84)

準 備

- **パソコンと MSP1000 を LAN ケーブルで接続する。**
- **パソコンと MSP1000 の電源を入れる。**

電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)

- **パソコンとの接続方法にしたがって、MSP1000 の IP アドレスを設定または確認する。**

パソコンとの接続方法→ 5 章「パソコンと接続する」(P.86)

ルーターがない場合→ 5 章「MSP1000 の IP アドレスを設定する」(P.90)

ルーターがある場合→ 5 章「MSP1000 の IP アドレスを確認する」(P.92)

■ VOD CLIENT をセットアップする

インストーラーをダウンロードする

最初に、MSP1000 からパソコンへ、VOD CLIENT のインストーラーをダウンロードします。

ダウンロードは、ホームストリーミングモードで

インストーラーがダウンロードする場合は、MSP1000 をあらかじめ、ホームストリーミングモードに設定してください。それ以外のモードだとダウンロードすることができません。

ブラウザーの設定

インストーラーをダウンロードするときは、ブラウザーの「プロキシサーバー」の設定がされていないことを確認してください。ブラウザーの [ツール] ー [インターネットオプション] ー [接続] タブー [LAN の設定] をクリックし、「プロキシサーバを使用する」のチェックが外れていることを確認してください。

1 [スタート] ボタンー [インターネット] をクリックする

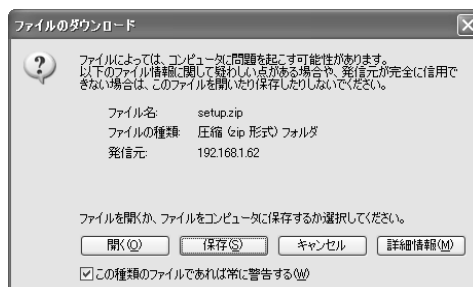
Internet Explorer のウィンドウが表示されます。

2 MSP1000 の IP アドレスを、Internet Explorer の「アドレス」欄に半角数字で次のように入力する

http://**IP アドレス** :5004/setup.zip

- **IP アドレスが「192.168.1.62」の場合は、「http://192.168.1.62:5004/setup.zip」となります。**

3 キーボードの「Enter」キーを押す

[ファイルのダウンロード] 画面が表示されます。

4 [保存] ボタンをクリックする

[名前を付けて保存] 画面が表示されます。

5 「保存する場所」の下の「デスクトップ」をクリックし、[保存] ボタンをクリックする

MSP1000 から圧縮ファイルがダウンロードされ、パソコンのデスクトップに保存されます。

VOD CLIENT がセットアップできないときは

重要

インストーラーがダウンロードできない場合は、MSP1000 とパソコンが正しく接続されているかご確認ください。
ダウンロードできてもセットアップできない場合は、動作環境をご確認ください。

セットアップする

ダウンロードしたインストーラーを使って、VOD CLIENT をセットアップします。

1 デスクトップの「setup.zip」アイコンをダブルクリックする

「setup.zip」の内容が表示されます。

2 「VOD Client Installer.exe」アイコンをダブルクリックする

[InstallShield ウィザード] 画面が表示されます。

3 [次へ] ボタンをクリックする

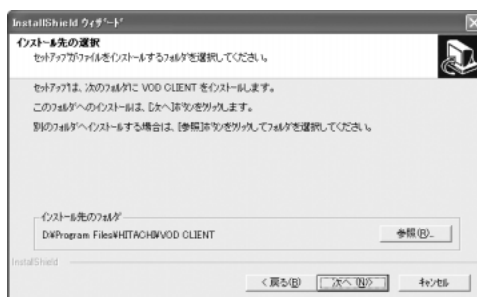
[使用許諾契約] 画面が表示されます。

4 説明をよく読み、[はい] ボタンをクリックする

[ユーザ情報] 画面が表示されます。

5 「ユーザ名」と「会社名」に入力し、[次へ] ボタンをクリックする

● **両方の欄に必ず入力してください。**

[インストール先の選択] 画面が表示されます。

6 [次へ] ボタンをクリックする

[プログラムフォルダの選択] 画面が表示されます。

7 [次へ] ボタンをクリックする

[ファイルのコピー開始] 画面が表示されます。

8 [次へ] ボタンをクリックする

しばらくすると、[InstallShield ウィザードの完了] 画面が表示されます。

9 [完了] ボタンをクリックする

画面が閉じます。

10 デスクトップの「setup.zip」アイコンを、「ごみ箱」に入れる

■ VOD CLIENT を設定する

VOD CLIENT を立ち上げる

1 [スタート] ボタン－ [すべてのプログラム] － [HITACHI] － [VODClient] － [VOD CLIENT] をクリックする

VOD CLIENT のウィンドウが表示されます。

- **はじめて立ち上げるときは、さらに [設定] 画面が表示されます。**

IP アドレスを指定する

[設定] 画面が表示されたときは、MSP1000 の IP アドレスを入力します。

1 MSP1000 の IP アドレスを、「サーバー接続設定」の「 IP 」欄に半角数字で入力する

2 [OK] ボタンをクリックする

[設定] 画面が閉じます。

「ポート」の設定は、変更しない

「サーバー接続設定」の「ポート」欄は、出荷時の設定のままご使用ください。設定を変更すると、正しく動作しない場合があります。
変更している場合は、出荷時の設定に戻してください。出荷時の設定は、「5004」になります。

VOD CLIENT を終了する

1 VOD CLIENT のウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックする

VOD CLIENT が終了します。

VOD CLIENT のアンインストール方法

1 [スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックする

2 [コントロールパネル] の [プログラムの追加と削除] アイコンをダブルクリックする

[プログラムの追加と削除] 画面が表示されます。

3 [VOD CLIENT] を選択し、[変更と削除] ボタンをクリックする

番組の画質を変更する

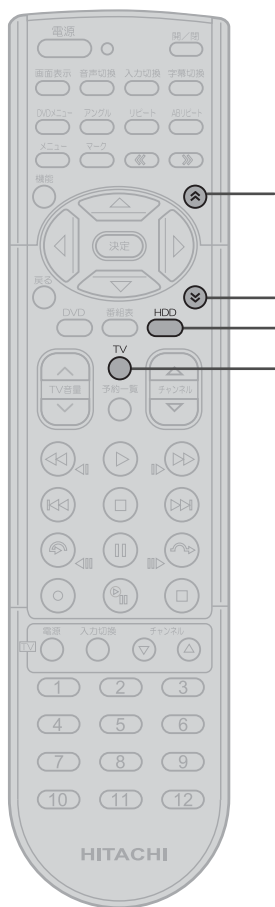
画質が「HQ」、「SP」、「LP」の番組は、そのままではパソコンで見ることができません。画質を「VOD」に変更してご覧ください。
画質を変更すると画質が劣化するため元の画質に戻すことができません。画質を変更する前に、元の画質のままデータを保存することをおすすめします。

DVD ディスクの番組をパソコンで見るときは

DVD-RAM ディスクの番組を見るときは、あらかじめ DVD-RAM ディスクから HDD へダビングします。

HDD へのダビング方法→ 4 章「DVD-RAM から HDD へダビングする」(P.80)

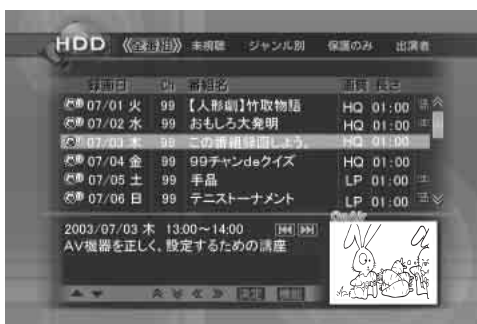
DVD-R ディスクや DVD-RW ディスクの番組を見るときは、DVD ビデオを再生できるパソコンへディスクをセットし、パソコンの DVD 再生ソフトをお使いください。

準 備
- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**
- **受信したテレビ画面を表示させる。**

① [上スクロール] ボタン
② [下スクロール] ボタン
③ [HDD] ボタン
④ [TV] ボタン

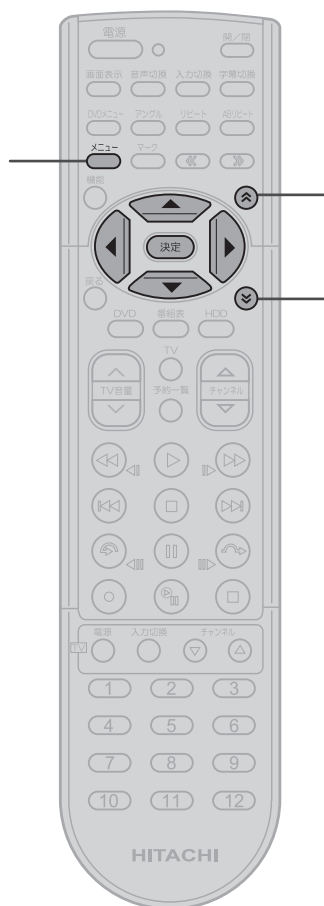
■ 番組の画質を確認する

1 [HDD] ボタンを押す

[HDD<< 全番組 >>] 画面が表示されます。

- **録画した番組が録画日時が新しい順に並んでいます。**
- **予約録画中の番組は、赤い文字で表示されます。**
- **日時とチャンネルを選んで予約した番組では、「番組名」は表示されません。**
- **EPG が取得できない状態で録画した番組では、「番組名」は表示されません。**
- **サブ画面には、テレビ画面で見ていた番組が表示されます。**
- **一覧表の下側を見るときは、[下スクロール] ボタンを押します。表示を戻したいときは、[上スクロール] ボタンを押してください。**

2 パソコンで見る番組の「画質」欄を確認する

- **「HQ」または「SP」「LP」と表示されている番組は、ダビングし、画質を「VOD」に変更してください。**
- **「VOD」と表示されている番組は、ダビングの必要がありません。**

3 [TV] ボタンを押し、テレビ画面に戻る

① [メニュー] ボタン
② [上スクロール] ボタン
③ [下スクロール] ボタン

■ 番組をダビングする

[HDD → HDD] 画面を表示する

1 [メニュー] ボタンを押す
[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「ダビング」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す
[ダビングメニュー] 画面が表示されます。

4 [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、「 HDD → HDD 」を選ぶ

5 [決定] ボタンを押す
[HDD → HDD] 画面が表示されます。

5 パソコンで見る

番組を選ぶ

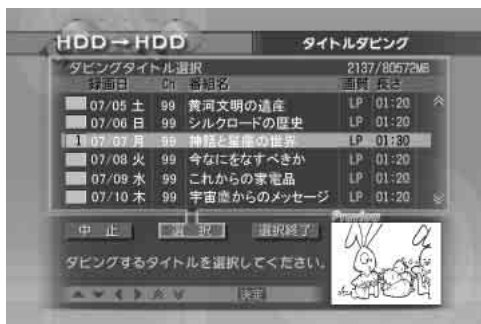
1 **[HDD → HDD] 画面で「タイトルダビング」を選んだ状態で [決定] ボタンを押す**

[ダビングタイトル選択] 画面が表示されます。

- **ダビングを中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押します。**
- **録画した番組が録画日時が新しい順に並んでいます。**
- **日時とチャンネルを選んで予約した番組では、「番組名」は表示されません。**
- **EPG が取得できない状態で録画した番組では、「番組名」は表示されません。**
- **サブ画面には、カーソルで選択されたタイトルが表示されます。**
- **一覧表の下側を見るときは、[下スクロール] ボタンを押します。表示を戻したいときは、[上スクロール] ボタンを押してください。**

2 **[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、ダビングする番組を選ぶ**

3 **[決定] ボタンを押す**

ダビングする番組として登録され、番組の左端に「1」と表示されます。

4 **[←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、「選択終了」を選ぶ**

- **タイトルダビングを中止したいときは、「中止」を選んで [決定] ボタンを押します。**

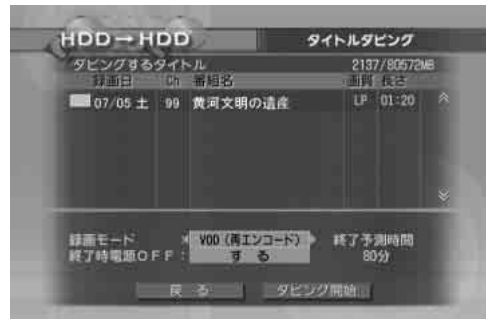
5 **[決定] ボタンを押す**

[ダビングタイトル] 画面が表示されます。

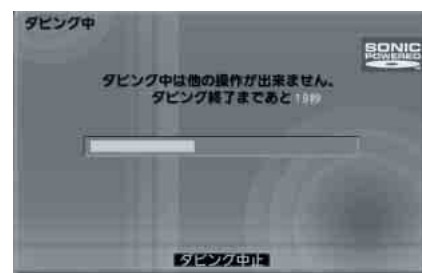
- **ダビングする番組が表示されます。**

ダビングを始める

1 **[タイトルダビング] 画面で [カーソル] ボタンを押し、「録画モード」を選ぶ**

2 **[←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、録画モードを変更する**

3 **[カーソル] ボタンを押し、「ダビング開始」を選ぶ**

4 **[決定] ボタンを押す**

ダビングが開始され、[ダビング中] 画面が表示されます。

モードを切り換える

パソコンで番組を見るときは、MSP1000 をホームストリーミングモードに切り換えます。

準備

- **パソコンと MSP1000 を LAN ケーブルで接続する。**
- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**

電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)

- **受信したテレビ画面を表示させる。**

① [メニュー] ボタン
② TV[電源] ボタン
③ TV[入力切換] ボタン
④ TV[チャンネル] ボタン

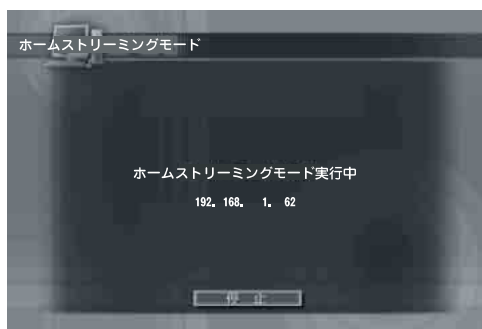
■ ホームストリーミングモードに切り換える

1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「ホームストリーミング」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

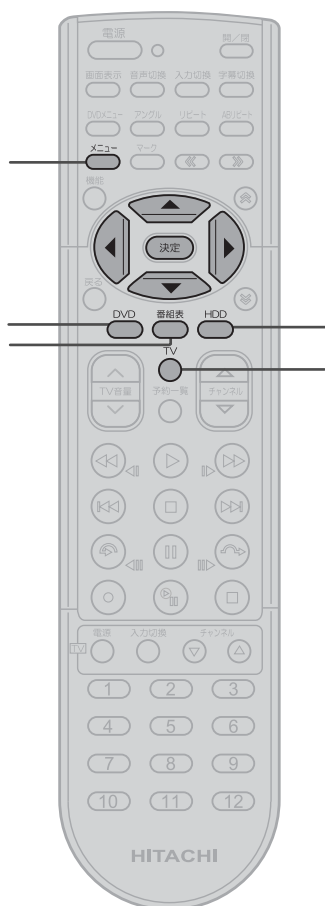
[ホームストリーミング実行中] 画面が表示されます。

4 テレビのチャンネルを変える、または電源を切る

- **MSP1000 の電源は切りません。**

リモコンのボタンについて

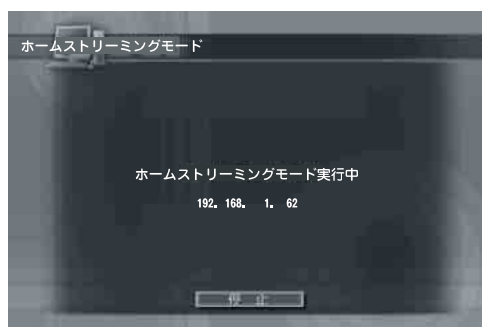
ホームストリーミングモードでは、[HDD]、[DVD]、[TV]、[番組表]、[戻る] などのボタンは使えません。テレビを操作する 4 つのボタンと、[TV音量]ボタン、[電源]ボタンは使うことができます。

録画予約しているときは

録画予約した時刻の 30 秒前にホームストリーミングモードを自動的に解除し、予約した時刻に録画を開始します。

① [メニュー] ボタン
② [DVD] ボタン
③ [番組表] ボタン
④ [HDD] ボタン
⑤ [TV] ボタン

■ ホームストリーミングモードを停止する

録画した番組をテレビで見るときや、録画予約を行うとき、DVD ビデオを見るときなどは、ホームストリーミングモードを停止します。

1 テレビの電源を入れ、[ホームストリーミングモード] 画面を表示させる

2 [決定] ボタンを押す

ホームストリーミングモードが停止し、[TV] 画面が表示されます。

VOD CLIENT で番組を見る

パソコンで番組を見るには、VOD CLIENT を使います。

準 備

- **パソコンと MSP1000 を LAN ケーブルで接続する。**
- **パソコンと MSP1000 の電源を入れる。**

電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)

- **パソコンに VOD CLIENT をセットアップし、設定する。**

セットアップと設定方法→ 5 章「VOD CLIENT を準備する」(P.93)

- **MSP1000 をホームストリーミングモードに切り換える。**

切り換え方法→ 5 章「モードを切り換える」(P.99)

■ VOD CLIENT の各部の名前と働き

① Viewer

ここに番組が表示されます。320 × 240 の縮小表示です。

② [コンパクトモード] ボタン

「録画済ファイルリスト」と「コネクションステータス」を隠すときにクリックします。「Viewer」の大きさを変更できるようになります。元の表示に戻すには、ボタンをもう一度クリックします。

③ [フルスクリーンモード] ボタン

「Viewer」を画面一杯に表示するときにクリックします。元の表示に戻すには、画面をクリックします。

④スライダー

番組の再生位置を示します。早送りや巻き戻しするときにドラッグします。

⑤ [スタート／一時停止] ボタン

番組を再生するときや、再生をいったん停止するときにクリックします。

⑥ [ストップ] ボタン

再生をやめるときにクリックします。

⑦ [ミュート] ボタン

音声を一時的に消すときにクリックします。

⑧音量

音量を調節するときにドラッグします。

⑨コネクションステータス

MSP1000の状態を確認できます。ホームストリーミングモードで動作しているときは、「稼動中」と表示されます。

⑩ [スクリーンショット] ボタン

「 Viewer 」の映像を静止画ファイルとして保存するときにクリックします。

⑪ [設定] ボタン

VOD CLIENTの設定を変更するときにクリックします。

⑫ [?] ボタン

詳しい使いかたを知りたいときにクリックします。

⑬ [ファイル並べ替え] リスト

「録画済ファイルリスト」の並べかたを変更するときに、クリックして選択します。

⑭録画済ファイルリスト

パソコンで見ることができる番組が一覧表示されます。番組名や録画日時などが表示され、ジャンルをアイコンで確認できます。

■番組を見る

再生を始める

VOD CLIENTを使用する前に

VOD CLIENTをご使用になる場合は、他のアプリケーションをすべて終了してください。
他のアプリケーションが立ち上がった状態で使用すると、正しく動作しない場合があります。

1 VOD CLIENTを立ち上げる

立ち上げ方法→5章「VOD CLIENTを立ち上げる」(P.95)

2 「録画済ファイルリスト」から見る番組を選んでクリックする

3 [スタート／一時停止] ボタンをクリックする

選んだ番組が「 Viewer 」に表示され、再生が始まります。

- **「録画済ファイルリスト」の番組をダブルクリックしても再生できます。**

再生をやめる

1 再生中に、[ストップ] ボタンをクリックする

再生が終わります。

- **次に [スタート／一時停止] ボタンをクリックすると、番組が最初から再生されます。**
- **停止した場所から再生を再開したいときは、[ストップ] ボタンではなく、再生中に [スタート／一時停止] ボタンをクリックします。**

2 VOD CLIENTを終了する

終了方法→ 5章「VOD CLIENTを終了する」(P.95)

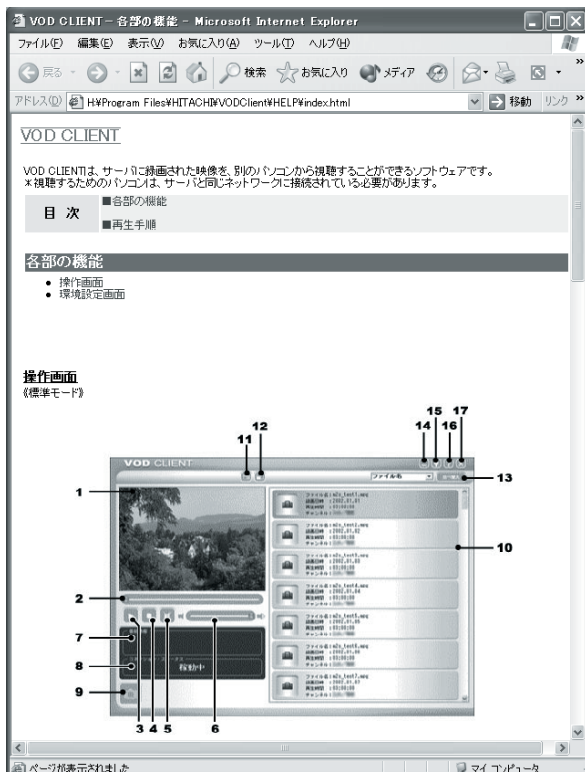
録画予約しているときは

録画予約した時刻の 3 分前に、「コネクションステータス」に「予約 3 分前」と表示されます。VOD CLIENT を終了してください。
そのまま番組を見つづけた場合も、録画予約した時刻の30秒前に自動的に番組の再生が停止します。MSP1000のホームストリーミングモードが解除され、予約した番組の録画が始まります。

■ 詳しい使いかたを知る

VOD CLIENT の詳しい使いかたについては、VOD CLIENT のヘルプをご覧ください。

1 ウィンドウ右上の [?] ボタンをクリックする

Internet Explorer に VOD CLIENT のヘルプが表示されます。

■ VOD CLIENT が動作しないときは

VOD CLIENT を立ち上げてもエラーメッセージが表示され動作しない場合は、次の表を確認して対応してください。

メッセージ	対応方式
サーバーとの接続に失敗しました。ネットワーク機器の接続及び設定 (環境設定のサーバー接続設定を含む) を確認してください。	LAN の環境が正しいか確認します。 ・機器を正しく接続する。 ・接続している機器の電源をすべて入れる。 ・IP　アドレスを正しく設定する。
サーバーとの接続に失敗しました。アプリケーションを終了いたします。ネットワーク機器の接続及び設定を確認し、再度アプリケーションを起動してください。	
サーバー接続設定の値が範囲外です。正しい値を入力してください。 IP:0 〜 255	IP アドレスを正しく設定します。
セッション情報の削除に失敗しました。サーバー管理者又は、他のクライアントに削除を依頼してください。	最大配信数を超えない状態で使用してください。

VOD CLIENT の再生について

表示するタイトルが多い場合は、応答が遅くなり、表示に時間がかかることがあります。接続するパソコンや LAN 環境によっては、コマ落ちや音飛びが発生する場合があります。

6 章　設定する

録画について設定する

ここでは、録画に関する各種設定について説明します。

準 備

- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**
- **受信したテレビ画面を表示させる。**

① [メニュー] ボタン
② [戻る] ボタン

■ [HDD 録画関連] 画面を表示する

設定の変更は、[各種設定] 画面の [HDD 録画関連] 画面から行います。はじめに、[HDD 録画関連] 画面を表示させましょう。

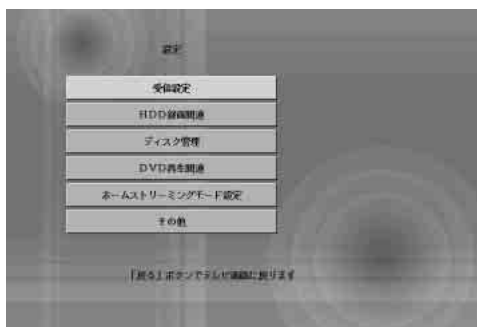
1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「各種設定」を選ぶ

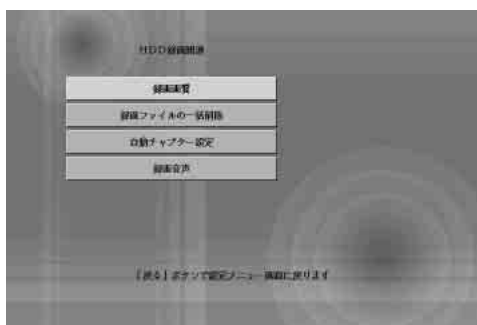
3 [決定] ボタンを押す

[設定] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。**

4 [↓] ボタンを押し、「 HDD 録画関連」を選ぶ

5 [決定] ボタンを押す

[HDD 録画関連] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

① [戻る] ボタン

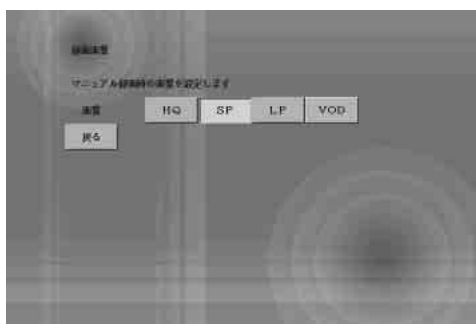
■通常録画時の画質を設定する

通常録画時 (放送中の番組を録画する) の画質を設定します。

1 [HDD 録画関連] 画面で「録画画質」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

[録画画質] 画面が表示されます。

● **設定内容**

「画質」	「 HQ 」: 高画質モード (DVD 相当) 録画時間 = 約 30 時間 「 SP 」: 標準モード (S-VHS 相当) 録画時間 = 約 60 時間 「 LP 」: 長時間モード (VHS 相当) 録画時間 = 約 120 時間 「VOD 」: パソコン視聴モード (S-VHS 相当) 録画時間 = 約 45 時間 初期設定→「 SP 」

2 [←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、設定を変更する

3 [決定] ボタン押す

「戻る」が選ばれた状態になります。

4 「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

「録画画質」が更新され、[HDD 録画関連] 画面に戻ります。

● **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

① [戻る] ボタン

■ HDD の番組をすべて削除する

番組録画や削除を繰り返すうちに、HDD の使用効率は徐々に低下していきます。「録画ファイルの一括削除」を実行すると、HDD をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
ただし、一括削除を実行すると、保護された番組も含め HDD に録画した番組はすべて削除されます。録画した番組を削除してもよいか、事前にお確かめください。

1 **[HDD 録画関連] 画面で [↓] ボタンを押し、「録画ファイルの一括削除」を選ぶ**

2 **[決定] ボタンを押す**

[録画ファイルの一括削除] 画面が表示されます。

3 **「↑」ボタンを押し、「実行」を選ぶ**

● **一括削除を中止したいときは、「戻る」を選んで [決定] ボタンを押します。**

4 **[決定] ボタンを押す**

録画した番組がすべて削除され、終了するとメッセージが表示されます。

[決定] ボタンを押すと中止できません

・「実行」を選択し、[決定] ボタンを押すと中止できません。
・削除を行った場合、録画した番組は、元に戻りません。

5 **[戻る] ボタンを押し、[HDD 録画関連] 画面に戻る**

● **もう一度 [戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

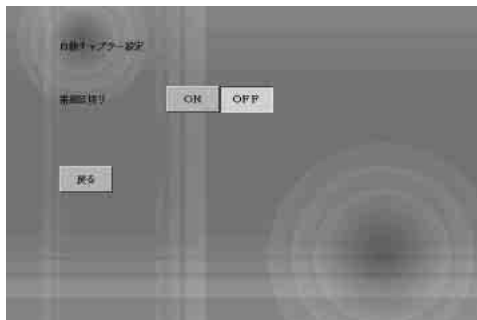
① [戻る] ボタン

■ チャプターマークを自動的に登録する

1 回の録画で複数の番組にまたがって録画を行った場合、その番組と番組の間に、自動的にチャプターマークを登録することができます。自動的に登録させたいときは、次の設定を行ってください。

1 [録画設定] 画面で [↓] ボタンを押し、「自動チャプター設定」を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

[自動チャプター設定] 画面が表示されます。

3 「←」ボタンを押し、「 ON 」を選ぶ

4 [決定] ボタンを押す

「戻る」が選ばれた状態になります。

5 「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

「自動チャプター設定」が更新され、[HDD 録画関連] 画面に戻ります。

● **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

① [戻る] ボタン

■ 音声多重放送を録画する

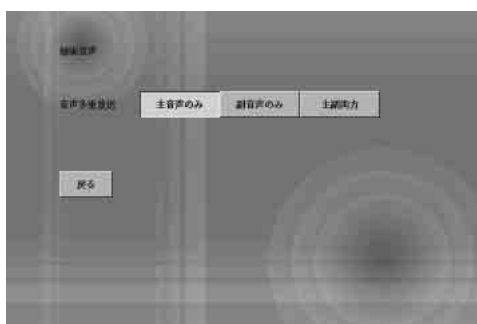
お買い上げ時の設定では、音声多重放送を録画する際に主音声 (通常は日本語) のみを録音します。主音声と副音声を両方録音したいときや、副音声のみを録音したいときは、次の設定を行ってください。

1 [HDD 録画関連] 画面で [↓] ボタンを押し､｢録画音声｣を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

[録画音声設定] 画面が表示されます。

● **設定内容**

｢音声多重放送｣	｢主音声のみ｣ : 主音声 (通常は日本語) のみを録音する ｢副音声のみ｣ : 副音声 (通常は外国語) のみを録音する ｢主副両方｣ : 主音声と副音声を両方とも録音する **初期設定→｢主音声のみ｣**

3 [←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、設定を変更する

4 [決定] ボタンを押す

｢戻る｣が選ばれた状態になります。

5 ｢戻る｣を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

｢自動チャプター設定｣が更新され、[HDD 録画関連] 画面に戻ります。

● **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

主音声と副音声の両方とも録音したときは

「音声多重放送」の設定を「主副両方」に設定して録画した番組から DVD ビデオを作成した場合、再生時に主音声と副音声が同時に出力されます。
通常は、「主音声のみ」または「副音声のみ」のどちらか一方に設定してください。

DVD ディスクをフォーマット (初期化) する

ここでは、DVD-RAM ディスクや DVD-RW ディスクをフォーマットする方法について説明します。

準 備
- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**
- **受信したテレビ画面を表示させる。**

① [メニュー] ボタン
② [戻る] ボタン

■ [ディスク管理関連] 画面を表示する

DVD ディスクのフォーマットは、[設定] 画面の [ディスク管理] 画面から行います。はじめに、[ディスク管理] 画面を表示させましょう。

1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「各種設定」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

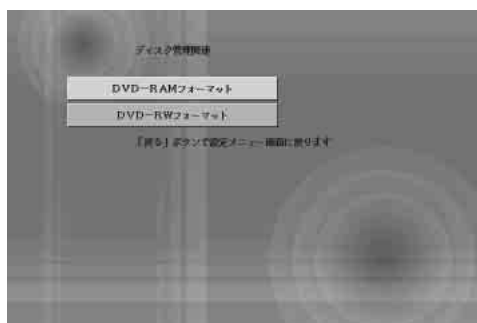
[設定] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。**

4 [↓] ボタンを押し、「ディスク管理」を選ぶ

5 [決定] ボタンを押す

[ディスク管理関連] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

① [戻る] ボタン

■ DVD-RAM ディスクをフォーマットする

MSP1000 で DVD-RAM ディスクを使用し、番組をダビングする場合、ディスクをお買い上げ時は、DVD-RAM ディスクをフォーマット (初期化) する必要があります。番組のダビングや削除を繰り返すうちに、DVD-RAM ディスクの使用効率は徐々に低下していきます。DVD-RAM ディスクをフォーマットすることにより、効率よくお使いください。
ただし、フォーマットすると、保護された番組も含め DVD-RAM ディスクに録画した番組はすべて削除されます。録画した番組を削除してもよいか、事前にお確かめください。

1 **ディスクトレイにディスクをセットします**

2 **[ディスク管理関連] 画面で「 DVD-RAM フォーマット」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す**

[DVD-RAM フォーマット] 画面が表示されます。

3 **「↑」ボタンを押し、「実行」を選ぶ**

- **フォーマットを中止したいときは、「戻る」を選んで [決定] ボタンを押します。**

4 **[決定] ボタンを押す**

フォーマットが終了するとメッセージが表示されます。

[決定] ボタンを押すと中止できません

「実行」を選択し、[決定] ボタンを押すと中止できません。

5 **[戻る] ボタンを押し、[ディスク管理関連] 画面に戻る**

- **もう一度 [戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

DVD-RAM ディスクをフォーマット（初期化）するときは

DVD-RAM ディスクをフォーマットするときは、MSP1000 で行ってください。パソコンなどでフォーマットした DVD-RAM ディスクは使用できない場合があります。フォーマット形式は、UDF Ver1.5 になります。

ディスクのフォーマットについて

ディスクのフォーマットに、時間がかかる場合があります。

■ DVD-RW ディスクをフォーマットする

MSP1000 で DVD-RW ディスクを使用し、番組をダビングする場合、ディスクをお買い上げ時は、DVD-RW ディスクをフォーマット（初期化）する必要があります。DVD-RW ディスクをフォーマットすることにより、ダビングした番組をすべて削除することができます。ただし、すべての番組を削除してもよいか、事前にお確かめください。

① [戻る] ボタン

1 ディスクトレイにディスクをセットします

2 [ディスク管理関連] 画面で [↓] ボタンを押し、「 DVD-RW フォーマット」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

[DVD-RW フォーマット] 画面が表示されます。

4 「↑」ボタンを押し、「実行」を選ぶ

- **フォーマットを中止したいときは、「戻る」を選んで [決定] ボタンを押します。**

5 [決定] ボタンを押す

フォーマットが終了するとメッセージが表示されます。

[決定] ボタンを押すと中止できません

「実行」を選択し、[決定] ボタンを押すと中止できません。

6 [戻る] ボタンを押し、[ディスク管理関連] 画面に戻る

- **もう一度 [戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

ディスクのフォーマットについて

ディスクのフォーマットに、時間がかかる場合があります。

DVD ビデオの再生について設定する

ここでは、DVD ビデオの再生に関する各種設定について説明します。

準 備

- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**
- **受信したテレビ画面を表示させる。**

① [メニュー] ボタン
② [戻る] ボタン

■ [DVD 再生関連] 画面を表示する

設定の変更は、[設定] 画面の [DVD 再生関連] 画面から行います。はじめに、[DVD 再生関連] 画面を表示させましょう。

1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「各種設定」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

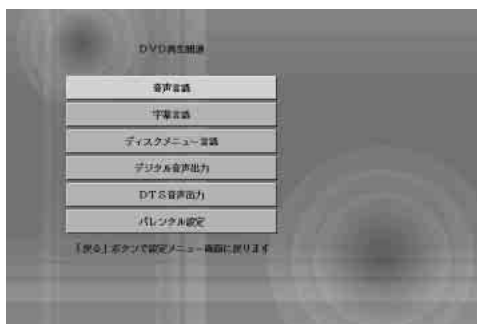
[設定] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。**

4 [↓] ボタンを押し、「 DVD 再生関連」を選ぶ

5 [決定] ボタンを押す

[DVD 再生関連] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

① [戻る] ボタン
② [数字] ボタン

■ 視聴制限を設定する

視聴制限レベルが記録されている DVD ビデオの場合、暴力シーンなどお子様に見せたくない場面を飛ばして再生することができます。

1 **[DVD 再生関連] 画面で [↓] ボタンを押し、「パレンタル設定」を選ぶ**

2 **[決定] ボタンを押す**

[パレンタル設定] 画面が表示されます。

● **初期設定は、設定されていない状態です。**

3 **[数字] ボタンで 4 桁の「暗証番号」を入力する**

「暗証番号」がチェックされ、「レベル」が設定できるようになります。はじめて入力する場合は、「暗証番号」が登録されます。

数字の入力について

数字を入力するときは、[11] ボタンが "0" に対応しています。なお、[10] ボタン、[12] ボタンは使用しません。

4 **[←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、0 ～ 8 のお好みのレベルを選ぶ**

● **項目を移動したいときは、[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押してください。**
● **「暗証番号」を変えたいときは、[↓] ボタンを押し、「暗証番号変更」を選んで [決定] ボタンを押してください。新しい番号が入力できるようになります。**
● **US パレンタルレベルについては設定できません。**

5 **[決定] ボタンを押す**

「レベル」が変更され、「戻る」が選ばれた状態になります。

6 **「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す**

「パレンタル設定」が更新され、[DVD 再生関連] 画面に戻ります。

● **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

暗証番号を忘れたときは

[工場出荷時設定] 画面で、MSP1000 の設定をお買い上げ時の状態に戻してください。

📖 **設定をお買い上げ時の状態に戻す→ 6 章「お買い上げ時の設定に戻す」(P.119)**

① [戻る] ボタン

■ 音声出力について設定する

お使いのアンプがドルビーデジタル方式または DTS 方式に対応している場合、アンプのデジタル入力端子に MSP1000 を接続し、音声出力について設定すると、よりクリアで厚みのある音声で DVD ビデオを楽しめるようになります。

デジタル音声出力を可能にする

ドルビーデジタル方式や DTS 方式など、デジタル音声に対応したアンプをお使いの場合に設定できます。非対応アンプをお使いの場合、初期設定 (PCM) から変更しないでください。

1 [DVD 再生関連] 画面で [↓] ボタンを押し、「デジタル音声出力」を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

[デジタル音声出力] 画面が表示されます。

● **初期設定は「 PCM 」です。**

3 [→] ボタンを押し、「ビットストリーム」を選ぶ

4 [決定] ボタンを押す

出力形式が変更され、「戻る」が選ばれた状態になります。

5 「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

「デジタル音声出力」が更新され、[DVD 再生関連] 画面に戻ります。

● **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

ドルビーデジタル音声について

アナログ出力 (PCM 出力) とドルビーデジタル出力 (ビットストリーム出力) を同時に出力することはできません。

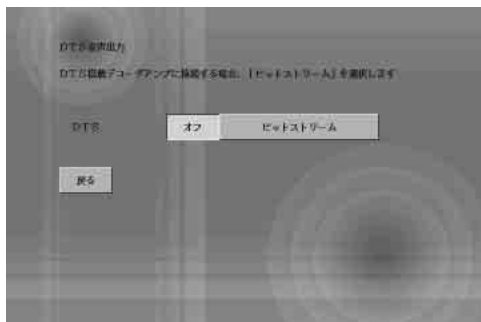
DTS 音声出力を可能にする

DTS 方式に対応したアンプをお使いの場合に設定できます。非対応アンプをお使いの場合、初期設定 (オフ) から変更しないでください。

1 [DVD再生関連]画面で[↓]ボタンを押し、「DTS音声出力」を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

[DTS 音声出力設定] 画面が表示されます。

- **初期設定は「オフ」です。**

3 [→] ボタンを押し、「ビットストリーム」を選ぶ

4 [決定] ボタンを押す

DTS 出力が変更され、「戻る」が選ばれた状態になります。

5 「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

「DTS 音声出力」が更新され、[DVD 再生関連] 画面に戻ります。

- **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

DTS 音声出力について

DTS 音声出力をするには、DTS 音声に対応した DVD タイトルが必要です。また、DVD タイトルの音声チャンネルを DTS に設定する必要があります。詳細については、ご購入された DVD タイトルをご参照ください。

DTS 音声出力をするには、[デジタル音声出力] 画面でも、「ビットストリーム」を選択する必要があります。

設定について→ 6 章「デジタル音声出力を可能にする」(P.116)

---

① [戻る] ボタン

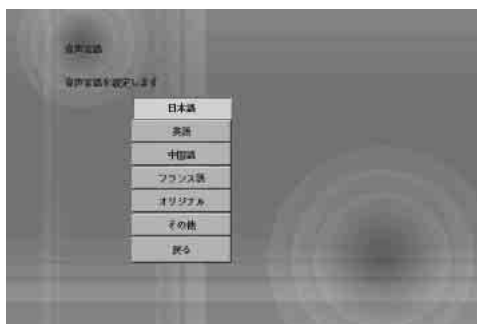
■ 言語について設定する

DVD ビデオの音声、字幕、DVD メニューの言語をそれぞれ変更できます。

音声の言語を変更する

1 **[DVD 再生関連] 画面で「音声言語」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す**

[音声言語] 画面が表示されます。

● **初期設定は「日本語」です。**

2 **[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、言語を選ぶ**

● **選びたい言語が表示されないときは、「その他」を選んで [決定] ボタンを押します。別の言語が表示されます。**

3 **[決定] ボタンを押す**

音声言語が変更され、「戻る」が選ばれた状態になります。

4 **「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す**

「音声言語」が更新され、[DVD 再生関連] 画面に戻ります。

● **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

字幕と DVD メニューの言語を変更する

前の「音声の言語を変更する」と同じ方法で変更できます。
字幕の言語を変更するときは、[DVD 再生関連] 画面で「字幕言語」を選びます。
DVD メニューの言語を変更するときは、[DVD 再生関連] 画面で「ディスクメニュー言語」を選びます。

音声言語について

ディスクによっては、あらかじめディスクで設定された音声言語が優先される場合があります。

お買い上げ時の設定に戻す

ここでは、MSP1000 の設定をお買い上げ時の状態に戻す方法について説明します。

準 備
- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**
- **受信したテレビ画面を表示させる。**

① [メニュー] ボタン
② [戻る] ボタン

1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「各種設定」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

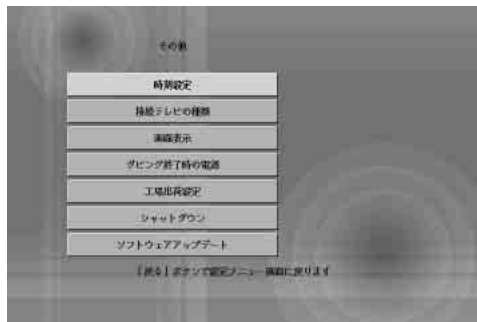
[設定] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。**

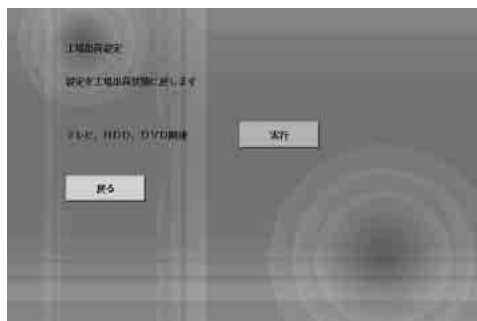
4 [↓] ボタンを押し、「その他」を選ぶ

5 [決定] ボタンを押す

[その他] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

6 [↓] ボタンを押し、「工場出荷設定」を選ぶ

7 [決定] ボタンを押す

[工場出荷設定] 画面が表示されます。

8 「↑」ボタンを押し、「実行」を選ぶ

- **中止したいときは、「戻る」を選んで [決定] ボタンを押します。**

9 [決定] ボタンを押す

「戻る」が選ばれた状態になります。

10「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

MSP1000 の設定がお買い上げ時の状態に戻り、[その他設定] 画面に戻ります。

- **[設定] 画面の「受信設定」「録画関連」「DVD 再生関連」「その他」で設定する項目すべてが、初期設定の状態になります。また、録画予約をすべて取り消します。HDD に録画された番組は削除されません。**
- **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

電源プラグを抜く前の操作

MSP1000 の電源プラグをコンセントから抜く場合は、その前に次の「シャットダウン」を行ってください。

準 備

- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**

  📖 **電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)**
- **受信したテレビ画面を表示させる。**

① [メニュー] ボタン
② [戻る] ボタン

1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「各種設定」を選ぶ

3 [決定] ボタンを押す

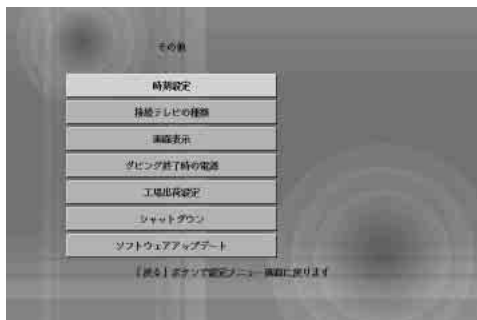
[設定] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。**

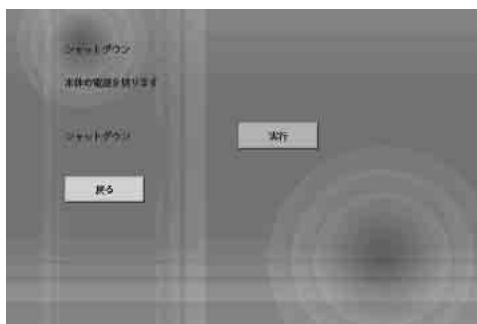
4 [↓] ボタンを押し、「その他」を選ぶ

5 [決定] ボタンを押す

[その他] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

6 [↓] ボタンを押し、「シャットダウン」を選ぶ

7 [決定] ボタンを押す

[シャットダウン] 画面が表示されます。

8 「↑」ボタンを押し、「実行」を選ぶ

- **中止したいときは、「戻る」を選んで [決定] ボタンを押します。**

9 ［決定］ボタンを押す

「シャットダウン」処理が始まります。シャットダウン処理が完了するまで、3 分以上お待ちください。

10 処理が終了したら、コンセントから電源プラグを抜く

- **シャットダウン処理を行うと、EPG は取得できません。**

3 分以上待ってから、電源プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、シャットダウン処理が始まったあと、3 分以上たってから行ってください。

電源プラグを抜いたあと、再び差し込むときは

電源プラグをコンセントから抜いて、再び差し込むときは、10 秒以上たってから行ってください。

7 章　接続する

アンテナとテレビを接続する

VHF/UHFアンテナ

アンテナケーブル（同梱品）

電源コード（同梱品）重要3

D端子ケーブル 重要2

AVケーブル（同梱品）

S映像ケーブル 重要1

同軸ケーブル

テレビ

⚠警告

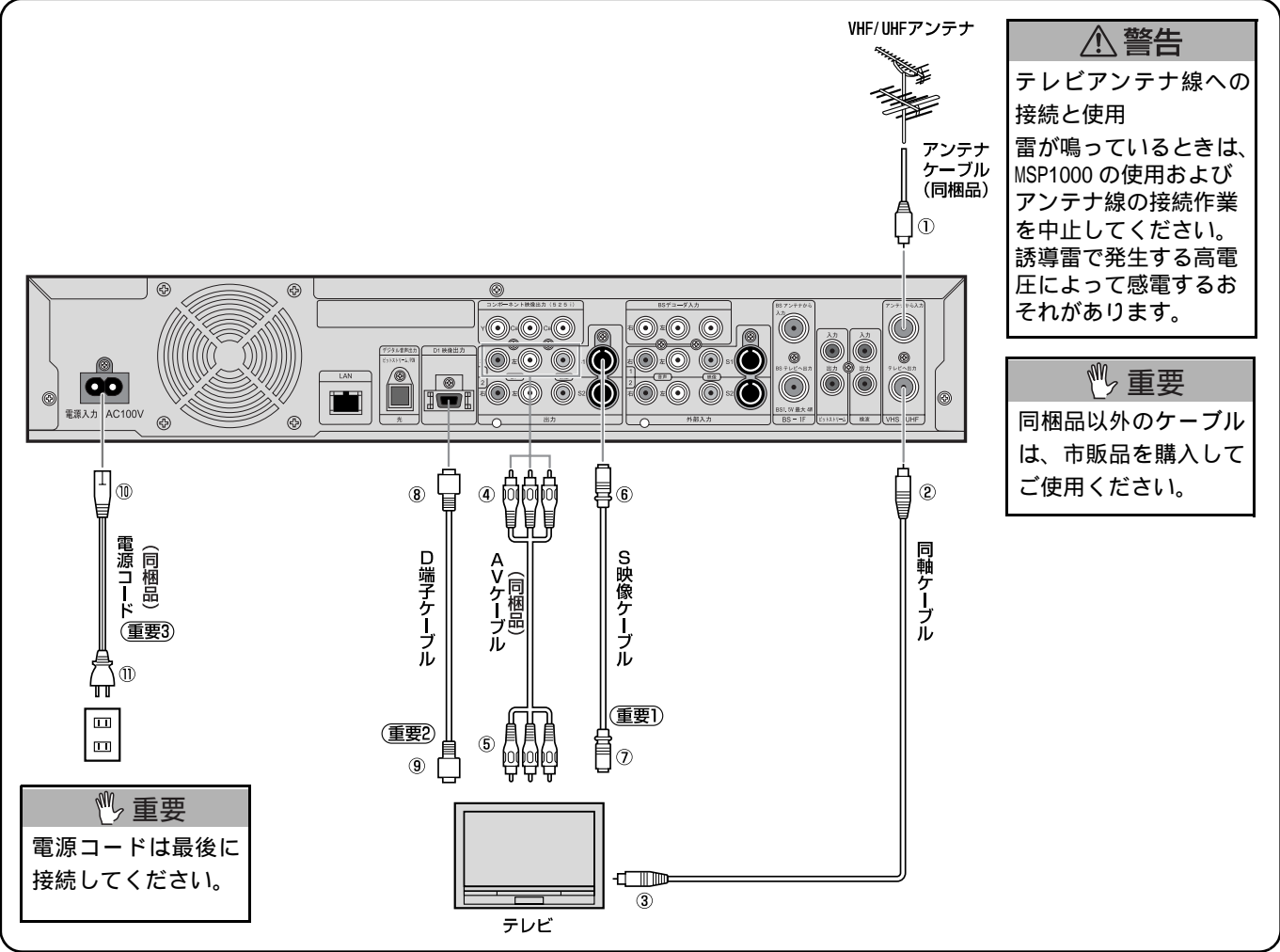
テレビアンテナ線への接続と使用

雷が鳴っているときは、MSP1000の使用およびアンテナ線の接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

重要

同梱品以外のケーブルは、市販品を購入してご使用ください。

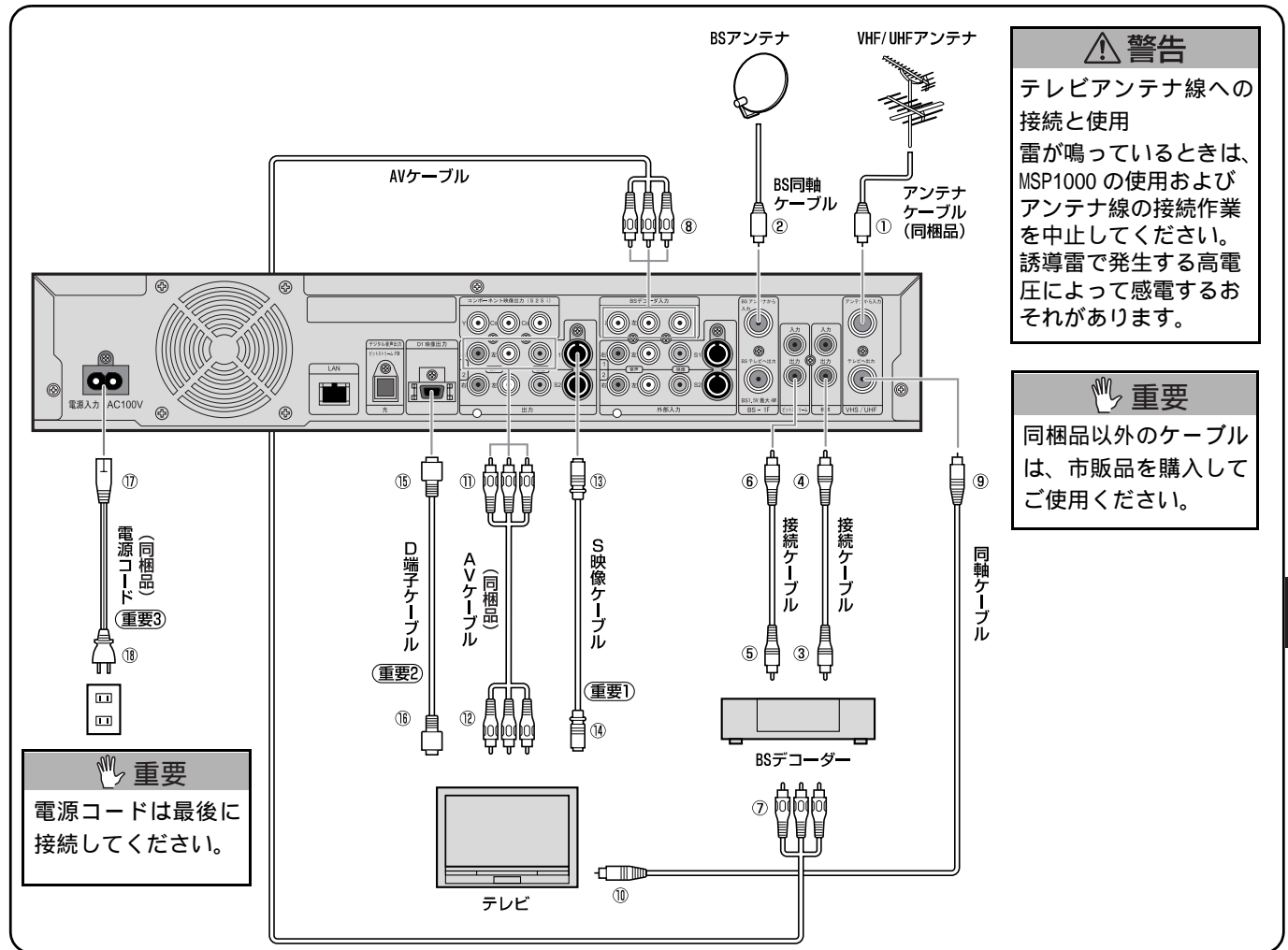
重要

電源コードは最後に接続してください。

① VHF/UHF 入力端子へ
② VHF/UHF 出力端子へ
③ VHF/UHF アンテナ入力端子へ
④ 映像／音声出力端子へ
⑤ ビデオ入力 (映像／音声) 端子へ
⑥ S 映像出力端子へ
⑦ ビデオ入力 (S 映像) 端子へ
⑧ D1 映像出力端子へ
⑨ D1 映像入力端子へ
⑩ 電源入力へ
⑪ ご家庭の電源コンセントへ

1.テレビに S 映像入力端子がある場合、市販の S 映像ケーブルで接続してください。より高画質の映像が楽しめます。
2.テレビに D1 映像入力端子がある場合、⑧ - ⑨ (D1 映像) を接続してください。
3.電源プラグをコンセントから抜くときは、あらかじめ「シャットダウン」を行ってください。

シャットダウン→ 6 章「電源プラグを抜く前の操作」(P.121)

BS デコーダーを接続する

■ BS チューナーを内蔵していないテレビと接続する

BSアンテナ　VHF/UHFアンテナ

AVケーブル　⑧　BS同軸ケーブル ②　アンテナケーブル（同梱品）①

電源入力 AC100V

⑰ 電源コード（同梱品）重要3 ⑱

⑮ D端子ケーブル 重要2 ⑯

⑪ AVケーブル（同梱品）⑫

⑬ S映像ケーブル 重要1 ⑭

⑥ 接続ケーブル ⑤　④ 接続ケーブル ③

⑨ 同軸ケーブル

BSデコーダー　⑦

テレビ　⑩

⚠警告

テレビアンテナ線への接続と使用

雷が鳴っているときは、MSP1000 の使用およびアンテナ線の接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

重要

同梱品以外のケーブルは、市販品を購入してご使用ください。

重要

電源コードは最後に接続してください。

① VHF/UHF 入力端子へ

② BS-IF 入力端子へ

③ 検波入力端子へ

④ 検波出力端子へ

⑤ ビットストリーム入力端子へ

⑥ ビットストリーム出力端子へ

⑦ BS デコーダー出力（映像／音声）端子へ

⑧ BS デコーダー入力（映像／音声）端子へ

⑨ VHF/UHF 出力端子へ

⑩ VHF/UHF アンテナ入力端子へ

⑪ 映像／音声出力端子へ

⑫ ビデオ入力 (映像／音声) 端子へ

⑬ S 映像出力端子へ

⑭ ビデオ入力 (S 映像) 端子へ

⑮ D1 映像出力端子へ

⑯ D1 映像入力端子へ

⑰ 電源入力へ

⑱ ご家庭の電源コンセントへ

1. テレビに S 映像入力端子がある場合、市販の S 映像ケーブルで接続してください。より高画質の映像が楽しめます。
2. テレビに D1 映像入力端子がある場合、⑮ - ⑯ (D1 映像) を接続してください。
3. 電源プラグをコンセントから抜くときは、あらかじめ「シャットダウン」を行ってください。

📖 **シャットダウン→ 6 章「電源プラグを抜く前の操作」(P.121)**

■ BS チューナー内蔵テレビと接続する

BSアンテナ
VHF/UHFアンテナ
AVケーブル
⑳
BS同軸ケーブル ②
アンテナケーブル(同梱品) ①
電源入力 AC100V
㉓ 電源コード(同梱品) 重要3 ㉔
⑰ D端子ケーブル 重要2 ⑱
⑬ AVケーブル(同梱品) ⑭
⑮ S映像ケーブル 重要1 ⑯
㉑ 接続ケーブル ㉒
⑪ 接続ケーブル ⑫
⑨ 接続ケーブル ⑩
⑥ 接続ケーブル ⑤
④ 接続ケーブル ③
⑦ 同軸ケーブル ⑧
テレビ
BSデコーダー
⑲

⚠警告

テレビアンテナ線への接続と使用

雷が鳴っているときは、MSP1000 の使用およびアンテナ線の接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

重要

同梱品以外のケーブルは、市販品を購入してご使用ください。

重要

電源コードは最後に接続してください。

① VHF/UHF 入力端子へ
② BS-IF 入力端子へ
③ 検波入力端子へ
④ 検波出力端子へ
⑤ ビットストリーム入力端子へ
⑥ ビットストリーム出力端子へ
⑦ VHF/UHF 出力端子へ
⑧ VHF/UHF アンテナ入力端子へ
⑨ ビットストリーム入力端子へ
⑩ ビットストリーム出力端子へ
⑪ 検波入力端子へ
⑫ 検波出力端子へ
⑬ 映像／音声出力端子へ
⑭ ビデオ入力 (映像／音声) 端子へ
⑮ S 映像出力端子へ
⑯ ビデオ入力 (S 映像) 端子へ
⑰ D1 映像出力端子へ
⑱ D1 映像入力端子へ
⑲ BS デコーダー出力 (映像／音声) 端子へ
⑳ BS デコーダー入力 (映像／音声) 端子へ
㉑ BS-IF 出力端子へ
㉒ BS-IF 入力端子へ
㉓ 電源入力へ
㉔ ご家庭の電源コンセントへ

1. テレビに S 映像入力端子がある場合、市販の S 映像ケーブルで接続してください。より高画質の映像が楽しめます。
2. テレビに D1 映像入力端子がある場合、⑰ - ⑱ (D1 映像) を接続してください。
3. 電源プラグをコンセントから抜くときは、あらかじめ「シャットダウン」を行ってください。

シャットダウン→ 6 章「電源プラグを抜く前の操作」(P.121)

リモコンを準備する

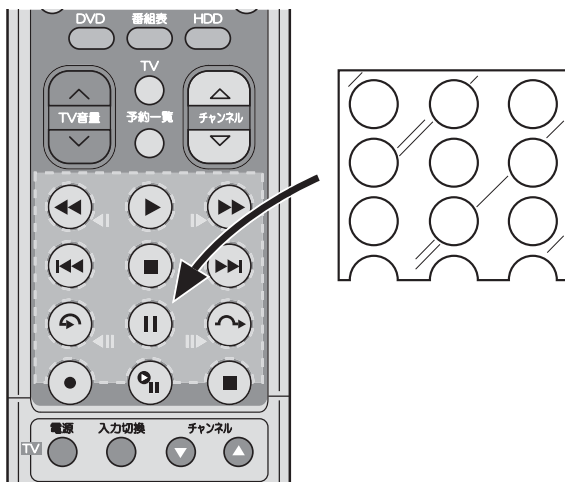
リモコンに電池をセットし、MSP1000 やテレビを操作できるようにします。

準 備
● テレビの電源を入れる。

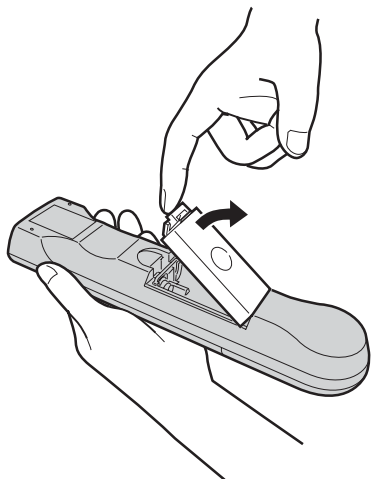
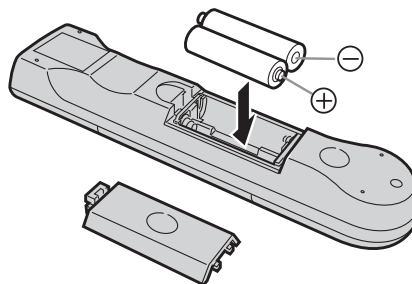
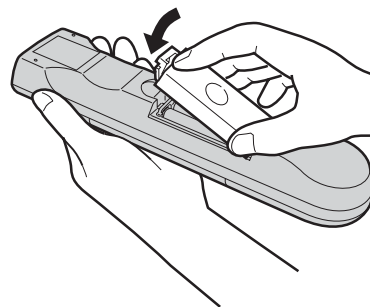
■ ボタン名のシールをはる

付属の「リモコン用シール」を、リモコンにはり付けます。

1 「リモコン用シール」からボタン名のシールをはがす

2 はり付ける位置を確認し、リモコンにシールをはる

ボタンの位置の確認→ 「リモコン」(P.18)

■ リモコンに電池を入れる

1 リモコン背面のふたに指をかけて開ける

2 単 3 電池 2 本 (付属) を正しく入れる

3 リモコン背面のふたを閉じる

警告

電池の＋と－は正しく入れてください。＋と－を間違えて入れると、電池の発熱によるやけどや、液漏れによる周囲破損の原因になります。
指定外の電池を使ったり、新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使ったりしないでください。電池の発熱によるやけどや、液漏れによる周囲破損の原因になります。

正しい乾電池を使用してください

アルカリ乾電池またはマンガン乾電池を使用してください。ニッカド電池などは使用しないでください。故障するおそれがあります。

① [TV] ボタン
② [TV 音量] ボタン
③ TV[電源] ボタン
④ TV[入力切換] ボタン
⑤ TV[チャンネル] ボタン
⑥ [数字] ボタン

■ リモコンでテレビを操作できるようにする

付属のリモコンで、テレビを操作できるようになります。1985 年以降に発売された日立製ワイヤレスリモコン対応テレビのほとんどが操作できます。また、日立製以外の 10 社のテレビも操作できます。

1 [TV] ボタンを押しながら、1 から 9 の [数字] ボタンでテレビコードを入力する

- **日立のテレビコードを設定するときは、[TV] ボタンを押しながら、[1]、[1] と押してください。**

- **テレビコード一覧**

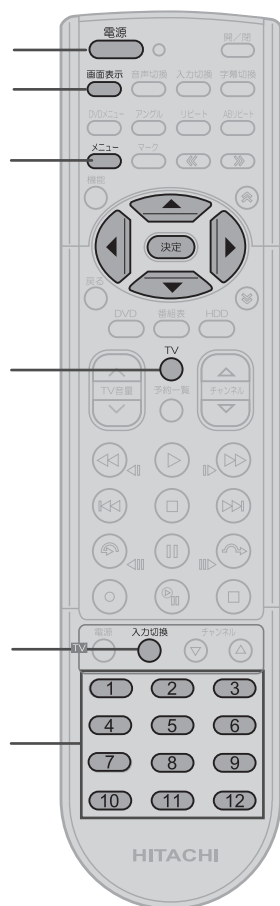
メーカー	テレビコード
日立	11
松下 A	12
松下 B	13
ビクター	14
ソニー	15
東芝	16
三菱	17
サンヨー A	18
サンヨー B	19
シャープ A	21
シャープ B	22
富士通ゼネラル	23
NEC	24
パイオニア	25

- **松下とシャープは A と B の両方のコードを試し、TV[電源] ボタンが正しく動作するほうのコードを使ってください。サンヨーは A と B の両方のコードを試し、TV[チャンネル] ボタンが正しく動作するコードを使ってください。**

2 リモコンをテレビに向けて TV[電源] ボタンを押す

テレビの電源が切れれば、このリモコンでテレビの操作ができます。

3 リモコンをテレビに向けて、テレビ専用のボタンを押す

- **TV[電源] ボタン、TV[入力切換] ボタン、TV[チャンネル] ボタン、[TV 音量] ボタンが使えます。**
- **[数字] ボタンで、テレビのチャンネルは選べません。**

① [電源] ボタン
② [画面表示] ボタン
③ [メニュー] ボタン
④ [TV] ボタン
⑤ TV[入力切換] ボタン
⑥ [数字] ボタン

■ テレビに MSP1000 の画面を表示させる

1 付属のリモコンで [電源] ボタンを押す

MSP1000 の電源が入ります。

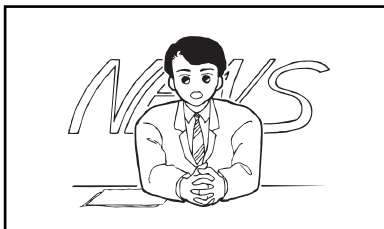
2 TV[入力切換] ボタンを何度か押し、テレビの入力を MSP1000 の画面に切り換える

[メニュー] ボタンを押すと、[メニュー] 画面が表示されます。

- **テレビのビデオ入力 1 端子に接続しているときは、「ビデオ 1」を選ぶなど MSP1000 を接続した入力に切り換えてください。**
- **付属のリモコンでテレビを操作できないときは、テレビのリモコンで操作してください。**

3 「 TV 」ボタンを押す

MSP1000 が受信したテレビ画面が表示されます。

- **[カーソル] ボタンを押し、「 TV 」を選んで [決定] ボタンを押しても、テレビ画面を表示できます。**

4 [画面表示] ボタンを押し、MSP1000 の画面に切り換わっているか確かめる

MSP1000 の画面に切り換わっていれば、テレビ画面に番組情報が表示されます。

5 [画面表示] ボタンを何度か押し、番組情報を消す

リモコンの有効ボタン

テレビ視聴中は、[チャンネル] ボタンおよび、[数字] ボタンによるチャンネルの切り換えが可能です。ただし、HDD 画面や番組表の小画面でテレビ視聴中は、[チャンネル] ボタンのみチャンネル切り換えが可能です。

日時とテレビを設定する

MSP1000 を使い始める前に、日付と時刻を設定し、お使いになるテレビの種類を設定します。

準 備

- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**

  📖 **電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)**
- **MSP1000 を接続した外部入力 (ビデオ 1 など) を選び、受信したテレビ画面をテレビに表示させる。**

① [メニュー] ボタン
② [戻る] ボタン

■ [その他] 画面を表示する

日時やテレビの設定は、[設定] 画面の [その他] 画面から行います。はじめに、[その他] 画面を表示させましょう。

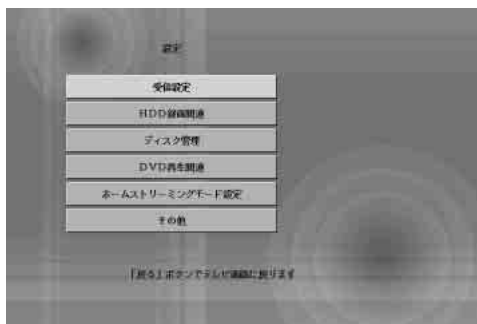
1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「各種設定」を選ぶ

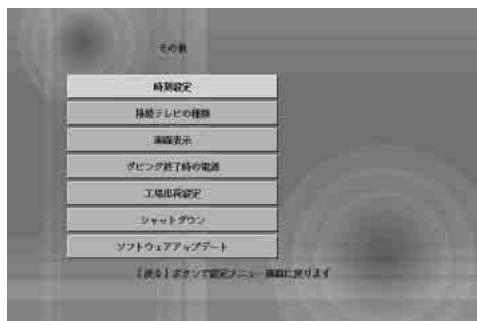
3 [決定] ボタンを押す

[設定] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。**

4 [↓] ボタンを押し、「その他」を選ぶ

5 [決定] ボタンを押す

[その他] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

① [戻る] ボタン

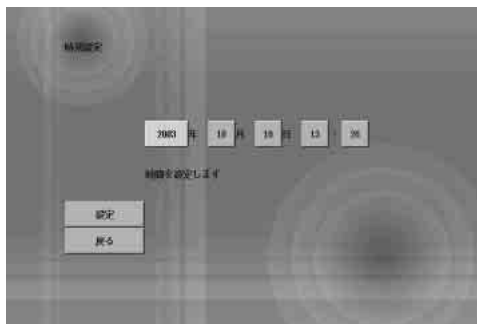
■ 日付と時刻を設定する

録画予約を正しく実行させるため、日付と時刻はかならず合わせてお使いください。

1 [その他] 画面で「時刻設定」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

[時刻設定] 画面が表示されます。

● **設定内容**

「年月日」	今日の日付
「時刻」	現在の時刻

2 [↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押し、設定を変更する

● **項目を移動したいときは、[←] ボタンまたは [→] ボタンを押してください。**

3 [→] ボタンを押し、「設定」を選ぶ

4 [決定] ボタンを押す

「時間設定」が更新され、「戻る」が選ばれた状態になります。

5 「戻る」を選んだ状態で [決定] ボタンを押し、[その他] 画面に戻る

● **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

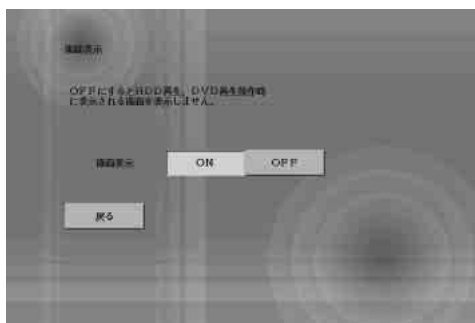
① [戻る] ボタン

■ 画面表示情報の表示 / 非表示を設定する

1 [その他] 画面で「画面表示」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

[画面表示] 画面が表示されます。

● **設定内容**

「ON」	番組視聴中の「画面表示情報」を表示する
「OFF」	「画面表示情報」を表示しない

2 [←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、設定を変更する

3 [決定] ボタンを押す

「戻る」が選ばれた状態になります。

4 「戻る」を選んだ状態で [決定] ボタンを押し、[その他] 画面に戻る

● **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

① [戻る] ボタン

■ ダビングが終了したとき、自動で電源を切る

1 [その他] 画面で「ダビング終了時の電源」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

[ダビング終了時の電源] 画面が表示されます。

● **設定内容**

「ON」	初期値を「ダビング終了時は ON のまま終了」に設定する
「OFF」	初期値を「ダビング終了時は自動電源 OFF」に設定する

● **ここで設定された初期値は、ダビングを行うときに初期値として表示されます。ダビング開始時に「ON のまま終了 / 自動電源 OFF」を設定できます。**

2 [←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、設定を変更する

3 [決定] ボタンを押す

「戻る」が選ばれた状態になります。

4 「戻る」を選んだ状態で [決定] ボタンを押し、[その他] 画面に戻る

● **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

① [戻る] ボタン

■ 接続するテレビを設定する

接続するテレビに合わせて設定してください。

1 **[その他] 画面で [↓] ボタンを押し、「接続テレビの種類」を選ぶ**

2 **[決定] ボタンを押す**

[接続テレビの種類] 画面が表示されます。

● **設定内容**

「接続テレビ」	接続しているテレビのタイプ 初期設定→「4:3」
「映像種別」	外部機器への映像出力 初期設定→「L.BOX」

3 **[←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、設定を変更する**

● **項目を移動したいときは、[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押してください。**

● **「映像種別」には、[L.BOX]、[Pan Scan] があります。**

「接続テレビ」で、「16：9」を選んだときは

「接続テレビ」で [16：9] を選択した場合、「映像種別」で [L.BOX] または [Pan Scan] を選択しても効果は同じです。

4 **[決定] ボタンを押す**

「戻る」が選ばれた状態になります。

5 **「戻る」を選んだ状態で [決定] ボタンを押し、[その他] 画面に戻る**

● **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

映像種別について

4：3 テレビをお使いの場合に、16：9 の映像をどのように表示するか設定します。

・「L.BOX」：16:9 の映像の上下に黒い帯を入れた 4：3 の映像を視聴できる

・「Pan Scan」：16:9 の映像の左右をカットした 4：3 の映像を視聴できる

映像によっては表示形式を制限したものがあり、設定どおりに動作しない場合があります。

チャンネルを設定する

受信チャンネルや BS 受信チャンネルを設定し、放送局からの電波を正しく受信できるようにします。

準 備

- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**

電源の入れ方→ 1 章「電源を入れる」(P.21)

- **受信したテレビ画面を表示させる。**

① [メニュー] ボタン
② [戻る] ボタン

■ [受信設定] 画面を表示する

チャンネルの設定は、[設定] 画面の [受信設定] 画面から行います。はじめに、[受信設定] 画面を表示させましょう。

1 [メニュー] ボタンを押す

[メニュー] 画面が表示されます。

2 [カーソル] ボタンを押し、「各種設定」を選ぶ

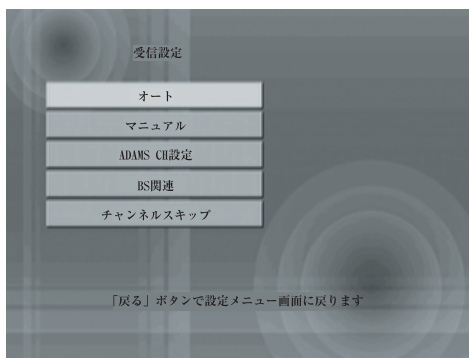
3 [決定] ボタンを押す

[設定] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、テレビ画面に戻ります。**

4 「受信設定」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

[受信設定] 画面が表示されます。

- **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

■ 受信チャンネルを設定する

受信チャンネルは、自動または手動で設定します。通常は、便利な自動設定をご利用ください。

地域を選んでチャンネルを自動設定する

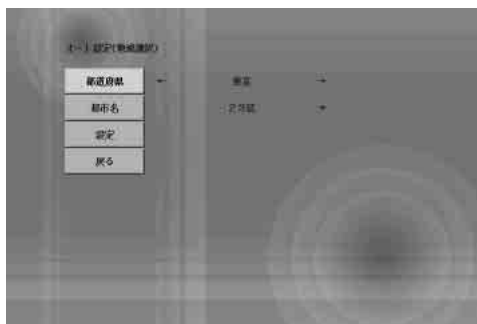
お住まいの地域を設定すると、自動的に受信チャンネルが設定されます。

1 ［ 受信設定 ］画面で「オート」を選んだ状態で、［ 決定 ］ボタンを押す

［ チャンネルオート設定 ］画面が表示されます。

● **設定内容**

「都道府県」	お住まいの都道府県名
「都市名」	お住まいの都市名

📖 **地域の選択→ 8 章「地域別チャンネル状況一覧表」(P.143)**

2 ［ ← ］ボタンまたは［ → ］ボタンを押し、「都道府県」を設定する

3 ［ 決定 ］ボタンを押す

「都市名」が選ばれた状態になります。

4 ［ ← ］ボタンまたは［ → ］ボタンを押し、「都市名」を設定する

5 ［ 決定 ］ボタンを押す

「設定」が選ばれた状態になります。

6 「設定」を選んだ状態で、［ 決定 ］ボタンを押す

受信チャンネルが設定され、「戻る」が選ばれた状態になります。

7 「戻る」を選んだ状態で、［ 決定 ］ボタンを押す

［ 受信設定 ］画面に戻ります。

手動でチャンネルを設定する

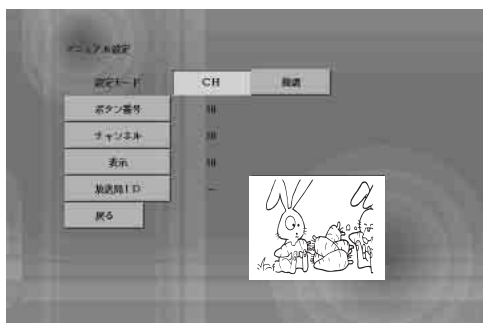
自動設定がうまくいかなかったとき、選局の順番を入れ替えたいときなどは、手動で受信チャンネルを設定してください。
ここでは、リモコンの 5 チャンネルに UHF の 42 チャンネル（TVK テレビ）を設定する方法を例に説明します。

1 ［ 受信設定 ］画面で［ ↓ ］ボタンを押し、「マニュアル」を選ぶ

2 ［ 決定 ］ボタンを押す

［ マニュアル設定 ］画面が表示されます。

● 設定内容

「設定モード」	「CH」が選ばれた状態にしておく。
「ボタン番号」	リモコンのチャンネル番号
「チャンネル」	放送局のチャンネル番号
「表示」	テレビ画面に表示されるチャンネル番号 通常は、「チャンネル」と同じ設定にしてください。
「放送局 ID」	放送局の個別 ID
「サブ画面」	「チャンネル」で選んだ放送局の番組が表示されます。

3 [↓] ボタンを押し、「ボタン番号」を選ぶ

4 [←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、「5」を設定する

5 [↓] ボタンを押し、「チャンネル」を選ぶ

6 [←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、「42」を設定する

7 [↓] ボタンを押し、「放送局 ID」を選ぶ

8 [←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、42 チャンネル(TVKテレビ)の放送局ID「9」を設定する

放送局 ID の一覧→ 8 章「放送局一覧表」(P.145)

9 [決定] ボタンを押す

「戻る」が選ばれた状態になります。

● 複数のチャンネルを設定したいときは、手順 3 ～ 9 の操作を繰り返してください。

10「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

受信チャンネルが設定され、[受信設定] 画面に戻ります。

放送局 ID を正しく設定してください

放送局 ID を正しく設定しないと、番組表が正しく表示されません。

放送局 ID の一覧→ 8 章「放送局一覧表」(P.145)

映りの悪いチャンネルを微調整する

お住まいの地域の電波状況によっては、設定したチャンネルの同調を少しずらして調整してください。

1 [受信設定] 画面で [↓] ボタンを押し、「マニュアル」を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

[マニュアル設定] 画面が表示されます。

3 [←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、設定モードを「微調」にする

4 [↓] ボタンを押し、「チャンネル」を選ぶ

5 [←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、微調整する

● サブ画面の映像を見ながら、調整してください。

6 [決定] ボタンを押す

「戻る」が選ばれた状態になります。

7「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

受信チャンネルが設定され、[受信設定] 画面に戻ります。

空きチャンネルをスキップさせる

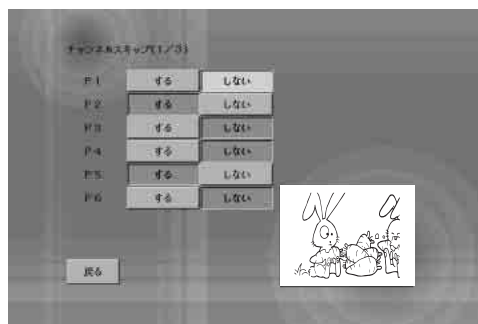
[チャンネル] ボタンで放送局を順に変えるときにスキップさせるチャンネルを設定します。
受信チャンネルを自動設定したときは、特に設定する必要はありません。

1 [受信設定] 画面で [↓] ボタンを押し、「チャンネルスキップ」を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

[チャンネルスキップ] 画面が表示されます。

● 設定内容

「する」	該当チャンネルをスキップする
「しない」	該当チャンネルをスキップしない
「サブ画面」	選んだ放送局の番組が表示されます。

3 必要に応じて、スキップするチャンネルを設定する

- **項目を移動したいときは、[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押してください。**
- **末尾項目を選んだ状態で、[↓] ボタンを押すと、次のページを表示します。**
- **先頭項目を選んだ状態で、[↑] ボタンを押すと、前のページを表示します。**
- **設定内容を変更したいときは、[←] ボタンまたは [→] ボタンを押してください。**

4 すべての設定が終わったら、[決定] ボタンを押す

「戻る」が選ばれた状態になります。

5 「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

チャンネルスキップが設定され、[受信設定] 画面に戻ります。

ADAMS 受信チャンネルを設定する

電子番組ガイド (EPG) を受信する ADAMS 放送局 (テレビ朝日系列の放送局) を設定します。
受信チャンネルを自動設定した場合は、特に設定する必要はありません。複数の ADAMS 放送局が受信できる地域の場合、受信状態の良い放送局を選んでください。

ADAMS 放送局の一覧→ 8 章「放送局一覧表」(P.145)

1 [受信設定] 画面で [↓] ボタンを押し、「ADAMS CH 設定」を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

[ADAMS 受信チャンネル調整表示] 画面が表示されます。

- **設定内容**

「チャンネル」	ADAMS 放送局のチャンネル
「サブ画面」	選んだ放送局の番組が表示されます。

3 [←] ボタンまたは [→] ボタンを押し、「サブ画面」で受信状態を確かめながら「チャンネル」を設定する

4 [決定] ボタンを押す

「戻る」が選ばれた状態になります。

5 「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

ADAMS 受信チャンネルが設定され、[受信設定] 画面に戻ります。

重 要

ADAMS 放送局を受信できない

地域によっては ADAMS 放送局を受信できず、電子番組ガイド (EPG) を使えないことがあります。

ヒント

ADAMS とは

ADAMS とは、テレビ朝日系列 24 局のデータ放送による情報配信サービスです。

① [戻る] ボタン

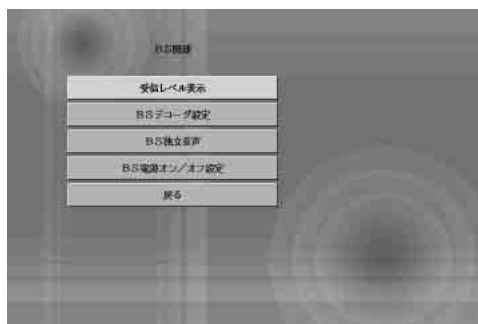
■ BS 受信チャンネルを設定する

BS 放送を受信するとき、受信レベルの確認や BS デコーダーとの接続を設定します。

受信レベルを表示する

BS アンテナを設置するとき、受信レベルを確かめながらアンテナの向きを調整してください。

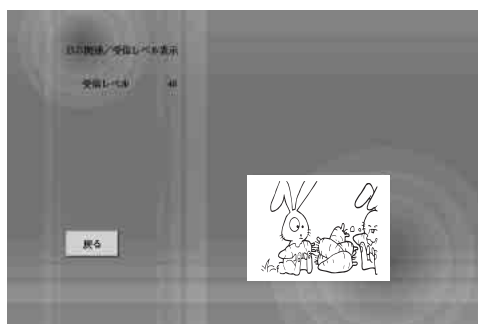
1 [受信設定] 画面で [↓] ボタンを押し、「 BS 関連」を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

[BS 関連] 画面が表示されます。

（BS デコーダーの電源が入っている状態）

3 「受信レベル表示」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

[受信レベル表示] 画面が表示されます。

- **受信レベルを見ながら、アンテナの向きを調整してください。**
- **サブ画面には、BS 7ch: 衛星第一放送の番組が表示されます。**

4 「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

[BS 関連] 画面に戻ります。

- **[戻る] ボタンを押すと、[受信設定] 画面に戻ります。**

BS デコーダーを設定する

BS スクランブル放送 (WOWOW) を楽しむときなど、BS 入力端子に接続された BS デコーダーを使用する場合は、次の設定を行ってください。

1 [受信設定] 画面で [↓] ボタンを押し、「 BS 関連」を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

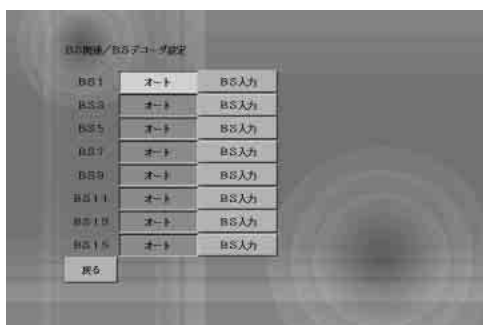
[BS 関連] 画面が表示されます。

3 [↓] ボタンを押し、「 BS デコーダ設定」を選ぶ

4 **[決定] ボタンを押す**

[BS デコーダ設定] 画面が表示されます。

● **設定内容**

「オート」	BS スクランブル放送を自動的に判別します。スクランブル放送時は、自動的に BS 入力端子に接続された BS デコーダーを選びます。 通常は、「オート」を選んでください。
「BS 入力」	放送内容にかかわらず、BS 入力端子に接続された BS デコーダーを選びます。 BS 独立音声放送を楽しむとき、「 BS 入力」を選んでください。

5 **必要に応じて、各チャンネルを設定する**

● **項目を移動したいときは、[↑] ボタンまたは [↓] ボタンを押してください。**

● **設定内容を変更したいときは、[←] ボタンまたは [→] ボタンを押してください。**

6 **すべての設定が終わったら、[決定] ボタンを押す**

「戻る」が選ばれた状態になります。

7 **「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す**

[BS 関連] 画面に戻ります。

● **[戻る] ボタンを押すと、[受信設定] 画面に戻ります。**

BS デコーダーの入力設定

「オート」を設定した場合、映像と音声が異なるときは BS デコーダーの音声切り換えの状態をお確かめください。

「 BS 入力」を設定した場合、BS デコーダーの音声の選択が優先されます。テレビ側では音声切り換えができません。

BS デコーダーの電源が「切」になっているとき、BS 入力端子にケーブルを接続していないときなどは、BS 入力端子に切り換わりません。

BS 独立音声を設定する

独立音声放送を楽しむとき、次の設定を行ってください。

1 **[受信設定] 画面で [↓] ボタンを押し、「 BS 設定」を選ぶ**

2 **[決定] ボタンを押す**

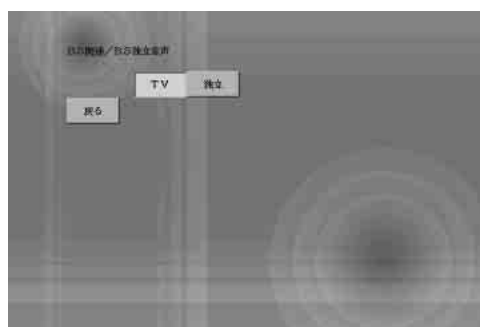
[BS 関連] 画面が表示されます。

3 **[↓] ボタンを押し、「 BS 独立音声」を選ぶ**

4 **[決定] ボタンを押す**

[BS 独立音声] 画面が表示されます。

● **設定内容**

「 TV 」	テレビ音声
「独立」	BS 独立音声放送

5 **[→] ボタンを押し、「独立」を選ぶ**

6 **[決定] ボタンを押す**

「戻る」が選ばれた状態になります。

7 **「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す**

[BS 関連] 画面に戻ります。

● **[戻る] ボタンを押すと、[受信設定] 画面に戻ります。**

BS アンテナへの電源供給を設定する

BS アンテナへ電源を供給するとき、次の設定を行ってください。集合住宅などで BS アンテナを共用しているときは設定しません。

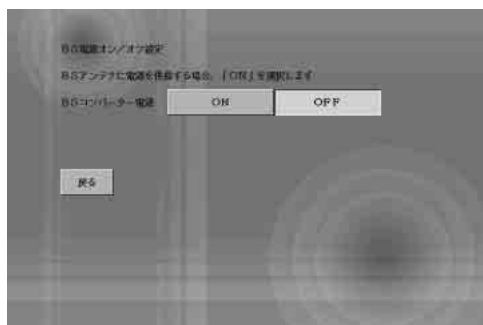
1 **[受信設定] 画面で [↓] ボタンを押し、「 BS 設定」を選ぶ**

2 **[決定] ボタンを押す**

[BS 関連] 画面が表示されます。

3 **[↓] ボタンを押し、「 BS 電源オン / オフ設定」を選ぶ**

4 [決定] ボタンを押す

[BS 電源オン / オフ設定] 画面が表示されます。

5 [←] ボタンを押し、「 ON 」を選ぶ

6 [決定] ボタンを押す

「戻る」が選ばれた状態になります。

7 「戻る」を選んだ状態で、[決定] ボタンを押す

[BS 関連] 画面に戻ります。

● **[戻る] ボタンを押すと、[設定] 画面に戻ります。**

7 接続する

8 章　ご参考

地域別チャンネル状況一覧表

（2003 年 6 月現在）（　）内の数字は表示番号を示します。

都道府県	都市名	リモコンボタン											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌(江別)	1北海道放送		3 NHK 総合	17 テレビ北海道	5札幌テレビ			27 北海道文化放送		35 北海道テレビ		12 NHK 教育
	旭川		2 NHK 教育		33 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	7札幌テレビ		9 NHK 総合		11 北海道放送	
	北見		2 NHK 教育					7札幌テレビ	53 北海道放送	9 NHK 総合	59 北海道文化放送	61 北海道テレビ	
	帯広				4 NHK 総合		6北海道放送	32 北海道文化放送		34 北海道テレビ	10 札幌テレビ		12 NHK 教育
	釧路		2 NHK 教育	39 北海道テレビ	41 北海道文化放送			7札幌テレビ		9 NHK 総合		11 北海道放送	
	函館	21 テレビ北海道	27 北海道文化放送	35 北海道テレビ	4 NHK 総合		6北海道放送				10 NHK 教育		12 札幌テレビ
	苫小牧	47 テレビ北海道	49 NHK 教育	51 NHK 総合	53 北海道文化放送	55 北海道放送	57 札幌テレビ	61 北海道テレビ					
	小樽		2 NHK 教育		4北海道テレビ			7札幌テレビ		9北海道放送	24 テレビ北海道	11 NHK 総合	26 北海道文化放送
	室蘭		2 NHK 教育	29 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ		7札幌テレビ		9 NHK 総合		11 北海道放送	
	名寄	24 北海道テレビ		26 北海道文化放送	4 NHK 総合		6札幌テレビ				10 北海道放送		12 NHK 教育
	稚内				22 札幌テレビ	24 北海道テレビ	26 北海道文化放送	28 NHK 総合	30 NHK 教育		10 北海道放送		
	網走	1北海道放送		3 NHK 総合		5札幌テレビ		27 北海道文化放送		35 北海道テレビ			12 NHK 教育
青森	青森(弘前)	1青森放送		3 NHK 総合		5 NHK 教育		34 青森朝日放送		38 青森テレビ			
	八戸				31 青森朝日放送		33 青森テレビ	7 NHK 教育		9 NHK 総合		11 青森放送	
	むつ				4 NHK 総合		56 青森朝日放送		58 青森テレビ		10 青森放送		12 NHK 教育
岩手	盛岡				4 NHK 総合		6岩手放送		8 NHK 教育		33 めんこいテレビ	31 岩手朝日テレビ	35 テレビ岩手
	釜石		2 NHK 総合		58 テレビ岩手		60 めんこいテレビ		62 岩手朝日テレビ		10 岩手放送		12 NHK 教育
	二戸		2 岩手放送			5 NHK 総合		27 岩手朝日放送	29 めんこいテレビ	37 テレビ岩手			12 NHK 教育
宮城	仙台	1東北放送		3 NHK 総合		5 NHK 教育		32 東日本放送		34 宮城テレビ			12 仙台放送
	石巻	59 東北放送		51 NHK 総合		49 NHK 教育		61 東日本放送		55 宮城テレビ			57 仙台放送
	気仙沼		2 NHK 総合		4東北放送		6仙台放送	37 宮城テレビ	43 東日本放送		10 NHK 教育		
秋田	秋田		2 NHK 教育					31 秋田朝日放送	37 秋田テレビ	9 NHK 総合		11 秋田放送	
	大館				4 NHK 総合	57 秋田テレビ	6秋田放送		8 NHK 教育				59 秋田朝日放送
	大曲		43 NHK 教育					41 秋田朝日放送	51 秋田テレビ	45 NHK 総合		47 秋田放送	
山形	山形				4 NHK 教育		36 テレビユー山形		8 NHK 総合		10 山形放送	30 さくらんぼテレビ	38 山形テレビ
	鶴岡(酒田)	1山形放送		3 NHK 総合			6 NHK 教育		22 テレビユー山形		39 山形テレビ		24 さくらんぼテレビ
	米沢				50 NHK 教育		56 テレビユー山形		52 NHK 総合		54 山形放送	60 さくらんぼテレビ	58 山形テレビ
福島	福島(郡山)		2 NHK 教育		31 テレビユー福島			33 福島中央テレビ	35 福島放送	9 NHK 総合		11 福島テレビ	
	会津若松	1 NHK 総合		3 NHK 教育			6福島テレビ		37 福島中央テレビ	41 福島放送			47 テレビユー福島
	いわき		32 テレビユー福島		4 NHK 総合		34 福島中央テレビ		8福島テレビ		10 NHK 教育		36 福島放送
茨城	水戸	44(1)NHK 総合		46(3)NHK 教育	42(4) 日本テレビ		40(6)TBS テレビ		38(8) フジテレビ		36(10) テレビ朝日		32(12) テレビ東京
	日立(ひたちなか)	52(1)NHK 総合		50(3)NHK 教育	54(4) 日本テレビ		56(6)TBS テレビ		58(8) フジテレビ		60(10) テレビ朝日		62(12) テレビ東京
栃木	宇都宮	29(1)NHK 総合		27(3)NHK 教育	25(4) 日本テレビ		23(6)TBS テレビ	●31 とちぎテレビ	21(8) フジテレビ		19(10) テレビ朝日		17(12) テレビ東京
	矢板	51(1)NHK 総合		49(3)NHK 教育	53(4) 日本テレビ		55(6)TBS テレビ	●33(31) とちぎテレビ	57(8) フジテレビ		59(10) テレビ朝日		61(12) テレビ東京
群馬	前橋(高崎)	52(1)NHK 総合		50(3)NHK 教育	54(4) 日本テレビ		56(6)TBS テレビ		58(8) フジテレビ		60(10) テレビ朝日	●48 群馬テレビ	62(12) テレビ東京
	桐生	43(1)NHK 総合		45(3)NHK 教育	39(4) 日本テレビ		37(6)TBS テレビ		35(8) フジテレビ		33(10) テレビ朝日	●41(48) 群馬テレビ	31(12) テレビ東京
埼玉	浦和	1 NHK 総合		3 NHK 教育	4日本テレビ	●14MX テレビ	6 TBS テレビ		8フジテレビ	●38 テレビ埼玉	10 テレビ朝日		12 テレビ東京
	熊谷	33(1)NHK 総合		35(3)NHK 教育	25(4) 日本テレビ		23(6)TBS テレビ		21(8) フジテレビ	●28(38) テレビ埼玉	19(10) テレビ朝日		17(12) テレビ東京
	秩父	51(1)NHK 総合		49(3)NHK 教育	53(4) 日本テレビ		55(6)TBS テレビ		57(8) フジテレビ	●47(38) テレビ埼玉	59(10) テレビ朝日		61(12) テレビ東京
千葉	千葉	1 NHK 総合		3 NHK 教育	4日本テレビ	●14MX テレビ	6 TBS テレビ		8フジテレビ		10 テレビ朝日	●46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	銚子	51(1)NHK 総合		49(3)NHK 教育	53(4) 日本テレビ		55(6)TBS テレビ		57(8) フジテレビ		59(10) テレビ朝日	●39(46) 千葉テレビ	61(12) テレビ東京
東京	23 区	1 NHK 総合		3 NHK 教育	4日本テレビ	●14MX テレビ	6 TBS テレビ	●38 テレビ埼玉	8フジテレビ	●42 TVK テレビ	10 テレビ朝日	●46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	51(1)NHK 総合		49(3)NHK 教育	53(4) 日本テレビ	●47(14)MX テレビ	55(6)TBS テレビ		57(8) フジテレビ		59(10) テレビ朝日		61(12) テレビ東京
	多摩	30(1)NHK 総合		32(3)NHK 教育	26(4) 日本テレビ	●28(14)MX テレビ	24(6)TBS テレビ		22(8) フジテレビ		20(10) テレビ朝日		18(12) テレビ東京
神奈川	横浜 1	52(1)NHK 総合		50(3)NHK 教育	54(4) 日本テレビ		56(6)TBS テレビ		58(8) フジテレビ	●48(42)TVK テレビ	60(10) テレビ朝日		62(12) テレビ東京
	横浜 2	1 NHK 総合		3 NHK 教育	4日本テレビ	●14MX テレビ	6 TBS テレビ		8フジテレビ	●42 TVK テレビ	10 テレビ朝日		12 テレビ東京
	平塚(茅ヶ崎)	33(1)NHK 総合		29(3)NHK 教育	35(4) 日本テレビ		37(6)TBS テレビ		39(8) フジテレビ	●31(42)TVK テレビ	41(10) テレビ朝日		43(12) テレビ東京
	小田原	52(1)NHK 総合		50(3)NHK 教育	54(4) 日本テレビ		56(6)TBS テレビ		58(8) フジテレビ	●46(42)TVK テレビ	60(10) テレビ朝日		62(12) テレビ東京
	秦野	47(1)NHK 総合		49(3)NHK 教育	51(4) 日本テレビ		53(6)TBS テレビ		55(8) フジテレビ	●61(42)TVK テレビ	57(10) テレビ朝日		59(12) テレビ東京
新潟	新潟(長岡)				21 新潟テレビ 21	5新潟放送	29 テレビ新潟		8 NHK 総合		35 新潟総合テレビ		12 NHK 教育
	上越	1 NHK 教育		3 NHK 総合			27 テレビ新潟		33 新潟総合テレビ		10 新潟放送		37 新潟テレビ 21
富山	富山	1北日本放送		3 NHK 総合					32 チューリップテレビ		10 NHK 教育		34 富山テレビ
	高岡	50 北日本放送		48NHK 総合					42 チューリップテレビ		46 NHK 教育		44 富山テレビ

都道府県	都市名	リモコンボタン											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
石川	金沢（小松）				4 NHK 総合		6北陸放送	25北陸朝日放送	8 NHK 教育		33テレビ金沢		37石川テレビ
	七尾					5 NHK 教育		59北陸朝日放送		9 NHK 総合	57テレビ金沢	11北陸放送	55石川テレビ
福井	福井			3 NHK 教育						9 NHK 総合		11福井放送	39福井テレビ
	敦賀				38福井テレビ		6 NHK 総合		8福井放送				12 NHK 教育
山梨	甲府	1 NHK 総合		3 NHK 教育		5山梨放送	37テレビ山梨						
長野	長野1		44(2)NHK 総合			50(20)長野朝日放送		40(30)テレビ信州	42(38)長野放送	46(9)NHK 教育		48(11)信越放送	
	長野2		2 NHK 総合			20長野朝日放送		30テレビ信州	38長野放送	9 NHK 教育		11信越放送	
	飯田	40長野放送		3 NHK 教育	4 NHK 総合		6信越放送	42テレビ信州		44長野朝日放送			
	松本		44 NHK 総合			50長野朝日放送		48テレビ信州	42長野放送	46 NHK 教育		40信越放送	
	岡谷（諏訪）				4 NHK 総合		6信越放送		8 NHK 教育		47長野放送	59テレビ信州	61長野朝日放送
岐阜	岐阜（大垣）	1東海テレビ		3 NHK 総合		5中部日本放送		35中京テレビ	25テレビ愛知	9 NHK 教育		11名古屋テレビ	37岐阜放送
	高山		2 NHK 教育		4 NHK 総合		6中部日本放送		8東海テレビ		26中京テレビ	38岐阜放送	12名古屋テレビ
	中津川		26中京テレビ		4 NHK 総合		6名古屋テレビ		8中部日本放送		10東海テレビ	28岐阜放送	12 NHK 教育
静岡	静岡（清水）		2 NHK 教育		31静岡第一テレビ	33静岡朝日テレビ	35テレビ静岡			9 NHK 総合		11静岡放送	
	浜松				4 NHK 総合		6静岡放送		8 NHK 教育	28静岡朝日テレビ	30静岡第一テレビ		34テレビ静岡
	富士（富士宮）		54 NHK 教育		27静岡第一テレビ		29静岡朝日テレビ			52 NHK 総合		41静岡放送	39テレビ静岡
	沼津（三島）		51 NHK 教育		61静岡第一テレビ		57静岡朝日テレビ			53 NHK 総合		55静岡放送	59テレビ静岡
	島田	15(1)NHK 総合		18(3)NHK 教育		22(5)静岡放送			48静岡第一テレビ		50静岡朝日テレビ		58テレビ静岡
	藤枝	42 NHK 総合		44 NHK 教育		40静岡放送			24静岡第一テレビ		26静岡朝日テレビ		38テレビ静岡
愛知	名古屋	1東海テレビ		3 NHK 総合		5中部日本放送		25テレビ愛知	●37岐阜放送	9 NHK 教育	●33三重テレビ	11名古屋テレビ	35中京テレビ
	豊橋（豊川）	56(1)東海テレビ		54(3)NHK 総合		62(5)中部日本放送		52(25)テレビ愛知		50(9)NHK 教育		60(11)名古屋テレビ	58(35)中京テレビ
	豊田	57(1)東海テレビ		53(3)NHK 総合		55(5)中部日本放送		49(25)テレビ愛知		51(9)NHK 教育		61(11)名古屋テレビ	59(35)中京テレビ
	蒲郡田原	38(1)東海テレビ		44(3)NHK 総合		36(5)中部日本放送		32(25)テレビ愛知		46(9)NHK 教育		42(11)名古屋テレビ	40(35)中京テレビ
三重	津	1東海テレビ		3 NHK 総合		5中部日本放送		25テレビ愛知		9 NHK 教育	33三重テレビ	11名古屋テレビ	35中京テレビ
	伊勢	57(1)東海テレビ		53(3)NHK 総合		55(5)中部日本放送				49(9)NHK 教育	59(33)三重テレビ	61(11)名古屋テレビ	47(35)中京テレビ
	名張（上野）	52 NHK 総合	2 NHK 総合	54中京テレビ	4毎日放送	56名古屋テレビ	6朝日放送	58三重テレビ	8関西テレビ	60中部日本放送	10読売テレビ	62東海テレビ	12 NHK 教育
滋賀	大津		28(2)NHK 総合		36(4)毎日放送		38(6)朝日放送		40(8)関西テレビ	●34京都テレビ	42(10)読売テレビ	30びわ湖放送	46(12)NHK 教育
	彦根		52(2)NHK 総合		54(4)毎日放送		58(6)朝日放送		60(8)関西テレビ	●34京都テレビ	62(10)読売テレビ	56(30)びわ湖放送	50(12)NHK 教育
京都	京都		2 NHK 総合		4毎日放送	●19テレビ大阪	6朝日放送	●26奈良テレビ	8関西テレビ	34京都テレビ	10読売テレビ	●36サンテレビ	12 NHK 教育
	舞鶴1		43(2)NHK 総合		33(4)毎日放送		35(6)朝日放送		39(8)関西テレビ	37(34)京都テレビ	41(10)読売テレビ		45(12)NHK 教育
	舞鶴2		51(2)NHK 総合		53(4)毎日放送		55(6)朝日放送		59(8)関西テレビ	57(34)京都テレビ	61(10)読売テレビ		49(12)NHK 教育
	福知山		50(2)NHK 総合		54(4)毎日放送	56(34)京都テレビ	58(6)朝日放送		60(8)関西テレビ		62(10)読売テレビ		52(12)NHK 教育
	宮津		43(2)NHK 総合		33(4)毎日放送		35(6)朝日放送		37(8)関西テレビ	39(34)京都テレビ	41(10)読売テレビ		45(12)NHK 教育
大阪	大阪		2 NHK 総合		4毎日放送	19テレビ大阪	6朝日放送	●30テレビ和歌山	8関西テレビ	●34京都テレビ	10読売テレビ	●36サンテレビ	12 NHK 教育
兵庫	神戸		2 NHK 総合	36サンテレビ	4毎日放送	●19テレビ大阪	6朝日放送	●30テレビ和歌山	8関西テレビ	●34京都テレビ	10読売テレビ		12 NHK 教育
	神戸北		28(2)NHK 総合	36サンテレビ	18(4)毎日放送	19テレビ大阪	20(6)朝日放送		22(8)関西テレビ		24(10)読売テレビ		26(12)NHK 教育
	川西1		29(2)NHK 総合	33(36)サンテレビ	35(4)毎日放送	21(19)テレビ大阪	37(6)朝日放送		39(8)関西テレビ		41(10)読売テレビ		31(12)NHK 教育
	川西2		49(2)NHK 総合	53(36)サンテレビ	55(4)毎日放送	47(19)テレビ大阪	57(6)朝日放送		59(8)関西テレビ		61(10)読売テレビ		51(12)NHK 教育
	姫路		50(2)NHK 総合	56(36)サンテレビ	54(4)毎日放送		58(6)朝日放送		60(8)関西テレビ		62(10)読売テレビ		52(12)NHK 教育
	明石（加古川）		51(2)NHK 総合	55(36)サンテレビ	53(4)毎日放送	●19テレビ大阪	57(6)朝日放送		59(8)関西テレビ		61(10)読売テレビ		49(12)NHK 教育
	三木		44(2)NHK 総合	36サンテレビ	34(4)毎日放送		38(6)朝日放送		40(8)関西テレビ		42(10)読売テレビ		46(12)NHK 教育
奈良	奈良（橿原）		2 NHK 総合		4毎日放送	●19テレビ大阪	6朝日放送		8関西テレビ	55奈良テレビ	10読売テレビ	●34京都テレビ	12 NHK 教育
	五条		43(2)NHK 総合		33(4)毎日放送		35(6)朝日放送		37(8)関西テレビ	41(55)奈良テレビ	39(10)読売テレビ		45(12)NHK 教育
和歌山	和歌山		32(2)NHK 総合		42(4)毎日放送		44(6)朝日放送		46(8)関西テレビ		48(10)読売テレビ	30テレビ和歌山	26(12)NHK 教育
	田辺（白浜）		50(2)NHK 総合		54(4)毎日放送		58(6)朝日放送		60(8)関西テレビ		62(10)読売テレビ	56(30)テレビ和歌山	52(12)NHK 教育
	田辺（槇山）		16(2)NHK 総合		22(4)毎日放送		25(6)朝日放送		27(8)関西テレビ		29(10)読売テレビ	20(30)テレビ和歌山	18(12)NHK 教育
	御坊		49(2)NHK 総合		53(4)毎日放送		57(6)朝日放送		59(8)関西テレビ		61(10)読売テレビ	55(30)テレビ和歌山	51(12)NHK 教育
鳥取	鳥取	1日本海テレビ		3 NHK 総合	4 NHK 教育						22山陰放送		24山陰中央テレビ
島根	松江	30日本海テレビ					6 NHK 総合		34山陰中央テレビ		10山陰放送		12 NHK 教育
	浜田		2 NHK 総合	54日本海テレビ		5山陰放送			58山陰中央テレビ	9 NHK 教育			
岡山	岡山（倉敷）	23テレビせとうち	25瀬戸内海放送	3 NHK 教育		5 NHK 総合		35岡山放送		9西日本放送		11山陽放送	
	津山		2 NHK 総合					7山陽放送	56テレビせとうち	58西日本放送	60岡山放送	62瀬戸内海放送	12 NHK 教育
	笠岡		2 NHK 総合		4 NHK 教育		6山陽放送		17西日本放送		19テレビせとうち	21瀬戸内海放送	60岡山放送
広島	広島	31テレビ新広島		3 NHK 総合	4中国放送			7 NHK 教育			35広島ホームテレビ		12広島テレビ
	福山			3 NHK 教育		5 NHK 総合	54テレビ新広島	7中国放送		57広島ホームテレビ		11広島テレビ	
	尾道	1 NHK 総合		24広島ホームテレビ		26テレビ新広島		7 NHK 教育			10中国放送		12広島テレビ
	呉	1 NHK 教育		24広島ホームテレビ		5広島テレビ		26テレビ新広島		9中国放送		11 NHK 総合	
山口	山口	1 NHK 教育			28山口朝日放送			38テレビ山口		9 NHK 総合		11山口放送	
	下関		2九州朝日放送	33テレビ山口	4山口放送	35福岡放送	6 NHK 総合	39 NHK 総合	8 RKB 毎日放送	23テレビＱ	10テレビ西日本	21山口朝日放送	12 NHK 教育
	宇部	14 NHK 教育				31山口朝日放送		20テレビ山口		16 NHK 総合		18山口放送	
	岩国			3 NHK 総合	4中国放送	31テレビ新広島	35広島ホームテレビ	7 NHK 教育		28山口朝日放送	22テレビ山口	11山口放送	12広島テレビ
徳島	徳島	1四国放送		3 NHK 総合	4毎日放送		6朝日放送		8関西テレビ		10読売テレビ		12 NHK 教育
香川	高松	19テレビせとうち	33瀬戸内海放送	39 NHK 教育		37 NHK 総合		31岡山放送		41西日本放送		29山陽放送	
	丸亀	16テレビせとうち	42瀬戸内海放送	40 NHK 教育		44 NHK 総合		22岡山放送		20西日本放送		18山陽放送	
愛媛	松山		2 NHK 教育		25愛媛朝日テレビ	29あいテレビ	6 NHK 総合	●31テレビ新広島	37愛媛放送	●35広島ホームテレビ	10南海放送		
	新居浜		2 NHK 総合		4 NHK 教育	14愛媛朝日テレビ	6南海放送	●42瀬戸内海放送	36愛媛放送	●9西日本放送	27あいテレビ	●11山陽放送	
	今治		30 NHK 教育		14愛媛朝日テレビ	27あいテレビ	32 NHK 総合	●42瀬戸内海放送	36愛媛放送	●9西日本放送	34南海放送	●11山陽放送	
	宇和島	1 NHK 教育			16愛媛朝日テレビ		6 NHK 総合	32愛媛放送		34あいテレビ	10南海放送		

都道府県	都市名	リモコンボタン											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
高知	高知				4 NHK 総合		6 NHK 教育		8 高知テレビ		38 テレビ高知		40 さんさんテレビ
福岡	福岡	1 九州朝日放送		3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送		6 NHK 教育			9 テレビ西日本		19 テレビ Q	37 福岡放送
	北九州		2 九州朝日放送	23 テレビ Q	35 福岡放送		6 NHK 総合		8 RKB 毎日放送		10 テレビ西日本		12 NHK 教育
	久留米	14 テレビ Q	46 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	52 福岡放送	54 NHK 教育	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本					
	大牟田	19 テレビ Q	43 福岡放送	50 NHK 教育	53 NHK 総合	55 テレビ西日本	58 九州朝日放送	61 RKB 毎日放送					
	行橋	19 テレビ Q	43 福岡放送	46 NHK 教育	49 NHK 総合	54 テレビ西日本	57 九州朝日放送	60 RKB 毎日放送					
佐賀	佐賀	14 テレビ Q	36 サガテレビ	38 NHK 総合	40 NHK 教育	48 RKB 毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本			11 熊本放送	
長崎	長崎	1 NHK 教育		3 NHK 総合		5 長崎放送		37 テレビ長崎		25 長崎国際テレビ		27 長崎文化放送	
	諫早	45 NHK 教育		47 NHK 総合		49 長崎放送		42 テレビ長崎		20 長崎国際テレビ		24 長崎文化放送	
	佐世保		2 NHK 教育		17 長崎国際テレビ		31 長崎文化放送		8 NHK 総合		10 長崎放送		35 テレビ長崎
熊本	熊本 (八代)		2 NHK 教育	16 熊本朝日放送				22 熊本県民テレビ	34 テレビ熊本	9 NHK 総合		11 熊本放送	
大分	大分 (別府)			3 NHK 総合		5 大分放送		36 テレビ大分		24 大分朝日放送			12 NHK 教育
	中津			48 NHK 総合		51 大分放送		37 テレビ大分		17 大分朝日放送			45 NHK 教育
宮崎	宮崎 (郡城)	35 テレビ宮崎							8 NHK 総合		10 宮崎放送		12 NHK 教育
	延岡	39 テレビ宮崎	2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 宮崎放送						
鹿児島	鹿児島	1 南日本放送		3 NHK 総合		5 NHK 教育		30 鹿児島読売テレビ		32 鹿児島放送		38 鹿児島テレビ	
	阿久根		17 鹿児島読売テレビ		23 鹿児島放送		35 鹿児島テレビ		8 NHK 総合		10 南日本放送		12 NHK 教育
	鹿屋		2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 南日本放送		25 鹿児島読売テレビ		31 鹿児島放送		33 鹿児島テレビ
沖縄	那覇 (沖縄)		2 NHK 総合						8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送		12 NHK 教育

1. 地域別チャンネル一覧表に記載されている都市にお住まいでも、場所によって放送局が異なる場合があります。このような場合は、手動でチャンネルを設定してください。

📖 **チャンネルの設定方法→ 7 章「手動でチャンネルを設定する」(P.136)**

2. 一部の放送局 (●マーク) は、チャンネルスキップ設定が「する」に設定されています。必要に応じて、「しない」に設定してください。
3. ▒▒ の地域では、電子番組ガイド (EPG) を利用できません。

■放送局一覧表

手動でチャンネルを設定するときに、ご利用ください。設定画面では、民放を優先し、北から順に表示されます。

放送局名	放送局 ID	ADAMS 放送局
日本テレビ	4	
TBS テレビ	5	
フジテレビ	6	
テレビ朝日	7	○
テレビ東京	8	
TVK テレビ	9	
千葉テレビ	10	
群馬テレビ	11	
テレビ埼玉	12	
MX テレビ	16	
とちぎテレビ	18	
NHK 総合東京	31	
NHK 教育東京	41	
HBC テレビ	104	
STV テレビ	105	
HTB テレビ	106	○
UHB テレビ	107	
TV 北海道	108	
NHK 総合札幌	131	
NHK 総合函館	132	

放送局名	放送局 ID	ADAMS 放送局
NHK 総合旭川	133	
NHK 総合帯広	134	
NHK 総合釧路	135	
NHK 総合北見	136	
NHK 総合室蘭	137	
NHK 教育札幌	141	
NHK 教育函館	142	
NHK 教育旭川	143	
NHK 教育帯広	144	
NHK 教育釧路	145	
NHK 教育北見	146	
NHK 教育室蘭	147	
青森放送	204	
青森テレビ	205	
秋田放送	206	
秋田テレビ	207	
IBC テレビ	208	
テレビ岩手	209	
山形放送	210	
山形テレビ	211	○

放送局名	放送局 ID	ADAMS 放送局
東北放送	212	
仙台放送	213	
ミヤギテレビ	214	
福島テレビ	215	
福島中央テレビ	216	
新潟放送	217	
新潟総合テレビ	218	
東日本放送	219	○
テレビ新潟	220	
福島放送	221	○
新潟テレビ 21	222	○
テレビユー福島	223	
テレビユー山形	224	
めんこいテレビ	225	
青森朝日放送	226	○
IAT テレビ	227	○
さくらんぼ	228	
秋田朝日放送	229	○
NHK 総合仙台	231	
NHK 総合秋田	232	

放送局名	放送局ID	ADAMS放送局
NHK 総合山形	233	
NHK 総合盛岡	234	
NHK 総合福島	235	
NHK 総合青森	236	
NHK 教育仙台	241	
NHK 教育秋田	242	
NHK 教育山形	243	
NHK 教育盛岡	244	
NHK 教育福島	245	
NHK 教育青森	246	
信越放送	304	
長野放送	305	
山梨放送	306	
テレビ山梨	307	
テレビ信州	308	
長野朝日放送	310	○
NHK 総合長野	331	
NHK 総合新潟	332	
NHK 総合山梨	333	
NHK 教育長野	341	
NHK 教育新潟	342	
NHK 教育山梨	343	
名古屋テレビ	404	○
CBC テレビ	405	
東海テレビ	406	
中京テレビ	407	
SBS テレビ	408	
テレビ静岡	409	
KNB テレビ	410	
富山テレビ	411	
MRO テレビ	412	
石川テレビ	413	
福井放送	414	
福井テレビ	415	
岐阜テレビ	416	
三重テレビ	417	
静岡朝日テレビ	418	○
静岡第一テレビ	419	
テレビ愛知	420	
チューリップテレビ	422	
金沢テレビ	429	
NHK 総合静岡	431	
NHK 総合名古屋	432	
NHK 総合金沢	437	
NHK 教育福井	438	
NHK 総合富山	439	
NHK 教育静岡	441	
NHK 教育名古屋	442	
NHK 教育金沢	447	
NHK 総合福井	448	
NHK 教育富山	449	
北陸朝日放送	474	○
毎日放送	504	
ABC テレビ	505	○
関西テレビ	506	

放送局名	放送局ID	ADAMS放送局
読売テレビ	507	
京都テレビ	508	
サンテレビ	509	
テレビ和歌山	510	
奈良テレビ	511	
びわ湖放送	512	
テレビ大阪	513	
NHK 総合大阪	531	
NHK 総合京都	532	
NHK 総合神戸	533	
NHK 総合和歌山	534	
NHK 総合大津	536	
NHK 教育大阪	541	
NHK 教育京都	542	
NHK 教育神戸	543	
NHK 教育和歌山	544	
NHK 教育大津	546	
日本海テレビ	604	
山陰放送	605	
山陰中央テレビ	606	
山陽放送	607	
OHK テレビ	608	
中国放送	609	
広島テレビ	610	
広島ホームテレビ	611	○
テレビ新広島	612	
山口放送	613	
テレビ山口	614	
テレビ瀬戸内	615	
山口朝日放送	623	○
NHK 総合広島	631	
NHK 総合岡山	632	
NHK 総合鳥取	633	
NHK 総合松江	634	
NHK 総合山口	635	
NHK 教育広島	641	
NHK 教育岡山	642	
NHK 教育鳥取	643	
NHK 教育松江	644	
NHK 教育山口	645	
四国放送	704	
高知放送	705	
テレビ高知	706	
西日本放送	707	
瀬戸内海放送	708	○
南海放送	709	
愛媛放送	710	
あいテレビ	715	
愛媛朝日テレビ	716	○
高知さんさん	718	
NHK 総合松山	731	
NHK 総合高知	732	
NHK 総合徳島	733	
NHK 総合高松	734	
NHK 教育松山	741	

放送局名	放送局ID	ADAMS放送局
NHK 教育高知	742	
NHK 教育徳島	743	
NHK 教育高松	744	
大分放送	804	
テレビ大分	805	
テレビ西日本	806	
RKB 毎日放送	807	
九州朝日放送	808	○
FBS テレビ	809	
長崎放送	810	
テレビ長崎	811	
サガテレビ	812	
RKK テレビ	813	
テレビ熊本	814	
宮崎放送	815	
テレビ宮崎	816	
南日本放送	817	
鹿児島テレビ	818	
琉球放送	819	
沖縄テレビ	820	
KKT テレビ	821	
鹿児島放送	822	○
熊本朝日放送	828	○
長崎文化放送	829	○
TXN 九州	830	
NHK 総合北九州	831	
NHK 総合福岡	832	
NHK 総合熊本	833	
NHK 総合長崎	834	
NHK 総合鹿児島	835	
NHK 総合宮崎	836	
NHK 総合大分	837	
NHK 総合佐賀	838	
NHK 総合沖縄	839	
琉球朝日放送	840	○
NHK 教育北九州	841	
NHK 教育福岡	842	
NHK 教育熊本	843	
NHK 教育長崎	844	
NHK 教育鹿児島	845	
NHK 教育宮崎	846	
NHK 教育大分	847	
NHK 教育佐賀	848	
NHK 教育沖縄	849	
大分朝日放送	876	○
長崎国際テレビ	878	
鹿児島読売	879	

放送大学

放送大学	013	

BS 放送

衛星第 1 テレビ	003	
衛星第 2 テレビ	014	
WOWOW	017	

文字を入力する

DVD メニューの [タイトル編集] 画面で文字を入力するときは、ソフトキーボードを使います。

準 備
- **テレビと MSP1000 の電源を入れる。**
- **[テキスト編集] 画面を表示させる。**

■ソフトキーボードを表示する

1 [カーソル] ボタンを押し、文字を入力する欄を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す
ひらがなのソフトキーボードが表示されます。

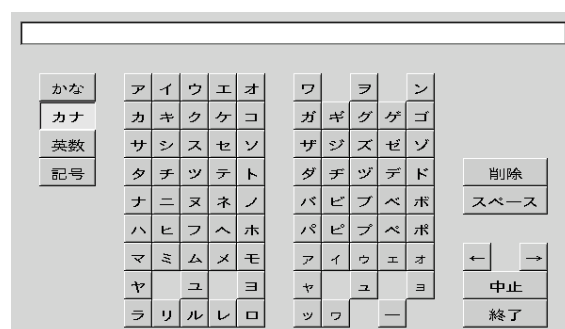
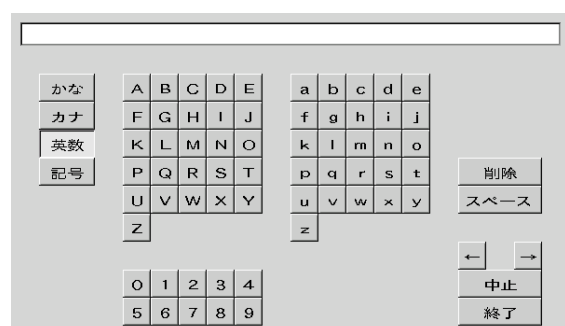
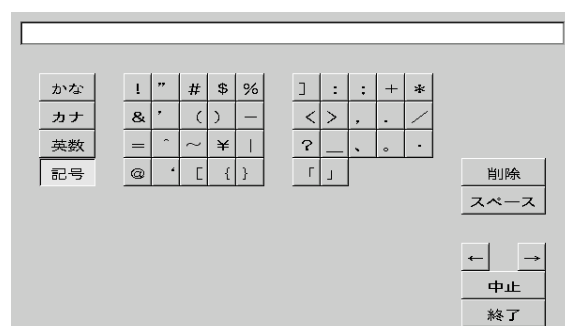
■ソフトキーボードを切り換える

ひらがな・カタカナ・英数字・記号のソフトキーボードにそれぞれ切り換えることができます。

1 [カーソル] ボタンを押し、「かな」「カナ」「英数」「記号」のいずれかを選ぶ

2 [決定] ボタンを押す
ソフトキーボードが、選んだものに切り換わります。

● **ひらがなのソフトキーボード**

● **カタカナのソフトキーボード**

● **英数字のソフトキーボード**

● **記号のソフトキーボード**

■ソフトキーボードの文字を入力する

1 ソフトキーボードを表示した状態で [カーソル] ボタン押し、入力する文字を選ぶ

2 [決定] ボタンを押す

3 選んだ文字を入力できます。

■ ひらがなを漢字に変換する

ここでは、「新番組」と入力する場合を例に説明します。

1 **ひらがなのソフトキーボードを表示した状態で［ カーソル ］ボタンを押し、「し」キー選ぶ**

2 **［ 決定 ］ボタンを押す**

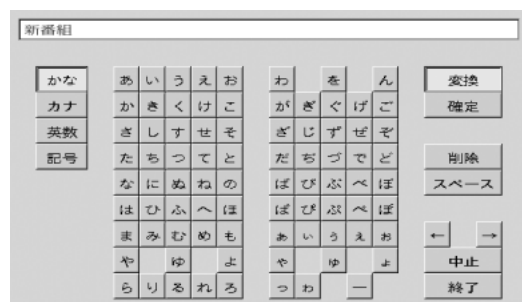
「し」と表示されます。

3 **続けて「ん」「ば」「ん」「ぐ」「み」の順に入力する**

「しんばんぐみ」と表示されます。

4 **「変換」キーを選び、［ 決定 ］ボタンを押す**

表示が「新番組」に変わります。

- **別の漢字やカタカナにしたいときは、さらに「変換」キーを選んで［ 決定 ］ボタンを押します。**

5 **「確定」キーを選び、［ 決定 ］ボタンを押す**

選択されて色が反転していた状態から解除され、文字が確定します。

仕様

・本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
・この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

分類	項目	内容		
HDD 記録・再生	録画方式	MPEG2(MP@ML)		
	録音方式	MPEG1(Layer II)		
	映像信号	NTSC カラー		
	最大録画時間	HQ モード	約 30 時間	
		SP モード	約 60 時間	
		LP モード	約 120 時間	
	受信チャンネル	VHF：1 〜 12 チャンネル		
		UHF：13 〜 62 チャンネル		
		CATV：C13 〜 38 チャンネル		
		BS アナログ：1,3,5,7,9,11,13,15 チャンネル		
DVD-RAM 記録・再生	記録方式	MPEG2（MP@ML）		
	録音方式	MPEG1（Layer II）		
	映像信号	NTSC カラー		
	最大録画時間 *1	ディスクの種類	4.7GB ディスク	1.4GB ディスク
		HQ モード	約 1 時間	約 15 分
		SP モード	約 2 時間	約 30 分
		LP モード	約 4 時間	約 1 時間
DVD-R/RW 記録・再生	記録方式	MPEG2（MP@ML）		
	録音方式	MPEG1（Layer II）		
	映像信号	NTSC カラー		
	最大録画時間	HQ モード	約 1 時間	
		SP モード	約 2 時間	
		LP モード	約 4 時間	
		JST モード	約 4 時間	
DVD/CD 再生	対応ディスク	DVD ビデオ (DVD 音声：Dolby Digital (AC-3)、DTS 対応)、 DVD ビデオフォーマット (DVD-R/DVD-RW)、 DVD-VR フォーマット (DVD-RW/DVD-RAM)、 MPEG PS フォーマット (DVD-RAM)、静止画 (CD)、ビデオ CD、音楽 CD		
画質・その他	3 次元 Y/C 分離	あり		
	TBC(*2) 機能	あり		
	コピー制御機能	マクロビジョン 7.01、CGMS-A 対応		
	EPG(*3)	ADAMS-EPG 対応		
地上波受信関連	U/V チューナー	1 系統		
	RF-I/F	入力：1 系統、出力：1 系統		
衛星受信関連	アナログ BS チューナー	1 系統		
	BS-I/F	入力：1 系統、出力：1 系統		
	ビットストリーム	入力：1 系統、出力：1 系統		
	検波	入力：1 系統、出力：1 系統		
映像・音声入出力端子	コンポジット映像・音声出力	映像：2 系統、音声：2 系統 (内 1 系統は D1 映像出力兼用)		
	S 映像出力	2 系統		
	D1 映像出力	1 系統 (アナログコンポーネント)		
	コンポーネント映像出力	1 系統		
	デジタル音声出力	1 系統 (光出力)		
	映像・音声入力	3 系統 (内 1 系統は前面パネル)		
	S 映像入力	3 系統 (内 1 系統は前面パネル)		

分類	項目	内容
PC 系インタフェース	USB	1 系統
	ネットワーク	100BASE-TX
外形寸法／質量		430(W) × 352(D) × 75(H) mm / 約 6.0kg（突起部含まず）
電源	周波数	50/60Hz
	入力電圧／消費電力	AC100V ／約 58W （待機時：7W）*4
周囲温度	動作時	5 ～ 35 ℃
	非動作時	5 ～ 35 ℃
	保存および輸送時	-20 ～ 60 ℃
周囲湿度	動作時	20 ～ 80%Rh（結露しないこと）*5
	非動作時	20 ～ 80%Rh（結露しないこと）
	保存および輸送時	20 ～ 95%Rh（結露しないこと）
	最大湿球温度	29 ℃
付属品	リモコン	１ヶ
	電源コード	１本
	AV ケーブル	１本
	アンテナケーブル	１本
	電池 (単 3)	２本
	リモコン用シール	１ヶ

*1 9.4GB のディスクは片面 4.7GB です。2.8GB のディスクは片面 1.4GB です。片面がいっぱいになったら裏返してください。
*2 タイムベースコレクターの略
*3 Electronic Program Guide の略
*4 BS アンテナ電源および、USB 電源非供給時。
*5 長時間の非動作時から動作させる場合は、周囲の温度や湿度になじむまで時間をおいてから電源を入れてください。

DVD ドライブ、ディスクについて

ここでは、DVD ドライブ (以降、ドライブ)、ディスクについて説明します。

■ ドライブの取り扱い

- ドライブ使用中に振動を与えないでください。データを正しく読み込めないことがあります。
- MSP1000 の電源を切るときは、必ずディスクを取り出した後に行ってください。ディスクをドライブに入れたまま誤って電源を切ったときは、再び電源を入れて取り出してください。
- 通常は、強制イジェクトスイッチを使わないでください。ただし、ドライブが壊れ、[開 / 閉] ボタンを押してもトレーが出ないときは、強制イジェクトボタンに細いピンなどを差し込んで取り出してください。
- 強制イジェクトスイッチを使うときは、ドライブの内部に異物が入らないようにしてください。
- ディスクが偏重心している場合、ドライブの振動が通常より大きくなることや、読み取りスピードが遅くなることがあります。
- ディスクに読み書きしているときに [開 / 閉] ボタンを押さないでください。また、電源を切らないでください。ドライブやディスクが壊れることがあります。
- ドライブは、10 ～ 35 ℃の温度環境で使用できますが、長くお使いいただくためには 30 ℃以下の場所でお使いください。
- ドライブの使用中に強い衝撃を与えないでください。
- ディスクを入れたり取り出したりするとき以外に、ドライブのトレーを開けないでください。
- トレーの中に異物を入れないでください。ドライブが破損し、故障の原因になります。
- トレーを無理に引き出さないでください。ドライブが壊れることがあります。

■ ディスクの取り扱い

- 割れたり変形したディスクを使用しないでください。故障の原因になります。
- ディスクをお手入れするときは、乾いた柔らかい布でディスクの中心から外周に向けて放射状に吹いてください。このとき、ベンジン、シンナー、水、レコードクリーナー、静電気防止剤、シリコンクロスなどで拭かないでください。
- ディスクからゴミや水分を取り除くのにドライヤーは使わないでください。
- ディスクは温度、湿度が高い場所、直射日光のあたる場所に保管しないでください。
- ディスクは温度差のはげしい場所には保管しないでください。
- ディスクを折ったり曲げたりしないでください。
- ディスクに字を書いたり傷を付けないでください。
- ディスクにラベルなどをはると、ドライブ内での回転が不安定になり故障の原因になります。
- カートリッジタイプのディスクを、カートリッジから取り外して使用するときは、記録面に触らないなど、注意が必要です。正しく取り扱わないと、すでに記録されているデータが損なわれたり、ドライブの故障の原因になります。
- お子さまがディスクを傷つけたりしないよう、ディスクはお子さまの手の届かないところに保管してください。
- DVD-RW の書き換え可能回数は 1000 回程度です。1000 回以上使用した場合は、書き込みエラーが発生することがあります。
- DVD-RAM の書き換え可能回数は 10 万回程度です。10 万回以上使用した場合は、書き込みエラーが発生することがあります。

■ DVD-R、DVD-RW、DVD-RAMに関する制限

- MSP1000 で作成した DVD-R、DVD-RW、DVD-RAM ディスクは、パソコンやほかの DVD プレーヤーでは読み取れない場合があります。

■ 推奨ディスクについて

ディスクの種類	メーカー
DVD-R 4.7GB(Ver.2.0 for General)　*1	・日立マクセル ・Pioneer
DVD-RW 4.7GB(Ver.1.1)	・日立マクセル ・Pioneer
DVD-RAM 1.46GB/ 片面、4.7GB/ 片面 (Ver.2.1)　*2、*3	・日立マクセル ・Panasonic

*1 3.95GB（Ver.1.0）と 4.7GB（Ver.2.0 for Authoring）は使用できません。
*2 2.6GB/ 片面（Ver.1.0）は書き込みできません。
*3 1.46GB/ 片面、4.7GB/ 片面とは、片面の容量をあらわします。
1.46GB/ 片面とは、1.47GB と 2.8GB のディスクをさします。
4.7GB/ 片面とは、4.7GB と 9.4GB のディスクをさします。

エラーメッセージ

項目	メッセージ	内容
タイトル一覧	このディスクは認識できません。	本機が対応していないディスクが挿入されました。または、ディスクが壊れています。対応したディスク、壊れていないディスクを入れてください。
設定	フォーマットに失敗しました。	再度フォーマットを行うか、他のディスクでフォーマットを行ってください。
録画	録画中です！ チャンネル・入力は切り替えられません。	録画中にチャンネルや入力元を切り換えようとしました。録画を停止させるか、録画が停止してから切り換えてください。
	現在予約録画実行中ですので操作できません。 予約録画を中断するには [メニュー] ボタンを押してください。	予約録画実行中に録画を停止しようとしました。 予約録画を中断するには、[メニュー] ボタンを押して、録画予約実行停止を行ってから、録画を停止してください。
	その機能は、現在実行できません。	機能を停止してください。または、録画または、予約録画を停止してから録画を行ってください。
	これ以上録画できません（最大 200 タイトル）。録画するためには不要なタイトルを削除してください。	不要な録画タイトルの削除を行った後、再度実行してください。
	HDD 容量がありません。	録画に十分な容量がありません。不要なタイトルを削除してから、再度実行してください。
	HDD 容量が残りわずかです。	容量が残りわずかです。不要なタイトルを削除して、録画に必要な容量を確保してください。
	HDD 容量不足で録画が中断しました。	録画に十分な容量がないため、録画を中断しました。
録画予約	録画時間に誤りがあります。	開始時間より終了時間が早く設定されています。あるいは、予約可能な時間を超えています。設定を見直して、再度録画予約を行ってください。
	開始時刻に過去の時間が設定されています。	過去の時間が設定されています。設定を見直して、再度録画予約を行ってください。
	他の録画予約と予約時間帯が重なっています。 開始時刻が早い方が優先されます。	指定した予約時間帯が他の録画予約と重複しています。予約時間帯が重複しないように設定してください。
	予約件数がいっぱいです。 (99 番組まで登録可能です)	100 件目の録画予約をしようとしました。録画予約は 99 件以内で設定してください。
編集	チャプターマークがいっぱいです。 (99 個まで登録可能です)	上限を超えてチャプターマークを設定しようとしました。チャプターマークを削除したあと設定してください。
ダビング	現在録画中です。 録画中はダビングできません。	録画中にダビングを実行しようとしました。録画終了後に行ってください。
	ディスクを認識できません。 ディスクを入れ替えてください。	本機が対応していないディスクが挿入されています。対応したディスクを入れてください。
	ディスクが入っていません。 ディスクを入れてください。	DVD ドライブにディスクが入っていません。または正しく入っていません。ディスクが正しく入っているか確認してください。入っていない場合は、対応するディスクを入れてください。
	このディスクには書きこめません。 ディスクを入れ替えてください。	書き込みできないディスクが挿入されています。対応したディスクを入れてください。 ・ 本機で書き込み不可のディスク ・ すでにデータが書き込まれた DVD-R ・ ディスクが壊れているなど
	このディスクは初期化されていません。 ディスクを初期化するか、ディスクを入れ替えてください。	初期化されていない DVD-RAM ディスクが挿入されています。ディスクをフォーマット (初期化) するか、ディスクを入れ替えてください。
	このディスクは書き込み済みです。 初期化してディスクの内容を消去するか、ディスクを入れ替えてください。	すでにデータの書き込まれたDVD-RWディスクが挿入されています。フォーマット (初期化) してディスクの内容を削除するか、ディスクを入れ替えてください。

項目	メッセージ	内容
ダビング	ディスク容量不足のためダビングに失敗しました。	ディスク容量が不足したためダビングに失敗しました。コピー元のデータの容量とコピー先のディスクの容量が適切か確認してください。
	不正なデータがあったため、ダビングに失敗しました。	録画タイトルが壊れています。または、データが不正です。データの内容を確認してください。 トータルの時間が短い場合にも発生することがあります。
	このディスクにはチャプターダビングは行えません。 ディスクを入れ替えてください。	ディスクを他の DVD-R、または DVD-RW に入れ替えてください。
	ダビング中に予約録画が実行される可能性があります。 ダビングを実行しますか？	予約録画を停止した後にダビングを行うか、このままダビングを行ってください。 ダビング中に開始時間になった予約録画は、ダビング終了まで実行されません。
	ディスク容量が足りない可能性があります。	ディスク内容を削除してからダビングを行ってください。
	不正なデータがあったためディスクイメージ作成中にエラーが発生し、ダビングできませんでした。 このディスクは書き込み処理前ですので再利用できます。	ダビングするファイルが壊れています。ファイルを作り直してください。
	ディスクを交換することにより、ダビングができる可能性があります。 ディスクを交換して再実行する場合はディスクを入れ替えてください。	DVD-R、または DVD-RW 書込みに失敗しましたが、イメージの作成には成功しています。別の DVD-R、または DVD-RW に入れ替えることで、イメージを書き込むことが可能です。
	ダビング先のタイトル数がいっぱいです（ 最大 200 件)。 ダビングするためには不要なタイトルを削除してください。	ダビング先の HDD もしくは DVD-RAM に保存されたタイトル数と、ダビングするタイトル数の合計が 200 件を超えています。ダビング先の不要なタイトルの削除、もしくはダビングするタイトルを減らした後に再度実行してください。
静止画	デジタルカメラを認識できません。	USB ポートに接続された機器を認識できません。接続し直してください。
視聴	BS アンテナがショートしています。 アンテナとの接続を確認してください。	BS アンテナから受信できません。本機をシャットダウンした後一度コンセントを抜いてください。、BS アンテナと接続ケーブルに問題ないことを確認してから、本機を立ち上げ直してください。
	排気ファンが停止しました。安全のため電源を切ります。	排気ファンが故障しています。お問い合わせ先に修理依頼をしてください。
再生	DVD の背景画面が表示される	ディスクが壊れています。壊れていないディスクを入れてください。

故障かなと思ったら

電源プラグがはずれていたり、アンテナ線がはずれていたりしていると故障と間違えることがあります。お問い合わせ先に連絡する前に次のことをお確かめください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理なさらず、お問い合わせ先にご相談ください。

	このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください
電源	電源が入らない	電源コードが正しく接続されていない。	コンセントにしっかり差し込んでください。(📖→ P.124)
テレビ接続	画面が出ない、 音も出ない	① AV ケーブルが正しく接続されていない。 ② テレビ側の入力切換が間違っている。	① 正しく接続してください。(📖→ P.124) ② 入力切換位置を合わせてください。(📖→ P.129)
	画面は出るが、 音が出ない	音量調整が 0 になっている。	[TV 音量] ボタンを押してみてください。(📖→ P.18)
テレビ受信	テレビが映らない	アンテナ線がはずれている。	正しく接続してください。(📖→ P.124)
	テレビの映りが悪い	① アンテナ線がはずれかけている。 ② アンテナの向きが正しくない。 ③ テレビ電波が弱い。	① 正しく接続してください。(📖→ P.124) ② アンテナの向きがずれていないかお調べください。 ③ 別売りのアンテナブースターをご使用ください。
BS 受信	衛星放送が映らない	① BS アンテナからのケーブル線がはずれている。または、はずれかけている。 ② BS アンテナの向きが正しくない。 ③ WOWOW を受信するのに、BS デコーダーを接続していない。 ④ ハイビジョン放送を受信するのに、MUSE-NTSC コンバーターに接続していない。	① 正しく接続してください。(📖→ P.125)、(📖→ P.126) ② 方位角、仰角を調整してください。 ③ WOWOW を受信するには、BS デコーダーが必要です。BS デコーダーに正しく接続してください。(📖→ P.125) ④ MUSE-NTSC コンバーターに正しく接続してください。
	BS デコーダーを接続しているのに、スクランブルが解除できない	BS デコーダーの電源が入っていない。	BS デコーダーの電源を入れてください。
	WOWOW の音声が聞こえない	① BS デコーダーの音声切換が正しくない。 ② BS 独立音声の設定が正しくない。	① 正しく設定してください。(📖→ P.139) ② 「BS設定」画面の「BS独立音声」を「TV」にしてください。(📖→ P.140)
リモコン	リモコンで操作ができない	① リモコンが受信部を向いていない。 ② リモコンと受信部の間が遠すぎる。 ③ リモコン受信部に直射日光などの強い光が当たっている。 ④ 乾電池の⊕、⊖が逆に入っている。 ⑤ 乾電池の寿命がなくなっている。	① リモコン送信部をMSP1000リモコン受信部に向けてください。(📖→ P.19) ② 近くで操作してください。(📖→ P.19) ③ 直射日光などが当たらない場所に設置してください。 ④ 乾電池を正しく入れてください。(📖→ P.127) ⑤ 乾電池を新しいものに交換してください。
	リモコンでメーカー設定したテレビが操作できない	メーカー設定が消えている。	もう一度、メーカー設定をやり直してください。それでも、操作できないときは、乾電池を交換してください。(📖→ P.128)

	このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください
ビデオ録画 / 再生	チャンネルボタンが動かない	通常録画中、予約録画中に、チャンネルを切り換えようとした。	通常録画中、予約録画中はチャンネル切り換えができません。録画を終了させてから操作してください。(→ P.32)
	希望のチャンネルが録画できない	チャンネルの選択が間違っている。	正しいチャンネルを選択してください。
	録画ができない	200 個を超える番組は録画できない。	不要な番組を削除してください。(→ P.53)
	録画が途中で止まっている	①一つの番組の録画時間が 8 時間を超える録画はできません。 ② HDD の残量がなくなると、録画を自動的に停止します。	②不要な番組を削除してください。(→ P.53)
	二つの音が同時に聞こえる	主音声、副音声が同時に出ている。	[音声切換] ボタンで聞きたい音声を選んでください。(→ P.18)
	本機内部から音が聞こえる	内蔵されている HDD、DVD、ファンが回転している音です。異常ではありません。	
	タイトルを再生しようとしたらテレビ画面になる	① 再生しようとしたタイトルが壊れている。 ② パソコンで作成したファイル名が正しく認識できない。(例：ファイル名にスペースが含まれている)	
予約	予約録画が正しくできない	① 時計の日付、時刻設定がされていない。 ② HDD の残量がなくなったため、予約録画が途中で終了した。	① 日付、時刻を正しく設定してください。(→ P.131) ② 不要な番組を削除してください。(→ P.53)
		③ プロ野球中継など前の番組が延長された。 ④ 停電があったため途中で録画が終了した。 ⑤ 予約録画が始まる前に停電があり、回復時から録画が行われた。	
	予約ができない	予約がいっぱいになっている。(99 個を超える予約はできません。)	
	録画した番組が削除された	更新が設定されていると、古い番組が削除されます。	録画予約の設定内容を確かめてください。(→ P.37)
番組表	番組表が表示できない	① 接続と設定が終了しても、番組表のデータを受信するまでは表示できない。 ② 受信状態が悪いため、番組表を表示できない。 ③ 番組表を更新している。 ④ 間違った地域が設定されている。 ⑤ 間違った番組表受信チャンネルが設定されている。	① 受信が終了するまでしばらくお待ちください。データ受信に約半日かかることもあります。 ② アンテナの向き、ケーブルの接続を確かめてください。 ③ 更新が終了するまでしばらくお待ちください。 ④ 正しい地域を設定してください。(→ P.136) ⑤ 正しいチャンネル番号を設定してください。(→ P.138)
		お住まいの地域によっては、番組表のデータを受信できない場合があります。	
	番組表に番組が表示されない	① ケーブルテレビ（CATV）の番組は、番組表に表示されません。 ② 番組表のデータに含まれない放送局は表示されません。 ③ 週間番組表には、短い番組 (5 分間の番組など) は表示されません。 ④ 地域によっては一週間分のデータが表示されないことがあります。 ⑤ 局によって一週間分のデータが表示されないことがあります。	
	一部番組情報が表示されない	データ放送送信側の都合により、テレビ番組情報のデータが放送されない場合、番組情報のデータが送信されない場合があります。その場合、一部番組表が表示されません。表示されない番組のデータが送信されたか、次の連絡先にお問い合わせください。 ●連絡先 受付時間　11:00 〜 18:00（月〜金） 株式会社　テレビ朝日データビジョン　：　03-3405-3923 または 株式会社　日刊編集センター　：　03-3546-5812	

	このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください
DVD	再生できない	① 記録フォーマットが未対応、またはリージョン番号が違う。 ② ディスクに汚れまたは傷がある。 ③ ディスクが正しくセットされていない。 ④ MSP1000で再生できないディスクを入れている。 ⑤ パレンタルロックがかかっている。	① ディスクの方式、リージョン番号を確かめてください。(→ P.13) ② ディスクの表面を確かめてください。 ③ ディスクを正しくセットしてください。(→ P.16) ④ ディスクの種類を確かめてください。(→ P.5) ⑤ パレンタル設定を確かめてください。(→ P.115)
	映像が乱れる	① MSP1000 はマクロビジョン方式のコピー制御方式に対応しています。ディスクによってはコピー制御信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入るなどの症状がでるものもありますが、故障ではありません。 ② MSP1000 をテレビに直接接続してください。また、MSP1000 からの映像を MSP1000 を通してテレビでご覧になると、コピー制御信号の働きにより画像が乱れることがあります。	
	音声がでない	① 一時停止、高速再生になっている。 ② デジタル音声出力の設定が適切でない。	① 再生モードをお確かめください。 ② 正しく設定してください。(→ P.116)
	いろいろな再生ができない	DVD ビデオではディスクによって特定の操作が禁止されていることがあります。 ディスクの取扱説明書も合わせてご覧ください。	
	DVD ビデオの字幕言語を変更できない	再生している DVD ビデオに複数の字幕言語が記録されていない。	ディスクを確かめてください。
	DVD ビデオの音声言語を変更できない	再生している DVD ビデオに複数の音声言語が記録されていない。	ディスクを確かめてください。
	DVD ビデオのアングルを変更できない	再生している場面に複数のアングルが記録されていない。	ディスクを確かめてください。

⚠ 警告

異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

アンテナ工事について

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、お問い合わせ先にご相談ください。

アフターサービスについて

ここでは、MSP1000 を購入されたあとに受けられるアフターサービスについて説明します。

■ 保証書について

保証書は、所定事項が記入されたものをお受け取りになり、大切に保管しておいてください。
保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて無償で修理いたします。
詳しくは保証書をご覧ください。保証期間終了後の修理については、「安心コールセンタ」へお問い合わせください。

■ 保守サービスについて

保守サービスをお受けになる際は、「安心コールセンタ」へお問い合わせください。

■ 保守サービスの種類

■引取り修理
「安心コールセンタ」にご連絡ください。修理依頼品をお受け取りし、修理完了後にお届いたします。
保証期間中は修理費 / 運送費とも無償ですが、保証期間完了後は修理費 / 運送費は有償です。

■ 保守部品について

MSP1000 の保守部品の保有期間は製造終了後 8 年です。

お問い合わせ先 / 修理・引き取りのご依頼先

ハイブリッドデジタルレコーダーの使い方や製品の技術的なことは、ご使用しているハイブリッドデジタルレコーダーの形名をご確認の上「安心コールセンタ」にお問い合わせ願います。
なお、付属品を破損、紛失した場合、新しい付属品の入手方法についても、「安心コールセンタ」にお問い合わせください。

安心コールセンタ 0120-122-790 　または、 046-292-2586（通話料金はお客様のご負担となります）
受付時間　: 10:00 ～ 20:00(平日) 　　　　　: 10:00 ～ 17:30(土・日・祝日) * 年末年始は休ませていただきます。 * サポートは日本国内に限らせていただきます。

■ご連絡していただきたい内容

お問い合わせの際は、次のような内容をお知らせください。

ご連絡していただきたい内容

品名	ハイブリッドデジタルレコーダー
形名	MSP1000
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども あわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	

8 ご参考

用語解説

■ A

🕮ADAMS
テレビ朝日のデータ通信サービス、本機では、番組表の情報を取得するために使用している。

🕮ADSL
従来の電話回線を使い、音声電話に使用しない高い周波数を利用することで、高速なデーター転送を可能にしたデジタル技術（xDSL）の１つ。インターネットへの接続には専用の ADSL モデムを使用する。

■ C

🕮CBR（固定ビットレート方式）
時間ごとに一定のデータ量を割り当てる方式。動きの激しい画像には向いていない。

🕮CPU
中央処理装置。パソコンの基本である演算と制御を行う。

■ D

🕮Dolby Digital
ドルビー社が開発したデジタル音声圧縮方式。

🕮DTS
映画館などで使用されている立体音響システム。

🕮D 端子
BS デジタルチューナや DVD プレイヤーなどに付いているテレビ接続用の端子。D １端子で 480 インターレスに対応している。

■ G

🕮GB
ギガバイト。容量などを示す単位。1GB は約 1000MB。

■ I

🕮IP アドレス
インターネットなどで使用するアドレス。

■ J

🕮JPEG
カラー画像を圧縮する規格、ファイルサイズが小さいため、デジタルカメラの保存ファイルに使われる。

■ L

🕮LAN
ローカルエリアネットワーク（Local Area Network）の略。同じビル内や構内など、比較的狭い範囲で使用されるネットワーク。

🕮LB（LetterBox）
映像の横サイズのみ合わせて余った上下の余白を黒い帯をいれて表示する方法。

■ M

🕮MAC アドレス
ネットワーク内にある機器を識別できるように、各機器に割り当てられる固有の番号（固有のアドレス）

🕮MB
メガバイト。容量などを示す単位。1MB は約 1000kB。

🕮MPEG
国際標準の動画圧縮方式。

■ O

🕮OS
Operating System の略でパソコンを動作させる基本的なソフトウェア。基本ソフトともいう。Windows も OS の１つ。

■ P

🕮Pan Scan
映像の縦を画面に合わせてはみ出した両端の映像を切り捨てる方式。

🕮PCM
音を一定時間ごとにサンプルして、デジタル化する方式。

■ U

🕮USB(ユニバーサルシリアルバス) インタフェース
インタフェースのひとつ。MSP1000 では、デジタルカメラと接続するためのインターフェースコネクター。

🕮USB ストレージクラス
USB ポートに接続したとき、HDD と同様にドライブとして認識されること。正しくは、「USB マスストレージクラス」（USB Mass Storage Class）という。

■V

📖VBR（可変ビットレート方式）
動きの多い場面に多くのデータを割り当てる方式。画質を落とさずに長時間録画できる。

■Y

📖Y/C 分離
コンポジット映像信号を色と輝度に分離するための回路。

■あ

📖アイコン
ファイルの内容やソフトウェアの機能のメニューを絵文字で現したもの。

📖アスペクト比
テレビ画面の横と縦の長さの比。
通常のテレビでは４：３であり、ハイビジョンテレビなどは１６：９となっている。

📖アプリケーション
パソコンでワープロ、表計算、パソコン通信など、あらゆる目的のために実行するプログラムの総称。

📖アンテナレベル
アンテナからはいってくる電波の強さを表す。

■い

📖インストール
アプリケーションや Windows をハードディスクに組み込むこと。

📖インターネットエクスプローラ（InternetExplorer）
インターネットに簡単に接続するアプリケーション。ブラウザーともいう。

📖インターレス方式
テレビの走査線、偶数の行と奇数の行に、映像データを交互に送り、1 枚の画像を 1/60 秒ごとに画面半分ずつ描く方式。

■く

📖クライアントパソコン
クライアントサービスシステムで、サービスを提供するサーバーパソコンに対し、サービスを要求するパソコンのこと。

📖クリック
マウスの左ボタンなどを１回押してすぐに指を離すこと。メニューやアイテムなどを選択するときに行う。

■け

📖検波
衛星から送られてきた電波から、信号を取り出すこと。

■こ

📖コピー制御信号
複製防止の制御を行うための信号。

📖コントロールパネル
パソコンの環境を設定するプログラムをまとめたもの。

■し

📖シネスコサイズ
映像ソフトの縦横比が１：２．３５になっているもの。

📖字幕言語
表示する字幕の言語。

📖使用許諾契約書
ここでは、パソコンにあらかじめインストールされている各アプリケーションと Windows を使用するための契約書を示す。

■す

📖スクランブル
映像･音声などを暗号化し、契約者以外には視聴できないようにすること。視聴するためには解読器が必要。

📖スタートボタン
Windows のいろいろな操作を始めるときに使うボタン。

📖ストレージクラス
本来、HDD や CD-ROM などの機器を、USB ポートに接続するだけで使用できる規格をいう。

■た

📖タイトルナンバー
メディアに記録されているディスク上のタイトルの番号のこと。

📖ダイナミックレンジ
クリアな音声が出力可能な、最大レベルと最小レベルの差のこと。

📖タイムナンバー
ディスクのタイトル最初からの再生経過時間。

📖ダブルクリック
クリックボタン、またはマウスのボタンを２回続けてクリックすること。

■ ち

📖チャプターナンバー
ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けした番号。

📖チューナー
アンテナからはいってくる電波のなかから、受信する局を選択し、信号を取り出す装置。

■ て

📖デコーダ
スクランブルのかかった信号を解除する装置。

📖デスクトップ
パソコンの作業をするための机のようなもの。データやアプリケーションなどのショートカットをおいて作業しやすくできる。

■ と

📖ドラッグ
クリックボタン、マウスのボタンを押しながらマウスカーソルを移動すること。

📖ドルビーデジタル
ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮方式。

■ は

📖パソコン
パーソナル（ 個人用 ）コンピューターの略。

📖バックアップ
ハードディスクのデータを、保存用の記録媒体にコピーすること。

📖ハブ
ハブは、独立した LAN 環境でコンピュータ同士を接続するために使用されるもの。

📖パレンタルレベル
映像および音声の内容が、視聴者に適切なものであるか、あらかじめ DVD メディアに設定してあり、視聴者がこのレベルを判断し、再生可 / 再生不可を判断する。「視聴年齢制限」のこと。

■ ひ

📖光デジタル出力
光デジタル端子をつかって音声を出力する。

📖ビスタサイズ
映像ソフトの縦横比が１：１．85 になっているもの。

📖ビデオモード
通常、DVD レコーダで DVD- ビデオを作成することはできないため、その互換フォーマットとして使われているのが、ビデオモード。
記録した媒体を編集できない欠点はあるが､一般の DVD プレイヤーで再生可能。

■ ふ

📖フォーマット
DVD-RAM などを使えるようにすること。

📖フォルダー
データやプログラムを整理してまとめておく入れ物。

📖プログレッシブ方式
テレビの走査線を上から順番に、すべての走査線を描画し、1/60 秒ごとに完結した 1 枚の画像を連続して再生する方式。

■ ま

📖マウスカーソル
マウスの動きに合わせて画面を移動するマーク。

📖マルチアングル
複数の視点で撮影された映像。視点を切りかえることで、いろいろな角度で、映像を見る事ができる。

■ り

📖リージョン番号
地域ごとにリージョン番号が割り当てられている。プレーヤーのリージョン番号が DVD に該当すれば、再生が可能となる。

📖リニア PCM
音を一定時間ごとにサンプルして、デジタル化する方式。

■ る

📖ルータ（IP ルータ）
異なるネットワーク間を接続する機器。インターネットなど他の LAN と接続する場合､その出入り口では､ハブではなくルータをご使用ください。

索引

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。
それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。また、リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

・ Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corp.の登録商標です。
・ Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
・ ADAMSは、テレビ朝日データ(株)の登録商標です。
・ AMD AthlonはAdvanced Micro Devices Inc.の商標です。
・「DTS」および「DTS DIGITAL OUT」は米国デジタルシアターシステムズ社の商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
・ ドルビー、Dolby、およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

・ 本製品は、米国Conexant Systems, Inc. の技術を使用しています。
　本ソフトウェアの一部、もしくは全部を複製したり、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析は行えないものとします。
・ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

ハイブリッドデジタルレコーダー　取扱説明書

第3版　2004年 2月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社　日立製作所

インターネットプラットフォーム事業部

〒243-0435 神奈川県海老名市下今泉810番地
お問い合わせ先：安心コールセンタ 0120-122-790

Copyright © Hitachi,Ltd.2003.All rights reserved.

MSP1000-3